



**四半期フィナンシャルレポート**  
**2025年度**

<b>財務ハイライト</b>	3
財務結果の抜粋	3
地域別売上収益	4
<b>直近の動向</b>	5
パイプラインおよび研究開発活動	5
<b>経営成績、財政状態およびキャッシュ・フローの分析</b>	11
経営成績の概況	11
財政状態の概況	17
キャッシュ・フローの概況	19
<b>業績予想およびマネジメントガイダンス</b>	20
<b>資本配分に関する基本方針及び当期・次期の配当</b>	22
<b>連結財務諸表</b>	23
(1) 連結損益計算書	23
(2) 連結包括利益計算書	24
(3) 連結財政状態計算書	25
(4) 連結持分変動計算書	27
(5) 連結キャッシュ・フロー計算書	29
(6) その他情報	31
<b>補足情報</b>	32
1. パイプラインの状況	33
I. 開発の状況	33
II. 最近のステージアップ品目	40
III. パイプラインから削除されたプロジェクト	42
IV. 研究開発における提携	43
2. 補足売上収益情報	48
• 地域別売上収益	48
◦ 累計	48
◦ 四半期	49
• 主要製品別売上高（財務報告ベース 対前年同期比）	50
◦ 累計	50
◦ 四半期	52
■ 第4四半期	52
• 主要製品別売上高（財務報告AERベースおよびCore CERベース増減率）	54
• 主要品目見込	56
<b>財務補足資料</b>	

# 財務ハイライト

## 財務結果の抜粋

当社は、「国際会計基準（IFRS）に準拠した業績分析」に加え、付加的な情報として「国際会計基準に準拠しない財務指標」を提供しております。国際会計基準に準拠しない財務指標の定義および調整表は「財務補足資料」をご参照ください。

### 業績

(単位：百万円、%以外)	2025年3月期	2026年3月期	AERベース <sup>(注)</sup>		CERベース <sup>(注)</sup>
			増減額	増減率	増減率
売上収益	4,581,551	4,505,720	△75,831	△1.7%	△2.7%
営業利益	342,586	408,761	66,175	19.3%	14.5%
税引前当期利益	175,084	260,189	85,105	48.6%	36.6%
当期利益	108,143	192,026	83,883	77.6%	65.7%
当期利益 (親会社の所有者持分)	107,928	191,762	83,834	77.7%	65.8%
基本的1株当たり当期利益(円)	68.36	121.75	53.39	78.1%	66.2%

(注) 国際会計基準（IFRS）に準拠した実勢レート（Actual Exchange Rate）ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準（IFRS）に準拠しない恒常為替レート（Constant Exchange Rate）ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。

### Core業績

(単位：億円、%以外)	2025年3月期	2026年3月期	AERベース <sup>(注)</sup>		CERベース <sup>(注)</sup>
			増減額	増減率	増減率
Core売上収益	45,798	45,057	△741	△1.6%	△2.6%
Core営業利益	11,626	11,725	98	0.8%	△0.9%
Core当期利益	7,758	8,144	386	5.0%	2.9%
Core当期利益 (親会社の所有者持分)	7,756	8,141	385	5.0%	2.9%
Core EPS(円)	491	517	26	5.2%	3.1%

(注) 国際会計基準（IFRS）に準拠した実勢レート（Actual Exchange Rate）ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準（IFRS）に準拠しない恒常為替レート（Constant Exchange Rate）ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。定義については、財務補足資料の「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

### レバレッジ

(単位：億円、倍率以外)	2025年3月期	2026年3月期
	2025年3月31日	2026年3月31日
調整後純有利子負債	△39,755	△38,176
調整後EBITDA	14,410	14,572
調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率	2.8 x	2.6 x

### キャッシュ・フロー

(単位：百万円、%以外)	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,057,182	1,041,431	△15,751	△1.5%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△367,060	△369,141	△2,081	△0.6%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△751,425	△496,820	254,605	33.9%

### 調整後フリー・キャッシュ・フロー

(単位：億円、%以外)	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
調整後フリー・キャッシュ・フロー	7,690	6,845	△844	△11.0%

## 財政状態

(単位：百万円、%以外)	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
非流動資産	11,727,152	12,362,611	635,459	5.4%
流動資産	2,521,192	3,090,503	569,311	22.6%
<b>資産合計</b>	<b>14,248,344</b>	<b>15,453,113</b>	<b>1,204,770</b>	<b>8.5%</b>
非流動負債	4,805,844	5,248,784	442,940	9.2%
流動負債	2,506,521	2,429,530	△76,991	△3.1%
<b>負債合計</b>	<b>7,312,365</b>	<b>7,678,314</b>	<b>365,949</b>	<b>5.0%</b>
<b>資本合計</b>	<b>6,935,979</b>	<b>7,774,800</b>	<b>838,821</b>	<b>12.1%</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>14,248,344</b>	<b>15,453,113</b>	<b>1,204,770</b>	<b>8.5%</b>

## 業績予想およびマネジメントガイダンス

## 業績予想

(単位：億円、%以外)	2025年度 実績	2026年度 業績予想	増減額	増減率
売上収益	45,057	46,400	1,343	3.0%
営業利益	4,088	4,200	112	2.7%
税引前当期利益	2,602	2,520	△82	△3.1%
当期利益（親会社の所有者帰属分）	1,918	1,660	△258	△13.4%
EPS	121.75	104.26	△17.49	△14.4%
<b>国際会計基準に準拠しない財務指標</b>				
Core売上収益	45,057	46,400	1,343	3.0%
Core営業利益	11,725	11,600	△125	△1.1%
Core EPS	517	472	△45	△8.7%
<b>配当金（円）</b>	<b>200</b>	<b>204</b>	<b>4</b>	<b>2.0%</b>

(注) 詳細については、[業績予想およびマネジメントガイダンス](#)をご参照ください。

## 目標とする経営指標（マネジメントガイダンス）

当社は、Core売上収益、Core営業利益、Core EPSのCER（Constant Exchange Rate：恒常為替レート）ベースの増減率をマネジメントガイダンスとしております。

	2026年度マネジメントガイダンス CERベース増減率（%） <sup>(注)</sup>
Core売上収益	一桁台前半%の減少
Core営業利益	5%から8%の減少
Core EPS	10%台半ばの減少

(注) 定義については、財務補足資料の「Core財務指標、CERベースの増減、フリー・キャッシュ・フロー、便宜的な米ドル換算の定義」をご参照ください。

## 地域別売上収益

(単位：百万円、%以外)

	日本	米国	欧州および カナダ	中南米	中国	アジア (日本および中国 を除く)	ロシア/ CIS	その他 <sup>(注)</sup>	合計
2025年3月期	418,462	2,379,651	1,055,252	235,848	191,740	99,392	72,356	128,849	4,581,551
2026年3月期	433,110	2,164,824	1,146,238	254,132	195,136	98,669	79,719	133,892	4,505,720
増減額	14,649	△214,828	90,986	18,284	3,396	△723	7,363	5,043	△75,831
増減率	3.5%	△9.0%	8.6%	7.8%	1.8%	△0.7%	10.2%	3.9%	△1.7%

(注) 「その他」には、中東・オセアニア・アフリカが含まれております。売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

## 直近の動向

### パイプラインおよび研究開発活動

当年度の研究開発費の総額は6,759億円であります。なお、当社の研究開発費の予算は、全社的に決定されており、特定の支出は開発の結果および優先事項に応じて再配分の対象となる場合があるため、当社の研究開発費について、疾患領域あるいは臨床試験段階毎の内訳を報告しておりません。

当社研究開発は、サイエンスにより、患者さんの人生を根本的に変え得るような非常に革新性が高い医薬品を創製することに注力しております。研究開発は、消化器系・炎症性疾患、ニューロサイエンス、およびオンコロジーの3つの重点疾患領域に取り組むとともに、血漿分画製剤にも注力しています。3つの重点疾患領域における研究開発は、当社研究開発投資費用の中で最も大きい比率を占めております。重点疾患領域（消化器系・炎症性疾患、ニューロサイエンス（神経精神疾患）、オンコロジー）には未だ有効な治療法が確立されていない高い医療ニーズ（アンメット・メディカル・ニーズ）が存在し、当社はベスト・イン・クラスあるいはファースト・イン・クラスとなりうる画期的な新規候補物質を創出してまいりました。当社は希少疾患と有病率がより高い疾患のいずれに対しても治療法の開発にコミットしており、当社が探求している患者さんの人生を根本的に変え得るような医薬品の多くは、当社の重点疾患領域および血漿分画製剤領域における希少疾患を治療するものとなります。また、当社はイノベーションの質を向上させ、実行を加速させることを目指し、データ・デジタル技術を活用しております。創薬のあらゆる段階にAIを組み込み、業務フローを自動化されたデータに基づく予測プロセスへと再構築することで、イノベーションの加速を目指します。

当社パイプラインは、当社事業の短期的および長期的かつ持続的な成長を支えるものです。初回の承認取得後も上市後の製品に対して、地理的拡大や効能追加に加え、市販後調査および剤型追加の可能性を含めた継続的な研究開発活動による支援体制が整っております。当社研究開発チームは、販売部門との緊密な連携を通じ既発売品の価値の最大化を図り、販売活動を通じて得られた知見を研究開発戦略やポートフォリオに反映します。

当社の2025年4月以降の主要な研究開発活動の進捗は、以下のとおりです。

### 研究開発パイプライン

#### 消化器系・炎症性疾患

消化器系・炎症性疾患において、消化器系疾患（肝疾患を含む）および免疫介在性の炎症性疾患の患者さんに革新的で人生を変え得るような治療法をお届けすることに注力しております。炎症性腸疾患（IBD）においては、ENTYVIO（国内製品名：エンタイビオ）の皮下注射剤の上市や、IBD治療パラダイムにおけるENTYVIOのバックボーン治療薬としての位置づけを実証し、患者さんの予後をさらに改善する方法への理解を深めるため、実臨床エビデンスを構築する臨床試験を実施するなど、フランチャイズのポテンシャルを最大化しております。ザソチニブ（TAK-279）は、次世代の経口チロシンキナーゼ2（TYK2）阻害薬であり、複数の免疫介在性の炎症性疾患の治療薬となる可能性があります。また、fazirsiran（TAK-999）は、 $\alpha$ -1アンチトリプシン欠損関連肝疾患に対するファースト・イン・クラスのRNA干渉治療薬となる可能性があり、後期開発段階にあります。メザギタマブ（TAK-079）は、免疫性血小板減少症（ITP）やIgA腎症（IgAN）など複数の免疫介在性疾患に対する疾患修飾薬としてベスト・イン・クラスとなる可能性を有する抗CD38抗体です。さらに、当社は、自社創製、社外との提携および事業開発を通じて炎症性疾患（消化器系、皮膚科系、リウマチ性の疾患）に加え、厳選した希少血液疾患および腎疾患（アジンマ、メザギタマブ（TAK-079））、肝疾患、神経性消化器疾患における機会を探索し、パイプラインの構築を進めております。

[アジンマ 一般名：ADAMTS13（遺伝子組換え）]

- 2025年12月、当社はアジンマについて、12歳未満の小児の先天性血栓性血小板減少性紫斑病（cTTP）患者への適応拡大に関して厚生労働省から製造販売承認を取得したことを公表しました。本承認は、主に0歳から70歳のcTTP患者（日本人5名を含む）を対象としたグローバル臨床第3相試験である281102試験における安全性および有効性のデータ、およびグローバル臨床第3b相継続試験であるTAK-755-3002試験における安全性および有効性のデータに基づくものです。

[ENTYVIO/エンタイビオ 一般名：ベドリズマブ]

- 2026年2月、当社は、既存治療または抗TNF抗体治療に反応不十分な2歳~17歳の小児患者を対象とした、ベドリズマブ静注剤の国際共同臨床第3相KEPLER試験の良好な結果を公表しました。本試験において、約半数（47.3%）の被験者が54週時点の臨床的寛解という主要評価項目を達成しました。ベドリズマブの安全性プロファイルは、成人での既知の安全性プロファイルと概ね同様でした。また、本結果は第21回Congress of European Crohn's and Colitis Organisation (ECCO)にて発表されました。

[開発コード：TAK-079 一般名：メザギタマブ]

## 目次

- 2025年6月、当社は、メザギタマブが、免疫性血小板減少症（ITP）を予定される効能・効果として厚生労働省よりオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）指定を取得したことを公表しました。
- 2025年11月、当社は、原発性IgA腎症（IgAN）を対象としたメザギタマブの皮下投与における臨床第1b相、非盲検、ブルーフ・オブ・コンセプト試験の新たな中間データを発表しました。米国腎臓学会（ASN）「Kidney Week 2025」で発表された本結果では、メザギタマブの投与を受けた被験者の腎機能（eGFR）が96週（最終投与から18カ月後）時点まで安定していることが示唆され、蛋白尿および血清Gd-IgA1値が速やかに低下し96週時点まで持続しました。本試験において、メザギタマブの忍容性は概ね良好であり、新たな安全性上の懸念は確認されませんでした。
- 2025年11月、当社は、メザギタマブが、IgANを予定される効能・効果として厚生労働省よりオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）指定を取得したことを公表しました。

### [開発コード：TAK-279 一般名：ザソチニブ]

- 2025年12月、当社は、中等症から重症の尋常性乾癬（PsO）の成人患者を対象としたザソチニブの2つのピボタル臨床第3相試験において良好なトップライン結果が得られたことを公表しました。これらの試験では、複合主要評価項目である16週時点の医師総合評価（sPGA）0/1およびPsoriasis Area and Severity Index（PASI, 乾癬の面積と重症度を表す指標）75において、プラセボに対するザソチニブの優越性が示されました。また、これらの試験は44の順位付けされた副次評価項目のすべてを達成し、PsO患者に対し1日1回の経口投与で皮膚病変の完全な消失（クリアスキン）をもたらす可能性が示されました。16週時点でザソチニブの投与を受けた被験者の半数以上がPASI 90を達成し、平均約30%がPASI 100を達成しました。ザソチニブの忍容性は概ね良好であり、新たな安全性シグナルは特定されませんでした。
- 2026年3月、当社は、中等症から重症のPsOを有する成人患者を対象としたザソチニブの2つのピボタル臨床第3相試験の新たなデータを発表しました。ザソチニブ投与群の約70%が16週時点で皮膚症状の消失またはほぼ消失（sPGA 0/1）を達成し、4週時点という早期からプラセボと比較して有意に高いPASI 75達成率が認められました。また、ザソチニブは、PsO患者の治療目標として重要度が高まっている皮膚症状の完全な消失（クリアスキン）においても、プラセボおよびアプレミラストと比較し統計学的に有意な改善を示しました。両試験において、複合主要評価項目および主な副次評価項目における奏効率は24週時点まで継続して増加しました。ザソチニブの忍容性は概ね良好で、安全性プロファイルは臨床第2b相試験の結果と一貫しており、新たな安全性シグナルは認められませんでした。これらの結果は、2026年米国皮膚科学会（AAD）年次総会においてlate-breaking abstractとして発表されました。

## ニューロサイエンス（神経精神疾患）

当社は、高いアンメット・ニーズが存在する神経疾患および神経筋疾患を対象に、革新的治療法に研究開発投資を集中させ、社内の専門知識や外部パートナーとの提携を生かし、革新的なパイプラインを構築しています。当社のニューロサイエンス（神経精神疾患）における重点領域として、オレキシン生物学、希少神経疾患および神経変性疾患に注力しています。オレキシン生物学の関与が示唆される睡眠・覚醒障害に関連する希少疾患およびその他の疾患に対する標準治療の再定義を目指し、オレキシンの可能性を最大限に引き出すために最適化された治療薬ポートフォリオ（oveporexton（TAK-861）、TAK-360、TAK-495など）の開発を推進しています。また、当社のポートフォリオ全体にわたり、疾患生物学の理解、トランスレーショナルツール、革新的モダリティ、デジタルイノベーションの進展を活用し、治療薬の開発および患者さんへのアクセスを加速させています。

### [開発コード：TAK-861 一般名：oveporexton]

- 2025年9月、当社は、ナルコレプシータイプ1（NT1）を対象とした画期的なoveporextonの臨床第3相試験のデータを、世界睡眠学会World Sleep 2025において複数の口頭発表を行ったことを公表しました。The FirstLightとthe RadiantLightの両試験ともに、NT1の幅広い症状に該当するすべての主要評価項目および副次評価項目において、12週時点ですべての用量群（1mg 1日2回/2mg 1日2回）でプラセボと比較して統計学的に有意（ $p < 0.001$ ）かつ臨床的に意義のある改善が示されました。本学会での口頭発表には、覚醒度に対する客観的評価および患者報告による主観的評価の他、カタプレキシー、症状の重症度および生活の質などのデータが含まれました。Oveporextonの忍容性は概ね良好であり、安全性プロファイルはこれまでの臨床試験と同様でした。
- 2026年2月、当社は、米国食品医薬品局（FDA）が、NT1を対象としたoveporextonの新薬承認申請（NDA）を受理し、優先審査に指定したことを公表しました。FDAは、処方薬ユーザーフィー法（Prescription Drug User Fee Act; PDUFA）に基づく審査終了目標日を2026年暦年第3四半期（2026年7 - 9月）に設定しています。本申請は、国際共同臨床第3相試験である

## 目次

FirstLight試験およびRadiantLight試験を含む包括的なデータパッケージに基づいています。OveporextonはFDAおよび中国国家薬品监督管理局からNT1における日中の過度の眠気の治療に対するブレイクスルーセラピーの指定を受けています。

- 2026年3月、当社は、oveporextonについて、NT1を予定される効能又は効果として、厚生労働省に対し製造販売承認申請を行ったことを公表しました。Oveporextonは、厚生労働省より先駆的医薬品および希少疾病用医薬品に指定されています。本申請は、主に国際共同臨床第3相試験であるFirstLight試験およびRadiantLight試験を含む包括的なデータパッケージに基づくものです。

## オンコロジー

オンコロジー領域では、胸部、消化器および血液がんに対する治療薬候補のパイプラインの推進に注力しています。胸部および消化器がんにおいては、複数の適応症に対しTAK-928 (IBI363) とTAK-921 (IBI343) を評価しています。血液がん領域では、骨髄性腫瘍に対してrusfertide (TAK-121)、elritercept (TAK-226) を含むポートフォリオを拡充しています。社内の高い専門性、グローバル拠点、強固な戦略的提携ネットワークが、イノベーションの推進と長期的な価値創出の実現に向けた基盤となっています。当社は、患者さんを通じて得られるインスピレーションおよびあらゆるイノベーションを活用することで、がんの治癒を目指しております。

[アドセトリス 一般名：ブレンツキシマブ ベドチン]

- 2025年6月、当社は、欧州委員会 (EC) より、リスク因子を有するIIb期、III期およびIV期の未治療の成人ホジキンリンパ腫患者に対するアドセトリスとエトポシド、シクロホスファミド、ドキシソルビシン、ダカルバジンおよびデキサメタゾン (BrECADD) の併用療法の承認を取得したことを公表しました。BrECADDとして知られるホジキンリンパ腫のフロントライン治療におけるアドセトリス併用療法の承認は、無作為化臨床第3相HD21試験の結果に基づきます。

[ベクティビックス 一般名：パニツムマブ]

- 2025年9月、当社は、ベクティビックスについて、KRAS G12C阻害剤であるルマケラス錠 (ソトラシブ) との併用療法として、がん化学療法後に増悪したKRAS G12C変異陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌の新たな効能又は効果ならびに用法及び用量の製造販売承認事項一部変更承認を厚生労働省より取得したことを公表しました。本承認は、KRAS G12C変異陽性の既治療の転移性の結腸・直腸癌患者を対象として、ベクティビックスとルマケラスを併用投与した際の有効性および安全性を評価する、臨床第3相、国際共同、多施設共同、ランダム化、非盲検、実薬対照試験 (CodeBreak 300試験) の結果に基づくものです。

[開発コード：TAK-121 一般名：rusfertide]

- 2025年6月、当社とProtagonist Therapeutics社は、臨床第3相VERIFY試験の詳細な結果を第61回米国臨床腫瘍学会 (ASCO) 年次総会のプレナリーセッションにおいて発表したことを公表しました。本試験は、主要評価項目である臨床的奏功割合を達成しました。臨床的奏効とは、20週から32週の間、瀉血の適格性がないことと定義されました。Rusfertideと現在の標準治療を併用した場合、highリスクおよびlowリスクの真性多血症 (PV) 群において臨床的奏功割合が2倍以上に増加し、プラセボと現在の標準治療を併用した場合と比較して、主要評価項目である瀉血の必要性が有意に減少しました。Rusfertideは概ね良好な忍容性を示し、大半の有害事象は低グレードであり重篤ではなく、rusfertideに関係すると判定された重篤な有害事象は報告されませんでした。主要評価項目の分析の時点で、rusfertide群とプラセボ群の比較においてがんのリスク増加のエビデンスは認められませんでした。
- 2025年12月、当社とProtagonist Therapeutics社は、PV患者を対象にrusfertideを評価するピボタル臨床第3相VERIFY試験の新たな52週間の結果を、第67回米国血液学会 (ASH) 年次総会において発表しました。新たなデータでは、瀉血を要しない持続的なヘマトクリット値のコントロールと奏効が確認され、新たな安全性の問題は観察されませんでした。
- 2026年3月、当社とProtagonist Therapeutics社は、米国食品医薬品局 (FDA) が、成人PV患者を対象としたrusfertideの新薬承認申請 (NDA) を受理し、優先審査に指定したことを公表しました。FDAは、処方薬ユーザーフィー法 (Prescription Drug User Fee Act; PDUFA) に基づく審査終了目標日を2026年暦年第3四半期 (2026年7 - 9月) に設定しています。加えて、rusfertideはFDAより、ブレイクスルーセラピー、希少疾病用医薬品 (オーファンドラッグ) およびファストトラックの指定を受けています。本申請は主に、臨床第3相VERIFY試験の32週時点の主要解析および52週時点の結果、ならびに臨床第2相REVIVE試験および長期投与THRIVE試験からの4年の有効性と安全性データの結果に基づいています。

## 目次

[開発コード：TAK-853 一般名：ミルベツキシマブ ソラブタンシン]

- 2026年1月、当社は、ミルベツキシマブ ソラブタンシンについて、葉酸受容体α (FRα) 陽性のプラチナ製剤抵抗性の再発卵巣がん (PROC) に対する治療薬として厚生労働省に製造販売承認申請を行ったことを公表しました。本申請は、FRα陽性のPROC患者を対象とした海外臨床第3相試験であるMIRASOL試験、SORAYA試験および国内第1/2相試験であるTAK-853-1501試験の結果に基づくものです。これらの試験を通じて、ミルベツキシマブ ソラブタンシンは、FRα陽性のPROC患者の治療において一貫した有効性と良好な安全性プロファイルを示しました。ミルベツキシマブ ソラブタンシンは、厚生労働省よりFRα陽性のPROCを予定される効能又は効果として希少疾病用医薬品 (オーファンドラッグ) に指定されており、本申請は優先審査の対象です。

## その他の希少疾患品目

当社の研究開発は、3つの重点疾患領域 (消化器系・炎症性疾患、ニューロサイエンス (神経精神疾患)、オンコロジー) にわたり、希少疾患および有病率がより高い疾患のいずれにおいても、未だ有効な治療法が確立されていない高い医療ニーズ (アンメット・メディカル・ニーズ) が存在する疾患に注力しております。その他の希少疾患品目においては、遺伝性血管性浮腫に対するタクザイロなどの既発売品に加え、高いアンメット・メディカル・ニーズが存在する複数の疾患に焦点をあて取り組んでおります。希少血液疾患においては、アドベイト、アディノベイト/ADYNOVIを通じて、出血性疾患治療における現在のニーズへ対応することに注力しております。また、リブテンシティにおいては、移植後サイトメガロウイルス (CMV) 感染/感染症の治療を再定義することを目指しております。当社は、希少疾患の患者さんに対し革新的な医薬品を届けるという当社のビジョンを実現するための取り組みに注力します。当社は、希少疾患において当社が有する専門能力の活用が可能であり、希少疾患に対する当社のコミットメントおよびリーダーシップを高める可能性のある、後期開発段階の事業開発機会の探索を今後も継続する予定です。

[ボンベンディ 一般名：フォン・ヴィレブランド因子 (遺伝子組み換え)]

- 2025年9月、当社は、米国食品医薬品局 (FDA) が、ボンベンディの生物学的製剤承認一部変更申請 (sBLA) を承認したことを公表しました。本承認によりボンベンディの適応症に、1型および2型を含むフォン・ヴィレブランド病 (VWD) の成人患者 (18歳以上) に対する定期補充療法ならびに小児患者に対する出血時の止血治療および周術期の止血管理が追加されました。本承認は、成人VWD患者を対象とした臨床第3相試験、小児VWD患者を対象とした臨床第3相試験、成人および小児VWD患者を対象とした臨床第3相継続投与試験ならびにこれらを補完する実臨床データに基づきます。
- 2026年2月、当社は、ボンベンディについて、18歳未満のVWD患者に対する用法・用量追加に関して厚生労働省から製造販売承認事項一部変更の承認を取得したことを公表しました。主に海外臨床第3相非盲検試験 (071102試験) および海外第3相継続投与試験 (SHP677-304試験) における18歳未満のVWD患者を対象とした出血時および周術期の安全性および有効性のデータに基づくものです。

[タクザイロ 一般名：ラナデルマブ]

- 2025年9月、当社は、タクザイロ皮下注300mgペンについて、タクザイロシリンジの剤型追加として厚生労働省より製造販売承認を取得したことを公表しました。

## 血漿分画製剤

当社は、血漿分画製剤 (PDT) に特化したPDTビジネスユニットを設立し、血漿の収集から製造、研究開発および商業化まで、エンド・ツー・エンドのビジネスの運営に注力しております。本領域では、様々な希少かつ複雑な慢性疾患に対する患者さんにとって生命の維持に必要な不可欠な治療薬の開発を目指しております。本領域に特化した研究開発部門は、既発売の治療薬の価値最大化、新たな治療ターゲットの特定および血漿収集から製造に至るまで血漿分画製剤のバリューチェーン全体にわたる効率性の最適化という役割を担っております。短期的には、当社の幅広い免疫グロブリン製剤ポートフォリオ (ハイキュービア、キュービトル、GAMMAGARD LIQUIDおよびGAMMAGARD LIQUID ERC) における効能追加、地理的拡大および総合的な医療テクノロジーの活用を通じたより良い患者体験を追求しております。また、当社は、グローバルに販売している20種類以上にわたる治療薬ポートフォリオに加え、20%促進型皮下注用免疫グロブリン製剤 (TAK-881) といった次世代の免疫グロブリン製剤の開発、およびその他の早期段階の治療薬候補 (高シアル化免疫グロブリン (hsIgG) であるTAK-411を含む) の開発を行っております。

[ハイキュービア 一般名：遺伝子組換えヒトヒアルロニダーゼ含有皮下注 (ヒト) 免疫グロブリン10%]

- 2025年6月、当社は、ハイキュービアについて、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎 (CIDP) 及び多巣性運動ニューロパチー (MMN) の運動機能低下の進行抑制 (筋力低下の改善が認められた場合) の適応追加に係る製造販売承認事項一部変更承認を厚生労働省から取得したことを公表しました。本承認は、日本人のCIDP患者およびMMN患者を対象とした国内臨床第3相試験

## 目次

(TAK-771-3002試験)、ならびにCIDP患者を対象とした2つの海外臨床第3相試験(161403試験および161505試験)に基づくものです。

- 2025年7月、当社は、ハイキューピアを在宅や病院内で針を用いずに薬液を輸注セットへ移注できる、17歳以上の患者に対する医療機器であるHYHUBおよびHYHUB DUOについて、米国食品医薬品局(FDA)より、市販前届出510(k)のクリアランスを取得したことを公表しました。HyHubおよびHyHub Duoにより、HYQVIAの投与に必要な手順を削減し、投与を簡便化するために開発されました。

### [GAMMAGARD LIQUID ERC 一般名：(ヒト)免疫グロブリン10%(低IgA)]

- 2025年6月、当社は、2歳以上の原発性免疫不全症(PID)患者に対する補充療法として、免疫グロブリンA(IgA)含有量の少ない、溶解操作不要な唯一の液状人免疫グロブリン製剤GAMMAGARD LIQUID ERC(IgAの含有量が2µg/mL以下の10%製剤)が、米国食品医薬品局(FDA)により承認されたことを公表しました。GAMMAGARD LIQUID ERCは溶解操作が不要な液状製剤であり、静脈注射または皮下注射が可能であることから、患者および医療従事者の投与負担の軽減に貢献することが期待されます。

### [献血グロベニン-I 一般名：静注(ヒト)免疫グロブリン]

- 2026年2月、当社は、献血グロベニン-I 10%静注について、厚生労働省から製造販売承認を取得したことを公表しました。本承認は、国内で承認を得ている当社の献血グロベニン-I静注用(5%製剤)が承認されている効能又は効果を対象としています。献血グロベニン-I 10%静注は、国内で承認を得ている当社の献血グロベニン-I静注用の剤型を凍結乾燥製剤から液状製剤へ改良し、有効成分濃度を既存製剤の5%から10%へと高濃度化した国内血漿由来の製剤です。有効成分濃度の高濃度化により、投与量が減少し、投与時間が短縮するとともに、投与量の負荷を軽減した大量療法が可能になることが期待されます。

### [開発コード：TAK-881 一般名：遺伝子組換えヒトヒアルロニダーゼ含有皮下注(ヒト)免疫グロブリン20%]

- 2026年5月、当社は、原発性免疫不全症(PID)患者を対象としたTAK-881-3001試験(ピボタル臨床第2/3相試験)において、主要評価項目を達成し、開発中のTAK-881とハイキューピアの薬物動態の同等性が示されたことを公表しました。また、副次評価項目において、ヒアルロニダーゼ含有20%製剤であるTAK-881の安全性、有効性および忍容性プロファイルは、既存の10%製剤であるハイキューピアと同等であることが示されました。これらの結果は、TAK-881が、PID患者に柔軟な投与スケジュール(PIDでは3週間隔または最長で4週間隔投与)を維持しながら、必要な免疫グロブリン投与量をハイキューピアの半分の液量で投与できる可能性を示すものであり、投与時間の短縮につながることを期待されます。

## ワクチン

ワクチンでは、イノベーションを活用し、デング熱(QDENG)、新型コロナウイルス感染(COVID-19)(ヌバキソビッド筋注)など複数の感染症に取り組んでおります。当社パイプラインの拡充およびプログラムの開発に対する支援を得るために、日本の政府機関およびWHO(世界保健機関)、PAHO(Pan American Health Organization)、Gavi(Global Alliance for Vaccines and Immunization)を含む主要な世界的機関とのパートナーシップを締結しております。これらのパートナーシップは、当社のプログラムを実行し、それらのポテンシャルを最大限に引き出すための重要な能力を構築するために必要不可欠です。

### [ヌバキソビッド筋注 一般名：組換えコロナウイルス(SARS-CoV-2)ワクチン]

- 2025年8月、当社は、同年6月に製造販売承認事項一部変更承認申請を行ったSARS-CoV-2オミクロン株LP.8.1系統を抗原株としたヌバキソビッドについて厚生労働省より承認を取得したことを公表しました。本承認は、品質の抗原株の変更に係るデータに加え、LP.8.1系統を抗原株としたヌバキソビッドが直近のSARS-CoV-2変異株(LP.8.1、LP.8.1.1、JN.1、KP.3.1.1、XEC、XEC.4、NP.1、LF.7及びLF.7.2.1)に対しても中和抗体を産生することが認められた非臨床データに基づきます。

### [QDENG 一般名：4価弱毒生デング熱ワクチン]

- 2025年11月、当社は、QDENGを7年間にわたり評価したピボタル臨床第3相試験であるTIDES(Tetravalent Immunization against Dengue Efficacy Study)試験を完了したことを公表しました。本試験には追加接種の探索的解析も含まれており、これらのデータから、QDENGのベネフィット・リスクプロファイルとともに、2回接種によりデング熱に対する持続的な予防効果が得られることが確認されました。QDENGの2回接種(初回接種)の4.5年後に追加接種を行った結果、追加接種2年後のワクチン有効性(VE)はわずかに上昇しました。4種のデングウイルス血清型全てにおいてVEが、7年間にわたり認められました。追加接種後、新たな安全性上の懸念は認められませんでした。これらの結果は、第14回世界小児感染症学

会（WSPID）年次総会において発表されました。また当社は、非流行国における追加接種試験の結果を米国熱帯医学衛生学会（ASTMH）年次総会で発表しました。

## **将来に向けた研究プラットフォームの構築／研究開発における提携の強化**

自社の研究開発機能向上への注力に加え、社外パートナーとの提携も、当社研究開発パイプライン強化のための戦略における重要な要素の一つです。社外提携の拡充と多様化に向けた戦略により、様々な新製品の研究に参画し、当社が大きな研究関連のブレイクスルーを達成する可能性を高めます。

- 2025年10月、当社は、Innovent Biologics（Innovent社）と、後期開発段階にある2つのがん治療薬TAK-928（IBI363）およびTAK-921（IBI343）について、中国・香港・マカオ・台湾以外の全世界における開発、製造、商業化に関するライセンスおよび提携契約を締結したことを公表しました。TAK-928は、ファースト・イン・クラスとなる可能性のある、PD-1/IL-2<sup>α</sup>-bias 二重特異性抗体融合タンパク質です。非小細胞肺癌および結腸・直腸がんで評価されており、他の種類の固形腫瘍にも有効性が期待されています。TAK-928は、米国食品医薬品局（FDA）から、抗PD-(L)1療法およびプラチナベースの化学療法後に進行した切除不能な局所進行または転移性sqNSCLC患者の治療のためにファストトラック指定を受けています。開発中のTAK-921は、胃癌および膵臓がん細胞に高頻度で発現するClaudin 18.2タンパクを標的とする次世代抗体薬物複合体（ADC）治療薬であり、胃癌および膵臓がんで評価されています。TAK-921は、FDAより、1ライン前の治療後に再発または抵抗性となった進行切除不能または転移性膵臓がん（PDAC）の治療においてファストトラック指定を受けています。また、初期開発段階の治療薬であるIBI3001の中国・香港・マカオ・台湾以外での全世界での独占的ライセンスオプションを取得します。IBI3001は、EGFRおよびB7H3の両方を標的とするように設計された、ファースト・イン・クラスとなる可能性のある二重特異性ADCです。2025年12月、当社は、全てのクローリング条件を満たし、Innovent社とのライセンスおよび提携契約の締結手続を完了したことを公表しました。
- 2026年1月、当社は、Halozyme Therapeutics, Inc.（Halozyme社）とグローバルでの提携およびライセンス契約を締結したことを公表しました。本契約により、当社にHalozyme社の革新的なENHANZEドラッグデリバリーテクノロジーを独占的にベドリズムブに使用する権利が付与されます。

## **当社の研究活動に関するアップデート**

- 2025年10月、当社は、戦略的なポートフォリオの優先順位を検討した結果、細胞療法に関する自社での取り組みを中止する決定を公表しました。今後、当社は、当社の細胞療法プラットフォーム技術の強化ならびに当分野での研究や臨床応用可能なプログラムのさらなる進展を担うことのできる外部パートナーを模索してまいります。なお、現在当社が細胞療法技術を用いて実施している進行中の臨床試験はありません。当社は今後、患者さんに対しより迅速かつ大規模に革新的な治療法を届けることができると考えられるプログラムに短期的な投資を再集中します。

## 経営成績、財政状態およびキャッシュ・フローの分析

## 経営成績の概況

## (1) 業績の概要

	(単位:億円、%以外)				
	前年度	当年度	AERベース		CERベース
			増減額	増減率	増減率
売上収益	45,816	45,057	△758	△1.7 %	△2.7 %
売上原価	△15,802	△15,716	86	△0.5 %	△1.9 %
販売費及び一般管理費	△11,048	△10,842	206	△1.9 %	△2.5 %
研究開発費	△7,302	△6,759	543	△7.4 %	△7.0 %
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△6,432	△6,335	97	△1.5 %	△1.7 %
その他の営業収益	262	247	△15	△5.6 %	△4.4 %
その他の営業費用	△2,067	△1,564	503	△24.3 %	△25.8 %
営業利益	3,426	4,088	662	19.3 %	14.5 %
金融収益及び費用(純額)	△1,635	△1,464	171	△10.5 %	△7.5 %
持分法による投資損益	△40	△22	18	△45.4 %	△52.9 %
税引前当期利益	1,751	2,602	851	48.6 %	36.6 %
法人所得税費用	△669	△682	△12	1.8 %	△10.4 %
当期利益	1,081	1,920	839	77.6 %	65.7 %
当期利益(親会社の所有者帰属分)	1,079	1,918	838	77.7 %	65.8 %

本項において、国際会計基準(IFRS)に準拠した実勢レート(Actual Exchange Rate)ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準(IFRS)に準拠しない恒常為替レート(Constant Exchange Rate)ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減率」の追加的な情報については、財務補足資料の「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

## 〔売上収益〕

売上収益は、4兆5,057億円(△758億円および△1.7% AER、△2.7% CER)となりました。この減収は、主に当社の6つの主要なビジネスエリアの一つであるニューロサイエンス(神経精神疾患)における減収によるものです。ニューロサイエンスにおける減収は、主に米国における注意欠陥/多動性障害(ADHD)治療剤VYVANSEの後発品の市場浸透による減収影響を引き続き受けたことによるものです。当社の他の主要なビジネスエリアである消化器系疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー(がん)、およびワクチンにおける売上収益は増収となりました。一部の製品は米国におけるメディケア・パートDの再設計および340Bプログラムの拡大による影響を受けたものの、米国以外の地域におけるその他の製品の需要は堅調に推移しました。当社の6つの主要なビジネスエリア以外の売上収益は、2,240億円(△334億円および△13.0% AER、△15.9% CER)となりました。

## 地域別売上収益

各地域の売上収益は以下のとおりです。

	(単位:億円、%以外)				
	前年度	当年度	AERベース		CERベース
			増減額	増減率	増減率
売上収益:					
日本	4,185	4,331	146	3.5 %	3.4 %
米国	23,797	21,648	△2,148	△9.0 %	△7.7 %
欧州およびカナダ	10,553	11,462	910	8.6 %	3.0 %
中南米	2,358	2,541	183	7.8 %	4.9 %
中国	1,917	1,951	34	1.8 %	1.4 %
アジア(日本および中国を除く)	994	987	△7	△0.7 %	△0.3 %
ロシア/CIS	724	797	74	10.2 %	0.7 %
その他(注)	1,288	1,339	50	3.9 %	1.0 %
合計	45,816	45,057	△758	△1.7 %	△2.7 %

(注) その他の地域は中東、オセアニアおよびアフリカを含みます。

## ビジネスエリア別売上収益

各ビジネスエリアの売上収益は以下のとおりです。

売上収益:	前年度	当年度	(単位:億円、%以外)		
			AERベース		CERベース
			増減額	増減率	増減率
消化器系疾患	13,570	14,075	504	3.7 %	3.1 %
希少疾患	7,528	7,627	99	1.3 %	△0.3 %
血漿分画製剤	10,327	10,575	249	2.4 %	1.9 %
オンコロジー	5,604	5,801	197	3.5 %	2.0 %
ワクチン	554	596	42	7.6 %	5.1 %
ニューロサイエンス	5,658	4,143	△1,515	△26.8 %	△27.2 %
その他	2,574	2,240	△334	△13.0 %	△15.9 %
合計	45,816	45,057	△758	△1.7 %	△2.7 %

各ビジネスエリアにおける売上収益の前年度からの増減は、主に以下の製品によるものです。

・消化器系疾患

消化器系疾患の売上収益は、1兆4,075億円（+504億円および+3.7% AER、+3.1% CER）となりました。

潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤ENTYVIO（国内製品名：エンタイビオ）の売上は、9,580億円（+439億円および+4.8% AER、+4.2% CER）となりました。米国における売上は、6,237億円（+45億円および+0.7% AER）となりました。この増収は、皮下注射製剤の売上が伸長したことによるものですが、対米ドルでの円高による減収影響により相殺されました。欧州およびカナダにおける売上は、2,567億円（+293億円および+12.9% AER）となりました。この増収は、主に皮下注射製剤の継続的な使用拡大に伴い患者が増加したことに加え、対ユーロでの円安による増収影響によるものです。

酸関連疾患治療剤タケキャブ/VOCINTIの売上は、1,437億円（+129億円および+9.9% AER、+9.6% CER）となりました。この増収は、中国および日本における堅調な需要によるものです。

好酸球性食道炎治療剤EOHILIAの売上は、88億円（+33億円および+61.0% AER、+63.2% CER）となりました。この増収は、米国における堅調な需要によるものです。

慢性特発性便秘症治療剤RESOLOR/MOTEGRITYの売上は、73億円（△122億円および△62.7% AER、△62.8% CER）となりました。この減収は、主に米国において2025年1月から複数の後発品が参入したことによるものです。

・希少疾患

希少疾患の売上収益は、7,627億円（+99億円および+1.3% AER、△0.3% CER）となりました。

移植後のサイトメガロウイルス感染/感染症治療剤リブテンシティの売上は、469億円（+139億円および+42.2% AER、+41.0% CER）となりました。この増収は、主に米国において市場浸透が継続して好調に進んだことに加え、欧州および成長新興国において引き続き販売エリアが拡大したことによるものです。

先天性血栓性血小板減少性紫斑病治療剤アジンマの売上は、120億円（+49億円および+68.8% AER、+65.1% CER）となりました。この増収は、欧州において上市以降、売上が着実に増加したことによるもので、超希少疾患患者さんのアンメット・ニーズを反映しています。

フォン・ヴィレブランド病治療剤ボンベンディの売上は、253億円（+43億円および+20.8% AER、+18.6% CER）となりました。この増収は、ボンベンディの適応拡大（成人患者に対する出血傾向の抑制のための定期補充療法）によるものです。

血友病A治療剤アディノバイト/ADYNOVIの売上は567億円（△79億円および△12.3% AER、△13.1% CER）となりました。この減収は、主に米国における競争の激化によるものです。

血友病A治療剤アドベイトの売上は1,055億円（△62億円および△5.6% AER、△6.8% CER）となりました。この減収は、主に米国における競争の激化によるものです。

・血漿分画製剤

血漿分画製剤の売上収益は、1兆575億円（+249億円および+2.4% AER、+1.9% CER）となりました。

主に原発性免疫不全症、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎および多巣性運動ニューロパチーの治療に用いられる免疫グロブリン製剤の売上合計は、7,906億円（+328億円および+4.3% AER、+4.1% CER）となりました。この増収は、皮下注射製剤のキュービトルとハイキュービアの売上が伸長したことによるものです。静脈注射製剤のGAMMAGARD LIQUID/KIOVIGの売上は、米国におけるメディケア・パートDの再設計および対米ドルでの円高による減収影響を受けたものの、わずかに増収となりました。

血友病Aおよび血友病B治療剤ファイバの売上は、329億円（△66億円および△16.6% AER、△17.7% CER）となりました。この減収は、全ての地域において、遺伝子組換え製剤との競争が激化したことによるものです。

### ・オンコロジー

オンコロジーの売上収益は、5,801億円（+197億円および+3.5% AER、+2.0% CER）となりました。

悪性リンパ腫治療剤アドセトリスの売上は、1,402億円（+112億円および+8.7% AER、+5.3% CER）となりました。この増収は、欧州および成長新興国における堅調な需要に加え、対ユーロでの円安による増収影響によるものです。

大腸がん治療剤FRUZAQLA（国内製品名：フリユザクラ）の売上は、551億円（+72億円および+14.9% AER、+14.6% CER）となりました。この増収は、本剤が転移性大腸がんにおける新たな治療選択肢として、欧州、日本および成長新興国において上市后、着実に市場浸透したことによるものです。この増収は、米国における売上がメディケア・パートDの再設計による影響を受けて減少したことにより一部相殺されました。

白血病治療剤アイクルシグの売上は、750億円（+43億円および+6.1% AER、+5.6% CER）となりました。この増収は、主にカナダにおける売上が増加したことによるものです。

子宮内膜症・子宮筋腫・閉経前乳がん・前立腺がん等の治療に用いられるリュープリン/ENANTONEの売上は、1,208億円（+15億円および+1.3% AER、△0.4% CER）となりました。この増収は、主に対ユーロでの円安による増収影響によるものです。

多発性骨髄腫治療剤ニンラー口の売上は、821億円（△91億円および△10.0% AER、△10.5% CER）となりました。この減収は、主に米国における競争の激化と需要の減少によるものです。この減収は、成長新興国における売上が増加したことにより一部相殺されました。

### ・ワクチン

ワクチンの売上収益は、596億円（+42億円および+7.6% AER、+5.1% CER）となりました。

デング熱ワクチンQDENGの売上は、408億円（+52億円および+14.6% AER、+10.7% CER）となりました。この増収は、成長新興国における高い需要により上市以降、売上が増加したことによるものです。

その他のワクチンの売上合計は、減収となりました。この減収は、主に日本における麻しん風しん混合ワクチンであるMRワクチンの一時的な出荷停止が継続したことによるものです。

### ・ニューロサイエンス

ニューロサイエンスの売上収益は、4,143億円（△1,515億円および△26.8% AER、△27.2% CER）となりました。

ADHD治療剤VYVANSE/ELVANSE（国内製品名：ビバンセ）の売上は、2,032億円（△1,474億円および△42.0% AER、△43.0% CER）となりました。この減収は、主に米国において後発品の市場浸透が引き続き進んだことによるものです。

#### 〔売上原価〕

売上原価は、1兆5,716億円（△86億円および△0.5% AER、△1.9% CER）となりました。この減少は、売上収益の減少に加え、在庫に積み上がった為替影響を認識するプロセスの導入に伴い前年度に売上原価の調整を計上したことによるものです。一方で、これらの減少は、特に米国におけるVYVANSE後発品の市場浸透により製品構成が変化したことによる原価率の上昇や、対ユーロでの円安による為替影響により、大部分が相殺されました。

#### 〔販売費及び一般管理費〕

販売費及び一般管理費は、1兆842億円（△206億円および△1.9% AER、△2.5% CER）となりました。この減少は、主に全社的な効率化プログラムのコスト節減効果により費用が削減されたことによるものです。

#### 〔研究開発費〕

研究開発費は、6,759億円（△543億円および△7.4% AER、△7.0% CER）となりました。この減少は、ザソチニブやelriterceptをはじめとする一部の後期開発パイプラインに係る費用が増加したものの、その他の開発プログラムにおいて開発の中止や臨床試験の進捗に伴い費用が減少したこと、メザギタマブに関しては共同開発資金を研究開発費の減額として認識したこと、および全社的な効率化プログラムのコスト節減効果による費用の減少があったことによるものです。

#### 〔製品に係る無形資産償却費及び減損損失〕

製品に係る無形資産償却費及び減損損失は、6,335億円（△97億円および△1.5% AER、△1.7% CER）となりました。この減少は、無形資産減損損失が増加（+342億円）したものの、VYVANSE/ELVANSEに係る無形資産の償却終了などに伴い、無形資産償却費が減少（△439億円）したことによるものです。当年度の減損損失には、細胞療法研究の中止の決定に伴い計上したガンマ・デルタT細胞療法プラットフォームおよび関連するオンコロジーのプログラムに係る減損損失582億円、および将来の売上予測の低下により計上した非小細胞肺癌治療剤アルンプリグに係る減損損失319億円が含まれます。前年度の減損損失には、Maverick Therapeutics Inc.の買収により獲得したTAK-186およびTAK-280の開発中止の決定に伴い計上した減

損損失278億円、およびソチクレストタット（TAK-935）の臨床第3相試験において主要評価項目を達成できなかったことにより計上した減損損失215億円が含まれます。

〔その他の営業収益〕

その他の営業収益は、247億円（△15億円および△5.6% AER、△4.4% CER）となりました。この減少は、主に前年度において条件付対価契約に関する金融負債の公正価値変動に伴う収益を計上したこと、および当年度におけるその他の収益の減少によるものの、当年度に計上した事業売却益の増加により大部分が相殺されたものです。

〔その他の営業費用〕

その他の営業費用は、1,564億円（△503億円および△24.3% AER、△25.8% CER）となりました。この減少は、当年度において、主として全社的な効率化プログラムに関連する費用を含む事業構造再編費用が573億円減少したことによるものです。加えて、前年度に計上した、開発を中止した治験に係る患者さんの将来アクセス対応のための一時的な費用が当年度は発生しなかったこと、および資産に係る減損損失が減少したことも、減少要因となりました。これらの減少要因は、承認前在庫に係る費用計上額が増加したことにより、一部が相殺されました。

〔営業利益〕

営業利益は、上記の要因を反映し、4,088億円（+662億円および+19.3% AER、+14.5% CER）となりました。

〔金融損益〕

金融収益と金融費用をあわせた金融損益は1,464億円の損失（△171億円および△10.5% AER、△7.5% CER）となりました。この減少は、主に武田テバファーマ株式会社の株式の売却に係る減損損失189億円を前年度に計上したことによるものです。

〔持分法による投資損益〕

持分法による投資損益は、22億円の損失（△18億円および△45.4% AER、△52.9% CER）となりました。

〔法人所得税費用〕

法人所得税費用は、682億円（+12億円および+1.8% AER、△10.4% CER）となりました。この増加は主に、税引前当期利益の増加や税額控除の減少による税金費用の増加があったことによるもので、当年度における繰延税金資産の回収可能性の見直しによる税金費用の減少により、大部分が相殺されております。

〔当期利益〕

当期利益は、上記の要因を反映し、1,920億円（+839億円および+77.6% AER、+65.7% CER）、当期利益（親会社の所有者帰属分）は、1,918億円（+838億円および+77.7% AER、+65.8% CER）となりました。

## (2) Core業績の概要

## Core財務指標とCERベースの増減の定義および説明

当社は、国際会計基準（IFRS）に準拠した財務諸表に加え、業績評価において「Core財務指標」の概念を採用しています。本指標は、IFRSに準拠したものではありません。追加的な情報については、財務補足資料の「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

## Core業績

(単位:億円、%以外)

	前年度	当年度	AERベース		CERベース
			増減額	増減率	増減率
Core売上収益	45,798	45,057	△741	△1.6%	△2.6%
Core営業利益	11,626	11,725	98	0.8%	△0.9%
Core当期利益	7,758	8,144	386	5.0%	2.9%
Core当期利益 (親会社の所有者帰属分)	7,756	8,141	385	5.0%	2.9%
Core EPS (円)	491	517	26	5.2%	3.1%

## 〔Core売上収益〕

Core売上収益は、4兆5,057億円（△741億円および△1.6% AER、△2.6% CER）となりました。この減収は、主に米国においてVYVANSEの後発品の市場浸透が引き続き進んだ影響を受けたことにより、ニューロサイエンスの売上収益が減少したことによるものです。

タケダの成長製品・新製品（注）の売上収益は2兆3,133億円（+1,114億円および+5.1% AER、+4.5% CER）となりました。

## (注) 当年度のタケダの成長製品・新製品

消化器系疾患：ENTYVIO、EOHILIA

希少疾患：タクザイロ、リブテンシティ、アジンマ

血漿分画製剤（免疫疾患）：GAMMAGARD LIQUID/KIOVIG、ハイキューピア、

キュービトルを含む免疫グロブリン製剤、HUMAN ALBUMIN、FLEXBUMINを含むアルブミン製剤

オンコロジー：アルンプリグ、FRUZAQLA

ワクチン：QDENGGA

## 〔Core営業利益〕

Core営業利益は、1兆1,725億円（+98億円および+0.8% AER、△0.9% CER）となりました。Core営業利益の内訳は以下のとおりです。

(単位:億円、%以外)

	前年度	当年度	AERベース		CERベース
			増減額	増減率	増減率
Core売上収益	45,798	45,057	△741	△1.6%	△2.6%
Core売上原価	△15,818	△15,726	92	△0.6%	△1.9%
Core販売費及び一般管理費	△11,050	△10,847	204	△1.8%	△2.5%
Core研究開発費	△7,304	△6,760	544	△7.4%	△7.0%
Core営業利益	11,626	11,725	98	0.8%	△0.9%

報告期間における上記項目の増減は以下のとおりです。

## 〔Core売上原価〕

Core売上原価は、1兆5,726億円（△92億円および△0.6% AER、△1.9% CER）となりました。この減少は、売上収益の減少に加え、在庫に積み上がった為替影響を認識するプロセスの導入に伴い前年度に売上原価の調整を計上したことによるものです。一方で、これらの減少は、特に米国におけるVYVANSE後発品の市場浸透により製品構成が変化したことによる原価率の上昇や、対ユーロでの円安による為替影響により、大部分が相殺されました。

## 〔Core販売費及び一般管理費〕

Core販売費及び一般管理費は、1兆847億円（△204億円および△1.8% AER、△2.5% CER）となりました。この減少は、主に全社的な効率化プログラムのコスト節減効果により費用が削減されたことによるものです。

## 〔Core研究開発費〕

Core研究開発費は、6,760億円（△544億円および△7.4% AER、△7.0% CER）となりました。この減少は、ザソチニブやelriterceptをはじめとする一部の後期開発パイプラインに係る費用が増加したものの、その他の開発プログラムにおいて開発の中止や臨床試験の進捗に伴い費用が減少したこと、メザギタマブに関しては共同開発資金を研究開発費の減額として認識したこと、および全社的な効率化プログラムのコスト節減効果による費用の減少があったことによるものです。

## 〔Core当期利益〕

Core当期利益は、8,144億円（+386億円および+5.0% AER、+2.9% CER）、Core当期利益（親会社の所有者帰属分）は、8,141億円（+385億円および+5.0% AER、+2.9% CER）となりました。Core当期利益は、Core営業利益に基づき、以下のとおり算出されます。

	前年度	当年度	(単位:億円、%以外)		
			AERベース		CERベース
			増減額	増減率	増減率
Core営業利益	11,626	11,725	98	0.8%	△0.9%
Core金融収益及び費用（純額）	△1,407	△1,332	75	△5.3%	△1.9%
Core持分法による投資損益	11	△1	△13	—	△82.1%
Core税引前当期利益	10,231	10,392	161	1.6%	△0.9%
Core法人所得税費用	△2,473	△2,248	225	△9.1%	△12.8%
Core当期利益	7,758	8,144	386	5.0%	2.9%
Core当期利益 （親会社の所有者帰属分）	7,756	8,141	385	5.0%	2.9%

報告期間における上記項目の増減は以下のとおりです。

## 〔Core金融損益〕

Core金融収益とCore金融費用をあわせた金融損益は、1,332億円の損失（△75億円および△5.3% AER、△1.9% CER）となりました。

## 〔Core持分法による投資損益〕

Core持分法による投資損益は、1億円の損失（△13億円）となりました。

## 〔Core税引前当期利益〕

Core税引前当期利益は、1兆392億円（+161億円および+1.6% AER、△0.9% CER）となりました。

## 〔Core法人所得税費用〕

Core法人所得税費用は、2,248億円（△225億円および△9.1% AER、△12.8% CER）となりました。この減少は主に、当年度における繰延税金資産の回収可能性の見直しにより、Core法人所得税費用が減少したことによるものです。

## 〔Core EPS〕

Core EPSは、517円（+26円および+5.2% AER、+3.1% CER）となりました。

## 財政状態の概況

(単位：億円)

	前年度末	当年度末	増減額
資産合計	142,483	154,531	12,048
負債合計	73,124	76,783	3,659
資本合計	69,360	77,748	8,388

## 〔資産〕

当年度末における資産合計は、15兆4,531億円（+1兆2,048億円）となりました。主に為替換算の影響により、のれん、棚卸資産および有形固定資産が増加（+4,846億円、+1,793億円および+1,524億円）しております。米国における売上債権の売却プログラムを減額したことなどによる売上債権残高の増加、ならびに為替換算の影響により、売上債権及びその他の債権が増加（+1,348億円）しております。主に無形資産の償却や、繰延税金資産の回収可能性の見直しにより、繰延税金資産が増加（+1,171億円）しております。主に日本における金利通貨スワップに係る公正価値変動により、その他の金融資産合計が増加（+1,102億円）しております。加えて、現金及び現金同等物が増加（+2,099億円）しております。これらの増加は、主に償却および減損による無形資産の減少（△2,122億円）により一部相殺されております。

## 〔負債〕

当年度末における負債合計は、7兆6,783億円（+3,659億円）となりました。社債及び借入金合計は4兆8,818億円<sup>(注)</sup>（+3,666億円）となり、償還および返済により一部相殺されたものの、主に為替の影響に加え、円貨建無担保普通社債および米ドル建保証付無担保普通社債の発行、ならびに新たなバイラテラルローンの借入により増加しております。

(注) 当年度末における社債及び借入金の帳簿価額はそれぞれ4兆6,568億円および2,250億円です。なお、社債及び借入金の内訳は以下のとおりです。

## 社債：

銘柄 (外貨建発行額)	発行時期	償還期限	帳簿価額
米ドル建無担保普通社債 (500百万米ドル)	2015年6月	2045年6月	813億円
米ドル建無担保普通社債 (1,500百万米ドル)	2016年9月	2026年9月	2,377億円
ユーロ建無担保普通社債 (3,000百万ユーロ)	2018年11月	2026年11月 ～2030年11月	5,476億円
米ドル建無担保普通社債 (1,750百万米ドル)	2018年11月	2028年11月	2,784億円
米ドル建無担保普通社債 (7,000百万米ドル)	2020年7月	2030年3月 ～2060年7月	1兆1,111億円
ユーロ建無担保普通社債 (3,600百万ユーロ)	2020年7月	2027年7月 ～2040年7月	6,558億円
円貨建無担保普通社債	2021年10月	2031年10月	2,496億円
ハイブリッド社債 (劣後特約付社債)	2024年6月	2084年6月	4,584億円
米ドル建無担保普通社債 (3,000百万米ドル)	2024年7月	2034年7月 ～2064年7月	4,738億円
円貨建無担保普通社債	2025年6月	2030年6月 ～2035年6月	1,836億円
米ドル建無担保普通社債 (2,400百万米ドル)	2025年7月	2035年7月 ～2055年7月	3,794億円
合計			4兆6,568億円

## 借入金:

名称 (外貨建借入額)	借入時期	返済期限	帳簿価額
バイラテラルローン	2023年3月 ～2026年3月	2029年3月 ～2034年3月	1,850億円
シンジケートハイブリッド ローン (劣後特約付ローン)	2024年10月	2084年10月	400億円
その他			0億円
合計			2,250億円

当社グループは、2025年4月25日に、バイラテラルローン100億円を満期返済しました。2025年6月12日には、発行総額1,840億円、償還期日2030年6月12日から2035年6月12日の円貨建無担保社債（「本円建社債」）を発行しました。本円建社債の発行により調達した資金は、コマーシャル・ペーパーの償還に充当されました。その後、2025年6月23日には、米ドル建無担保普通社債800百万米ドルを満期償還しました。また、2025年3月31日に借入れた500百万米ドルのバイラテラルローンについては、2025年7月3日まで月次で借換をしています。

2025年7月2日には、発行総額2,400百万米ドル、償還期日2035年7月7日および2055年7月7日の米ドル建保証付無担保普通社債（「本米ドル建社債」）を、当社の間接的な完全子会社である武田U.S.ファイナンス Inc.により発行しました。本米ドル建社債の発行により調達した資金は、2025年7月3日の500百万米ドルのバイラテラルローンの返済と2025年7月のコマーシャル・ペーパーの償還に主に充当されました。

当社グループは、2026年3月31日に、満期を迎えたバイラテラルローン750億円を返済するとともに、同日に、返済期日2034年3月31日の新たなバイラテラルローン600億円の借入を実行しました。

また、同日、円建3,500億円および米ドル建2,100百万米ドルのコミットメントファシリティー契約をそれぞれ締結しました。本コミットメントファシリティーはどちらも2026年3月31日から最低5年間有効です。

なお、本コミットメントファシリティーの契約締結にあたり、2026年9月に期間満了を迎える予定であった既存の円建7,000億円のコミットメントファシリティー契約は、同日付で解約しました。新たに設定した本コミットメントファシリティーの用途は一般事業資金です。

(注) 上記の社債及び借入金に関する説明に記載している金額は、元本金額で表示しております。

## 〔資本〕

当年度末における資本合計は、7兆7,748億円（+8,388億円）となりました。この増加は、主に円安の影響による為替換算調整勘定の変動により、その他の資本の構成要素が増加（+9,455億円）したことによるものです。この増加は、当期利益1,920億円の計上があったものの、配当金の支払いに伴う3,125億円の減少により、利益剰余金が減少（△1,311億円）したことにより一部相殺されております。

## キャッシュ・フローの概況

(単位：億円)

	前年度	当年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,572	10,414	△158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,671	△3,691	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,514	△4,968	2,546
現金及び現金同等物の増減額	△613	1,755	2,368
現金及び現金同等物の期首残高	4,578	3,851	△727
現金及び現金同等物に係る換算差額	△114	345	459
現金及び現金同等物の期末残高	3,851	5,951	2,099

## 〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、1兆414億円（△158億円）となりました。この減少は主に、その他の金融負債の減少などにより、資産及び負債の増減額が減少したことによるものです。この減少は、先物為替予約の決済（純額）による正味キャッシュ・フローが増加したこと、および非資金項目およびその他の調整項目を調整した後の当期利益の増加などにより相殺されております。

## 〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動によるキャッシュ・フローは、△3,691億円（△21億円）となりました。無形資産の取得による支出の増加や、投資の取得による支出の減少など、個々の投資活動における変動が相殺されたことにより、前年度と比べ微減となりました。

## 〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動によるキャッシュ・フローは、△4,968億円（+2,546億円）となりました。この増加は主に、社債および借入金の発行および償還・返済に伴う正味キャッシュ・フローの増加によるものです。

## 業績予想およびマネジメントガイダンス

翌年度（2026年度）の連結業績予想は以下のとおりです。

## 2026年度の業績予想

	2025年度 実績	2026年度 業績予想	増減額	増減率
売上収益	4兆5,057億円	4兆6,400億円	1,343億円	3.0%
営業利益	4,088億円	4,200億円	112億円	2.7%
税引前当期利益	2,602億円	2,520億円	△82億円	△3.1%
当期利益 (親会社の所有者帰属分)	1,918億円	1,660億円	△258億円	△13.4%
EPS	121円75銭	104円26銭	△17円49銭	△14.4%
Core売上収益 <sup>(注)</sup>	4兆5,057億円	4兆6,400億円	1,343億円	3.0%
Core営業利益 <sup>(注)</sup>	1兆1,725億円	1兆1,600億円	△125億円	△1.1%
Core EPS <sup>(注)</sup>	517円	472円	△45円	△8.7%

(注) 定義については、財務補足資料の「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

## [売上収益]

売上収益は、当年度（2025年度）から1,343億円増収（+3.0%）の4兆6,400億円を見込んでいます。新製品<sup>(注)1</sup>および既存主力製品<sup>(注)2</sup>の伸長と、前提為替レートを当年度の実勢レートに対して円安に設定していることによる為替の増収影響が、その他の製品の減収影響を上回る見込みです。

Core売上収益は、調整を必要とする重要性のある非中核の事象を見込んでいないことから財務ベースの売上収益と同額になります。

## [営業利益]

営業利益は、主に売上収益の増加およびVYVANSE/ELVANSEに係る無形資産の償却が当年度に終了したことによる無形資産償却費の減少により、当年度から112億円増益（+2.7%）の4,200億円を見込んでいます。競争力の強化と将来の成長加速に向けて実施するトランスフォーメーション・プログラムによるコスト節減効果は、新製品の上市に係る投資や、後期開発段階のパイプラインプログラムに対する投資を中心としたさらなる研究開発投資に充当する予定です。なお、本トランスフォーメーション・プログラムの取り組みに伴い事業構造再編費用が増加することにより、その他の営業費用が増加する見込みです。

Core営業利益は、当年度から125億円減益（△1.1%）の1兆1,600億円を見込んでいます。

## [当期利益（親会社の所有者帰属分）]

当期利益（親会社の所有者帰属分）は、当年度から258億円減益（△13.4%）の1,660億円を見込んでいます。税引前当期利益は、金融収益と金融費用を合わせた損失が営業利益の増益を相殺し、82億円減益（△3.1%）の、2,520億円となることを見込んでいます。実効税率は、当年度においては繰越欠損金に係る繰延税金資産の回収可能性の見直しにより26%となったことに対し、翌年度（2026年度）は約34%を見込んでいます。

財務ベースのEPSは、17円49銭減少（△14.4%）の104円26銭、Core EPSは、45円減少（△8.7%）の472円を見込んでいます。

- (注) 1 新製品は、過去5年以内に上市した特定の製品（EOHILIA、リブテンシティ、アジンマ、FRUZAQLA、QDENGGA）に加え、今後上市が見込まれているrusfertide、oveporexton、ザソチニブを指します。今後上市が見込まれている製品の売上高は規制当局からの承認取得を前提としています。
- 2 既存主力製品は、上市後6年以上経過し、年間売上高が1,000億円以上の、積極的に情報活動を行っている特定の製品（ENTYVIO、GATTEX/レベスティブ、タケキャブ/VOCINTI、タクザイロ、免疫グロブリン製剤、アルブミン製剤、アドセトリス）を指します。

## 2026年度の業績予想の主な前提条件

	2025年度 実績	2026年度 業績予想
為替レート	1米ドル=150円 1ユーロ=174円 1ロシアルーブル=1.9円 1中国元=21.1円 1ブラジルレアル=27.6円	1米ドル=156円 1ユーロ=182円 1ロシアルーブル=2.0円 1中国元=22.4円 1ブラジルレアル=29.5円
売上原価	△1兆5,716億円	△1兆6,250億円
販売費及び一般管理費	△1兆842億円	△1兆930億円
研究開発費	△6,759億円	△7,620億円
製品に係る無形資産償却費	△5,043億円	△4,135億円
製品に係る無形資産減損損失 (注) 2	△1,293億円	△1,000億円
その他の営業収益	247億円	25億円
その他の営業費用 (注) 3	△1,564億円	△2,290億円
金融収益及び費用 (純額)	△1,464億円	△1,700億円
調整後フリー・キャッシュ・フロー (注) 1、4	6,845億円	6,500～7,500億円
資本的支出 (キャッシュ・フロー・ベース) (注) 4	△4,109億円	△3,300～△3,800億円
有形固定資産の減価償却費及び無形資産償却費 (製品に係る無形資産償却費を除く)	△2,168億円	△2,350億円
調整後EBITDA (注) 1に対する現金税金の税率 (事業売却を除く)	約12%	10%台前半

- (注) 1 定義については、財務補足資料の「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。  
2 仕掛研究開発品を含む。  
3 2025年度実績には主に全社的な効率化プログラムに係る費用を含む事業構造再編費用が708億円、2026年度業績予想には主にトランスフォーメーション・プログラムに係る費用を含む事業構造再編費用が1,700億円含まれています。  
4 Innovent Biologics Inc.への1,847億円の契約一時金の支払いが2025年度実績に含まれています。

## 目標とする経営指標 (マネジメントガイダンス)

当社は、Core売上収益、Core営業利益、Core EPSのCER (Constant Exchange Rate : 恒常為替レート) ベースの増減率をマネジメントガイダンスとしております。

	2026年度マネジメントガイダンス CERベース増減率 (%) (注)
Core売上収益	一桁台前半%の減少
Core営業利益	5%から8%の減少
Core EPS	10%台半ばの減少

(注) 定義については、財務補足資料の「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

## 見通しに関する注意事項

本資料に記載の「業績予想」は、現時点で入手可能な情報と前提条件に基づく見込みであり、その実現を約束する趣旨ではございません。実際の業績は事業環境の変化や為替変動など様々な要因により変動し、異なる結果を招きうる不確実性を含んでいます。詳しくは、財務補足資料の「重要な注意事項 - 将来に関する見通し情報」およびそこに記載の関連資料をご参照ください。業績予想を修正すべき重大な要因が発生した場合には、速やかにご報告いたします。

## 資本分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

### ①資本分配に関する基本方針

当社は、革新的な医薬品を創出し続けるという「私たちが目指す未来」（ビジョン）のもと、健全な財務基盤を維持しながら（堅実な投資適格格付を維持し、調整後純有利子負債／調整後EBITDA 倍率<sup>(注)</sup> 2倍を目指す）、患者さんに持続的な価値を、株主には魅力的なリターンを提供できるよう資本を配分してまいります。

当社の資本分配に関する基本方針は次のとおりです。

- ・ 成長ドライバーへの投資
- ・ 株主還元

「成長ドライバーへの投資」では、新製品の上市やパイプライン拡充のための社内外の機会、血漿分画製剤事業に対して戦略的な投資を行ってまいります。また、「株主還元」においては、毎年の1株当たり年間配当金を増額または維持する累進配当の方針を採用し、自己株式の取得については適切な場合に取り組んでまいります。

(注) 定義については、財務補足資料の「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

### ②当期・次期の配当

当社は株主還元を重視し、配当を重要な還元策として位置付けております。

〔2025年度〕1株当たり年間配当金：200円

当期の期末配当金は、1株当たり100円を予定しております。

この結果、当期の年間配当金は中間配当金（1株当たり100円）と合わせ、200円となる予定です。

〔2026年度（予定）〕1株当たり年間配当金：204円

## 連結財務諸表

## (1) 連結損益計算書

	(単位：百万円)		(単位：百万米ドル) <sup>(注)</sup>
	前年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	当年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上収益	4,581,551	4,505,720	\$28,324
売上原価	△1,580,217	△1,571,588	△9,879
販売費及び一般管理費	△1,104,766	△1,084,215	△6,816
研究開発費	△730,227	△675,924	△4,249
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△643,233	△633,544	△3,983
その他の営業収益	26,212	24,747	156
その他の営業費用	△206,733	△156,435	△983
営業利益	342,586	408,761	2,570
金融収益	46,549	211,177	1,327
金融費用	△210,065	△357,572	△2,248
持分法による投資損益	△3,986	△2,177	△14
税引前当期利益	175,084	260,189	1,636
法人所得税費用	△66,941	△68,163	△428
当期利益	108,143	192,026	1,207
当期利益の帰属			
親会社の所有者持分	107,928	191,762	1,205
非支配持分	215	264	2
合計	108,143	192,026	1,207
1株当たり当期利益（円または米ドル）			
基本的1株当たり当期利益	68.36	121.75	0.77
希薄化後1株当たり当期利益	67.23	119.64	0.75

(注) 当連結損益計算書の米ドルへの換算は、読者に対して便宜的に表示するためのものであり、ニューヨーク連邦準備銀行によって認証されている2026年3月31日時点の換算レート「Noon Buying Rate：1米ドル159.08円」で換算しております。便宜的な米ドル換算に用いられている換算レートおよび方法は、連結財務諸表の作成で用いられた国際会計基準（IFRS）に準拠した換算レートおよび方法とは異なります。また、これらの米ドル換算は、円貨額が上記もしくはそれ以外の換算レートを用いて米ドルへ転換できるということを意味するものではありません。

## (2) 連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	(単位：百万米ドル) <sup>(注)</sup>	
	前年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	当年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期利益	108,143	192,026	\$1,207
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の変動	△12,311	△4,976	△31
確定給付制度の再測定	△7,046	1,914	12
	△19,357	△3,062	△19
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額	△153,345	903,895	5,682
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△956	28,950	182
ヘッジコスト	7,963	3,159	20
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△145	△541	△3
	△146,484	935,463	5,880
その他の包括利益合計	△165,841	932,401	5,861
当期包括利益合計	△57,698	1,124,427	7,068
当期包括利益の帰属			
親会社の所有者持分	△57,852	1,124,114	7,066
非支配持分	154	313	2
合計	△57,698	1,124,427	7,068

(注) 当連結包括利益計算書の米ドルへの換算は、読者に対して便宜的に表示するためのものであり、ニューヨーク連邦準備銀行によって認証されている2026年3月31日時点の換算レート「Noon Buying Rate：1米ドル159.08円」で換算しております。便宜的な米ドル換算に用いられている換算レートおよび方法は、連結財務諸表の作成で用いられた国際会計基準（IFRS）に準拠した換算レートおよび方法とは異なります。また、これらの米ドル換算は、円貨額が上記もしくはそれ以外の換算レートを用いて米ドルへ転換できるということを意味するものではありません。

(3) 連結財政状態計算書

	(単位：百万円)		(単位：百万米ドル) <sup>(注)</sup>
	前年度 (2025年3月31日)	当年度 (2026年3月31日)	当年度 (2026年3月31日)
<b>資産</b>			
<b>非流動資産</b>			
有形固定資産	1,968,209	2,120,639	\$13,331
のれん	5,324,430	5,809,010	36,516
無形資産	3,631,560	3,419,348	21,495
持分法で会計処理されている投資	10,802	8,796	55
その他の金融資産	351,124	439,941	2,766
その他の非流動資産	70,282	77,010	484
繰延税金資産	370,745	487,867	3,067
非流動資産合計	11,727,152	12,362,611	77,713
<b>流動資産</b>			
棚卸資産	1,217,349	1,396,620	8,779
売上債権及びその他の債権	709,465	844,312	5,307
その他の金融資産	20,476	41,888	263
未収法人所得税	15,789	32,036	201
その他の流動資産	159,603	162,638	1,022
現金及び現金同等物	385,113	595,054	3,741
売却目的で保有する資産	13,397	17,955	113
流動資産合計	2,521,192	3,090,503	19,427
資産合計	14,248,344	15,453,113	97,141

		(単位：百万円)	(単位：百万米ドル) <sup>(注)</sup>
	前年度 (2025年3月31日)	当年度 (2026年3月31日)	当年度 (2026年3月31日)
<b>負債及び資本</b>			
<b>負債</b>			
<b>非流動負債</b>			
社債及び借入金	3,966,326	4,369,681	\$27,468
その他の金融負債	550,900	571,248	3,591
退職給付に係る負債	135,429	143,683	903
引当金	35,177	37,550	236
その他の非流動負債	82,859	99,818	627
繰延税金負債	35,153	26,804	168
非流動負債合計	4,805,844	5,248,784	32,995
<b>流動負債</b>			
社債及び借入金	548,939	512,157	3,219
仕入債務及びその他の債務	475,541	491,345	3,089
その他の金融負債	219,120	141,220	888
未払法人所得税	133,497	97,880	615
引当金	533,140	595,957	3,746
その他の流動負債	596,283	590,152	3,710
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	818	5
流動負債合計	2,506,521	2,429,530	15,272
負債合計	7,312,365	7,678,314	48,267
<b>資本</b>			
資本金	1,694,685	1,695,277	10,657
資本剰余金	1,775,713	1,776,352	11,166
自己株式	△74,815	△49,128	△309
利益剰余金	1,187,586	1,056,532	6,642
その他の資本の構成要素	2,351,915	3,297,407	20,728
売却目的で保有する資産に関連するその他の包括利益	—	△2,848	△18
親会社の所有者に帰属する持分	6,935,084	7,773,592	48,866
非支配持分	895	1,208	8
資本合計	6,935,979	7,774,800	48,874
<b>負債及び資本合計</b>	<b>14,248,344</b>	<b>15,453,113</b>	<b>97,141</b>

(注) 当連結財政状態計算書の米ドルへの換算は、読者に対して便宜的に表示するためのものであり、ニューヨーク連邦準備銀行によって認証されている2026年3月31日時点の換算レート「Noon Buying Rate：1米ドル159.08円」で換算しております。便宜的な米ドル換算に用いられている換算レートおよび方法は、連結財務諸表の作成で用いられた国際会計基準（IFRS）に準拠した換算レートおよび方法とは異なります。また、これらの米ドル換算は、円貨額が上記もしくはそれ以外の換算レートを用いて米ドルへ転換できるということを意味するものではありません。

## (4) 連結持分変動計算書

前年度（自2024年4月1日 至2025年3月31日）

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					在外営業 活動体の 換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で 測定される 金融資産の 公正価値の変動
2024年4月1日残高	1,676,596	1,747,414	△51,259	1,391,203	2,573,407	15,729
当期利益				107,928		
その他の包括利益					△153,429	△12,311
当期包括利益	—	—	—	107,928	△153,429	△12,311
新株の発行	18,089	18,089				
自己株式の取得		△20	△51,905			
自己株式の処分		0	0			
配当				△303,160		
その他の資本の構成要素 からの振替				△8,385		1,339
株式報酬取引による増加		74,707				
株式報酬取引による減少 (権利行使)		△64,476	28,348			
所有者との取引額合計	18,089	28,300	△23,557	△311,545	—	1,339
2025年3月31日残高	1,694,685	1,775,713	△74,815	1,187,586	2,419,978	4,757

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配 持分	資本合計
	その他の資本の構成要素				合計	売却目的で 保有する資 産に関連す るその他の 包括利益	合計		
	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ	ヘッジ コスト	確定給付 制度の再 測定	合計					
2024年4月1日残高	△63,896	△15,930	—	2,509,310	—	7,273,264	741	7,274,005	
当期利益				—		107,928	215	108,143	
その他の包括利益	△956	7,963	△7,046	△165,780		△165,780	△61	△165,841	
当期包括利益	△956	7,963	△7,046	△165,780	—	△57,852	154	△57,698	
新株の発行				—		36,178		36,178	
自己株式の取得				—		△51,925		△51,925	
自己株式の処分				—		0		0	
配当				—		△303,160		△303,160	
その他の資本の構成要素 からの振替			7,046	8,385		—		—	
株式報酬取引による増加				—		74,707		74,707	
株式報酬取引による減少 (権利行使)				—		△36,129		△36,129	
所有者との取引額合計	—	—	7,046	8,385	—	△280,328	—	△280,328	
2025年3月31日残高	△64,852	△7,967	—	2,351,915	—	6,935,084	895	6,935,979	

当年度（自2025年4月1日 至2026年3月31日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					在外営業 活動体の 換算差額	その他の包括 利益を通じて 公正価値で 測定される 金融資産の 公正価値の変動
2025年4月1日残高	1,694,685	1,775,713	△74,815	1,187,586	2,419,978	4,757
当期利益				191,762		
その他の包括利益					903,306	△4,976
当期包括利益	—	—	—	191,762	903,306	△4,976
新株の発行	593	593				
自己株式の取得		△20	△51,618			
配当				△312,524		
その他の資本の構成要素 からの振替				△10,292		12,205
株式報酬取引による増加		77,371				
株式報酬取引による減少 （権利行使）		△77,305	77,305			
売却目的で保有する資産 に関連するその他の包括 利益への振替					2,848	
所有者との取引額合計	593	638	25,687	△322,815	2,848	12,205
2026年3月31日残高	1,695,277	1,776,352	△49,128	1,056,532	3,326,132	11,986

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計	
	その他の資本の構成要素				合計	売却目的で 保有する資 産に関連す るその他の 包括利益			合計
	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジ	ヘッジ コスト	確定給付 制度の再 測定	合計					
2025年4月1日残高	△64,852	△7,967	—	2,351,915	—	6,935,084	895	6,935,979	
当期利益				—		191,762	264	192,026	
その他の包括利益	28,950	3,159	1,914	932,352		932,352	48	932,401	
当期包括利益	28,950	3,159	1,914	932,352	—	1,124,114	313	1,124,427	
新株の発行				—		1,186		1,186	
自己株式の取得				—		△51,638		△51,638	
配当				—		△312,524		△312,524	
その他の資本の構成要素 からの振替			△1,914	10,292		—		—	
株式報酬取引による増加				—		77,371		77,371	
株式報酬取引による減少 （権利行使）				—		—		—	
売却目的で保有する資産 に関連するその他の包括 利益への振替				2,848	△2,848	—		—	
所有者との取引額合計	—	—	△1,914	13,140	△2,848	△285,606	—	△285,606	
2026年3月31日残高	△35,903	△4,808	—	3,297,407	△2,848	7,773,592	1,208	7,774,800	

## (5) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)		(単位：百万米ドル) <sup>(注)</sup>
	前年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	当年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
当期利益	108,143	192,026	\$1,207
減価償却費及び償却費	761,396	721,127	4,533
減損損失	106,529	145,716	916
持分決済型株式報酬	72,867	72,775	457
有形固定資産の処分及び売却に係る損失	4,495	3,068	19
事業譲渡及び子会社株式売却益	△10,198	△18,265	△115
条件付対価契約に関する金融資産及び金融負債の公正 価値変動額（純額）	△602	1,006	6
金融収益及び費用（純額）	163,516	146,395	920
持分法による投資損益	3,986	2,177	14
法人所得税費用	66,941	68,163	428
<b>資産及び負債の増減額</b>			
売上債権及びその他の債権の増加額	△58,959	△70,166	△441
棚卸資産の増加額	△34,973	△61,293	△385
仕入債務及びその他の債務の減少額	△7,118	△3,150	△20
引当金の増加額	45,166	13,576	85
その他の金融負債の減少額	△3,488	△81,606	△513
先物為替予約の決済（純額）	5,945	129,727	815
その他（純額）	△16,052	△47,282	△297
<b>営業活動による現金生成額</b>	<b>1,207,595</b>	<b>1,213,993</b>	<b>7,631</b>
法人所得税等の支払額	△170,589	△180,405	△1,134
法人所得税等の還付及び還付加算金の受取額	20,176	7,843	49
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,057,182</b>	<b>1,041,431</b>	<b>6,547</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
利息の受取額	17,660	17,359	109
配当金の受取額	635	1,298	8
有形固定資産の取得による支出	△200,795	△176,003	△1,106
有形固定資産の売却による収入	78	6,454	41
無形資産の取得による支出	△147,046	△234,930	△1,477
ライセンスを獲得するためのオプションの取得による 支出	△31,784	△3,726	△23
投資の取得による支出	△97,536	△15,895	△100
投資の売却、償還による収入	29,442	7,031	44
関連会社株式の取得による支出	△1,004	△623	△4
関連会社株式の売却による収入	57,691	880	6
事業売却による収入 (処分した現金及び現金同等物控除後)	20,556	33,325	209
純投資ヘッジとして指定された先物為替予約の決済 (純額)	△13,847	△1,536	△10
その他（純額）	△1,111	△2,775	△17
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△367,060</b>	<b>△369,141</b>	<b>△2,320</b>

	(単位：百万円)		(単位：百万米ドル) <sup>(注)</sup>
	前年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)	当年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	27,490	△341,780	△2,148
社債の発行及び長期借入れによる収入	1,024,460	586,060	3,684
社債の償還及び長期借入金の返済による支出	△1,321,090	△200,432	△1,260
社債及び借入金に係る金利通貨スワップの決済による 収入	46,880	—	—
自己株式の取得による支出	△51,860	△51,603	△324
利息の支払額	△112,984	△121,380	△763
配当金の支払額	△302,498	△311,901	△1,961
リース負債の支払額	△45,174	△42,772	△269
その他(純額)	△16,647	△13,011	△82
財務活動によるキャッシュ・フロー	△751,425	△496,820	△3,123
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△61,303	175,469	1,103
現金及び現金同等物の期首残高	457,800	385,113	2,421
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,385	34,472	217
現金及び現金同等物の期末残高	385,113	595,054	3,741

(注) 当連結キャッシュ・フロー計算書の米ドルへの換算は、読者に対して便宜的に表示するためのものであり、ニューヨーク連邦準備銀行によって認証されている2026年3月31日時点の換算レート「Noon Buying Rate：1米ドル159.08円」で換算しております。便宜的な米ドル換算に用いられている換算レートおよび方法は、連結財務諸表の作成で用いられた国際会計基準(IFRS)に準拠した換算レートおよび方法とは異なります。また、これらの米ドル換算は、円貨額が上記もしくはそれ以外の換算レートを用いて米ドルへ転換できるということを意味するものではありません。

(6) その他情報

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 補足情報

1. <u>パイプラインの状況</u> .....	33
I. <u>開発の状況</u> .....	33
II. <u>最近のステージアップ品目</u> .....	40
III. <u>パイプラインから削除されたプロジェクト</u> .....	42
IV. <u>研究開発における提携</u> .....	43
2. <u>補足売上収益情報</u> .....	48
• <u>地域別売上収益</u> .....	48
◦ <u>累計</u> .....	48
◦ <u>四半期</u> .....	49
• <u>主要製品別売上高（財務報告ベース 対前年同期比）</u> .....	50
◦ <u>累計</u> .....	50
◦ <u>四半期</u> .....	52
■ <u>第4四半期</u> .....	52
• <u>主要製品別売上高（財務報告AERベースおよびCore CERベース増減率）</u> .....	54
• <u>主要品目見込</u> .....	56

# 1. パイプラインの状況

## I. 開発の状況

- 本表では、別途明記されている場合を除き、2026年5月13日（決算発表日）現在、(i) 当社が自社あるいはパートナーと共同で臨床開発している、あるいは (ii) 臨床開発かつ/または商業化を将来行う可能性がある契約上の権利を保有するパイプラインを掲載していますが、全ての共同研究開発活動を記載しているものではありません。掲載している治療薬の候補物質は様々な開発段階にあり、今後、開発中止や新たな候補物質の臨床ステージ入りによって内容が変わる可能性があります。本表にある治療薬の候補物質が製品として発売になるかどうかは、前臨床試験や臨床試験の結果・市場動向の変化・規制当局からの販売承認取得の有無など、様々な要因に影響されます。
- 本表では当社が承認取得を目指しているパイプラインの主な効能および2025年度中に承認されたパイプラインを掲載しています。  
掲載している効能以外にも、将来の効能・剤型追加の可能性を検討するために臨床試験を行っています。
- 本表では米国・欧州・日本・中国における開発状況を掲載していますが、新興国を含め他の地域においても開発を行っています。「国/地域」の欄には、米国・欧州・日本・中国のうちのいずれかにおいて、申請用データ取得試験を実施している、または販売許可申請を実施した国、地域を示しています。「グローバル」の表記は少なくとも3つの地域または主要国における開発をまとめて記載しています。
- 当社が販売権を持っている地域において、いずれかの適応症で販売承認を取得している場合、製品名も記載しています（米国・欧州・日本・中国のみ）。
- ステージアップの基準は、FSI（第一被験者の登録日）としています（別途明記される場合を除きます）。
- 下記の表にあるパイプラインの「モダリティ」は、「低分子」、「ペプチド・オリゴヌクレオチド」、「生物学的製剤他」のいずれかに分類しています。

## 消化器系・炎症性疾患領域

開発コード <一般名> 製品名 (国/地域)	薬効 (投与経路)	モダリティ	適応症/剤型追加	国/地域	開発段階
TAK-755 (注) 1 <rADAMTS13> アジンマ (米国、欧州、日本)	遺伝子組換え ADAMTS13 療法 (注射剤)	生物学的製剤他	先天性血栓性血小板減少性紫斑病	中国	申請 (25/3)
MLN0002 <vedolizumab> ENTYVIO (グローバル) エンタイビオ (日本)	ヒト化抗 α4β7 インテグリン モノクローナル抗体 (注射剤)	生物学的製剤他	潰瘍性大腸炎・クローン病 (小児) (静脈注射製剤)	グローバル	P-III
			潰瘍性大腸炎・クローン病 (小児) (皮下注射製剤)	グローバル	P-III
TAK-999 (注) 2 <fazirsiran>	GalNAc ベース RNA 干渉 (RNAi) (注射剤)	ペプチド・オリ ゴヌクレオチド	α-1 アンチトリプシン欠乏症に伴う肝疾患	米国 欧州	P-III P-III
TAK-279 <zasocitinib>	チロシンキナーゼ2 (TYK2) 阻害薬 (経口剤)	低分子	乾癬	グローバル	P-III
			乾癬 (小児)	グローバル	P-III
			乾癬性関節炎	グローバル	P-III
			クローン病	—	P-II b
			潰瘍性大腸炎	—	P-II b
			白斑	—	P-II b
			化膿性汗腺炎	—	P-II a
TAK-079 <mezagitamab>	抗 CD38 モノクローナル抗体 (注射剤)	生物学的製剤他	免疫性血小板減少症	グローバル	P-III
			IgA 腎症	グローバル	P-III
TAK-227/ZED1227 (注) 3	トランスグルタミナーゼ2 阻害薬 (経口剤)	低分子	セリアック病	—	P-II b

TAK-101 (注) 4	Tolerizing Immune Modifying nanoParticle (TIMP) (注射剤)	生物学的製剤他	セリアック病	—	P – II
TAK-781	CYP7A1 標的 GalNAc 低分子干渉 RNA (siRNA) (注射剤)	ペプチド・オリゴヌクレオチド	原発性硬化性胆管炎	—	P – I

(注) 1 KMバイオロジクス社との提携

2 Arrowhead Pharmaceuticals社との提携

3 Zedira社およびDr. Falk Pharma社との提携、開発はDr. Falk Pharmaが主導

4 COUR Pharmaceuticals社との提携

## ニューロサイエンス（神経精神疾患）領域

開発コード <一般名> 製品名（国/地域）	薬効（投与経路）	モダリティ	適応症/剤型追加	国/地域	開発段階
TAK-861 <oveporexton>	オレキシン 2 受容体 アゴニスト（経口剤）	低分子	ナルコレプシータイプ 1	日本 米国 中国 欧州	申請（26/3） 申請（26/2） 申請（26/1） P - III
TAK-755 (注) 1 <rADAMTS13>	遺伝子組換え ADAMTS13 療法 （注射剤）	生物学的製剤他	急性虚血性脳卒中	—	P - II (注) 2
TAK-360	オレキシン 2 受容体 アゴニスト（経口剤）	低分子	特発性過眠症	—	P - II
			ナルコレプシータイプ 2	—	P - II
TAK-495	オレキシン 2 受容体 アゴニスト（経口剤）	低分子	—	—	P - I

(注) 1 KM/バイオロジクス社との提携

2 TAK-755 の急性虚血性脳卒中を対象とした臨床第 2 相試験は被験者登録中

## オンコロジー領域

開発コード 〈一般名〉 製品名 (国/地域)	薬効 (投与経路)	モダリティ	適応症/剤型追加	国/地域	開発段階
SGN-35 (注) 1 〈brentuximab vedotin〉 アドセトリス (欧州、日本、中国)	CD30 モノクローナル抗体薬物 複合体 (注射剤)	生物学的製剤他	ホジキンリンパ腫における BrECADD レジメン (brentuximab vedotin、etoposide、 cyclophosphamide、doxorubicin、 dacarbazine、dexamethasone) (フロントライン) (注) 2	欧州	承認 (25/6)
TAK-121 (注) 3 〈rusfertide〉	ヘプシジンミメティックス ペプチド (注射剤)	ペプチド・オリ ゴヌクレオチド	真性多血症	米国	申請 (26/2)
TAK-853 (注) 4 〈mirvetuximab soravtansine-gynx〉	葉酸受容体α (FRα) 標的 抗体薬物複合体 (注射剤)	生物学的製剤他	プラチナ製剤抵抗性卵巣がん	日本	申請 (26/1)
			プラチナ製剤感受性卵巣がん	日本	P - III
TAK-226 (注) 5 〈elritrecept〉	アクチビン A/B リガンド トラップ (注射剤)	生物学的製剤他	骨髄異形成症候群 (MDS) に伴う貧血 (2 次治療)	グローバル	P - III
			骨髄繊維症 (MF) に伴う貧血	—	P - II
TAK-928/IBI363 (注) 6	PD-1/α-biased IL-2 二重特異性抗体融合タンパク質 (注射剤)	生物学的製剤他	扁平上皮非小細胞肺がん (2 次治療)	グローバル	P - III
			固形がん	—	P - II
TAK-921/IBI343 (注) 6	Claudin 18.2 標的 抗体薬物複合体 (注射剤)	生物学的製剤他	胃がん (3 次治療)	日本 中国	P - III
			固形がん	—	P - I
TAK-168/KQB168 (注) 7	免疫調節薬 (経口剤)	低分子	固形がん	—	P - I
TAK-188	CCR8 標的抗体薬物複合体 (注射剤)	生物学的製剤他	固形がん	—	P - I

(注) 1 Pfizer社との提携

2 German Hodgkin Study Groupが実施したHD21試験のデータに基づく申請

3 Protagonist Therapeutics社との提携

4 AbbVie社との提携、プラチナ製剤感受性卵巣がんを対象としたグローバル P - III 試験は同社が主導

5 Keros Therapeutics社との提携

6 Innovent Biologics社との提携

7 Kumquat Biosciences社との提携、P - I 試験は同社が主導

## その他の希少疾患品目

開発コード <一般名> 製品名 (国/地域)	薬効 (投与経路)	モダリティ	適応症/剤型追加	国/地域	開発段階
TAK-577 ボンベンディ (米国、日本、中国) VEYVONDI (欧州)	フォン・ヴィレブランド因子 [遺伝子組換え] (注射剤)	生物学的製剤他	フォン・ヴィレブランド病の出血時および 周術期の補充療法 (小児)	日本 欧州 米国 欧州	承認 (26/2) 承認 (出血時、 25/12) 承認 (25/9) P-III (周術期)
			フォン・ヴィレブランド病の予防 (小児)	グローバル	P-III
TAK-660 アディノベイト (米国、日本) ADYNOVI (欧州)	抗血友病因子 [遺伝子組換え] PEG 修飾 (注射剤)	生物学的製剤他	血友病 A	中国	申請 (25/7)
			血友病 A (小児)	欧州	P-III
TAK-620 (注) 1 <maribavir> リブテンシティ (グローバル)	ベンズイミダゾールリポシド 系阻害薬 (経口剤)	低分子	移植後のサイトメガロウイルス感染 (十歳代を 含む小児)	グローバル	P-III

(注) 1 GSK社との提携

## 血漿分画製剤

開発コード <一般名> 製品名 (国/地域)	薬効 (投与経路)	モダリティ	適応症/剤型追加	国/地域	開発段階
TAK-961 <IVIG> 献血グロベニン-I (日本)	免疫グロブリン 10% [ヒト由来] (注射剤)	生物学的製剤他	複数の適応症	日本	承認 (26/2)
			自己免疫性脳炎 (AE)	日本	申請 (25/10)
TAK-339 <IVIG> グロベニン-I (日本) GAMMAGARD LIQUID (米国)	免疫グロブリン 10% [ヒト由来] (注射剤)	生物学的製剤他	複数の適応症	日本	承認 (25/7)
			自己免疫性脳炎 (AE)	日本	申請 (25/10)
			続発性免疫不全症候群	米国	P-III
TAK-771 (注) 1 <SCIG Infusion 10% (Human) w/ Recombinant Human Hyaluronidase> ハイキューピア (米国、欧州、日本)	遺伝子組換え型 ヒトヒアルロニダーゼ含有 免疫グロブリン G 補充療法 (注射剤)	生物学的製剤他	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎・ 多巣性運動ニューロパチー	日本	承認 (25/6)
TAK-880 <10% IVIG (Low IgA) > GAMMAGARD LIQUID ERC (米国) DEQSIGA (欧州)	免疫グロブリン 10% [ヒト由来] (注射剤) (IgA 低含有)	生物学的製剤他	原発性免疫不全症候群	米国 欧州	承認 (25/6) 承認 (25/5)
TAK-330 PROTHROMPLEX TOTAL (欧州)	4 因子含有プロトロンビン 複合体濃縮製剤[ヒト由来] (注射剤)	生物学的製剤他	血液凝固障害、手術時の直接経口抗凝固薬 (DOAC) 使用に伴う出血傾向の抑制	米国	P-III
TAK-881 <Facilitated 20% SCIG>	遺伝子組換え型 ヒトヒアルロニダーゼ 含有免疫グロブリン G 20% 補充療法 (注射剤)	生物学的製剤他	原発性免疫不全症候群	米国 欧州 日本	P-III P-III P-III
			慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	米国 欧州 日本	P-III P-III P-III
TAK-411	高シアル化免疫グロブリン [ヒト由来] (注射剤)	生物学的製剤他	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	—	P-II

(注) 1 Halozyme社との提携

**オプション契約：当社が臨床開発かつ/または商業化を将来行う可能性がある契約上の権利を保有する  
その他のパイプラインの一部**

開発コード 製品名 (国/地域)	薬効 (投与経路)	モダリティ	適応症/剤型追加	国/地域	開発段階
HQP1351 (注) 1 <olverembatinib>	BCR-ABL/チロシン キナーゼ阻害薬 (TKI) (経口剤)	低分子	慢性骨髄性白血病	米国 欧州 日本	P - III
ACI-24.060 (注) 2	アミロイド β 能動免疫	生物学的製剤他	アルツハイマー病	—	P - II
IBI3001 (注) 3	EGFR/B7H3 標的 抗体薬物複合体	生物学的製剤他	固形がん	—	P - I

(注) 1 Olerembatinib/HQP1351は参考情報としてのみ掲載。特定の独占的ライセンスを取得するためのオプション権を当社が行使  
(規制当局による承認を含む慣習的な条件を満たす必要がある) するまでの間、Ascentage Pharma社は本候補物質を所有し単独で臨床開発を実施

2 ACI-24.060は参考情報としてのみ掲載。特定の独占的ライセンスを取得するためのオプション権を当社が行使  
(規制当局による承認を含む慣習的な条件を満たす必要がある) するまでの間、AC Immune社は本候補物質を所有し単独で臨床開発を実施

3 IBI3001は参考情報としてのみ掲載。特定の独占的ライセンスを取得するためのオプション権を当社が行使  
(規制当局による承認を含む慣習的な条件を満たす必要がある) するまでの間、Innovent Biologics社は本候補物質を所有し単独で臨床開発を実施

## II. 最近のステージアップ品目 ※2025年4月1日以降の進捗情報

開発コード <一般名>	適応症/剤型追加	国/地域	進捗情報
<b>2025年度第4四半期の進捗（2025年度第3四半期決算発表日以降）</b>			
TAK-961 <10% IVIG>	複数の適応症	日本	承認（26/2）
TAK-577	フォン・ヴィレブランド病の出血時および周術期の補充療法（小児）	日本	承認（26/2）
TAK-861 <oveporexton>	ナルコレプシータイプ 1	日本	申請（26/3）
TAK-121 <rusfertide>	真性多血症	米国	申請（26/2）
TAK-861 <oveporexton>	ナルコレプシータイプ 1	米国	申請（26/2）
TAK-853 <mirvetuximab soravtansine-gynx>	プラチナ製剤抵抗性卵巣がん	日本	申請（26/1）
TAK-339 <10% IVIG>	続発性免疫不全症候群	米国	P - III
TAK-755 <rADMTS13>	急性虚血性脳卒中	—	P - II（注） <sup>1</sup>
TAK-279 <zasocitinib>	化膿性汗腺炎	—	P - II a
TAK-495	—	—	P - I
<b>2025年度第3四半期の進捗（2025年度第2四半期決算発表日以降）</b>			
TAK-577	フォン・ヴィレブランド病の出血時の補充療法（小児）	欧州	承認（25/12）
TAK-861 <oveporexton>	ナルコレプシータイプ 1	中国	申請（26/1）
TAK-961 <10% IVIG>	自己免疫性脳炎（AE）	日本	申請（25/10）
TAK-339 <10% IVIG>	自己免疫性脳炎（AE）	日本	申請（25/10）
TAK-279 <zasocitinib>	乾癬（小児）	グローバル	P - III
TAK-921/IBI343	胃がん（3次治療）	日本 中国	P - III
TAK-928/IBI363	扁平上皮非小細胞肺癌（2次治療）	グローバル	P - III
TAK-279 <zasocitinib>	白斑	—	P - II b
TAK-928/IBI363	固形がん	—	P - II
TAK-921/IBI343	固形がん	—	P - I

TAK-188	固形がん	—	P – I
TAK-781	原発性硬化性胆管炎	—	P – I
<b>2025 年度第 2 四半期の進捗（2025 年度第 1 四半期決算発表日以降）</b>			
TAK-577	フォン・ヴィレブランド病の出血時および周術期の補充療法（小児）	米国	承認（25/9）
TAK-339 <10% IVIG>	複数の適応症	日本	承認（25/7）
TAK-660	血友病 A	中国	申請（25/7）
TAK-079 <mezagitamab>	IgA 腎症	グローバル	P – III
<b>2025 年度第 1 四半期の進捗</b>			
TAK-771 <SCIG Infusion 10% (Human) w/ Recombinant Human Hyaluronidase>	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎・多巣性運動ニューロパチー	日本	承認（25/6）
TAK-880 <10% IVIG (Low IgA)>	原発性免疫不全症候群	米国	承認（25/6）
SGN-35 <brentuximab vedotin>	ホジキンリンパ腫における BrECADD レジメン（brentuximab vedotin、etoposide、cyclophosphamide、doxorubicin、dacarbazine、dexamethasone）（フロントライン）	欧州	承認（25/6）
TAK-880 <10% IVIG (Low IgA)>	原発性免疫不全症候群	欧州	承認（25/5）
TAK-577	フォン・ヴィレブランド病の出血時および周術期の補充療法（小児）	日本	申請（25/6）
TAK-226 <elritcept>	骨髄異形成症候群（MDS）に伴う貧血（2 次治療）	米国 欧州	P – III
TAK-360	ナルコレプシータイプ 2	—	P – II
TAK-411	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	—	P – II
TAK-168/KQB168	固形がん	—	P – I

(注) 1 TAK-755 の急性虚血性脳卒中を対象とした臨床第 2 相試験は被験者登録中

### Ⅲ. パイプラインから削除されたプロジェクト ※2025年4月1日以降の情報

開発コード	適応症/剤型追加 (国/地域,開発段階)	中止および終了理由
<b>2025年度第4四半期における削除 (2025年度第3四半期決算発表日以降)</b>		
TAK-961 <5% IVIG>	自己免疫性脳炎 (AE) (P-III)	ポートフォリオおよび申請に関する戦略上の理由により中止。自己免疫性脳炎 (AE) を対象に 5% 製剤で取得したデータを活用し、申請は 10% 製剤のみで実施。
TAK-003	デング熱ウイルスによる感染症の予防 (追加接種としての延長投与) (P-III)	結果は QDenga の 7 年間にわたる長期安全性プロファイルおよびワクチンの 2 回接種のスケジュールを改めて支持するものであった。
TAK-755 <rADAMTS13>	免疫性血栓性血小板減少性紫斑病 (P-II b)	戦略上の理由により TAK-755 の免疫性血栓性血小板減少性紫斑病 (iTTP) における開発を中止。
TAK-594 / DNL593	前頭側頭型認知症 (P-II)	戦略的判断に基づき TAK-594 の Denali 社との共同開発を中止。
TAK-004	悪心、嘔吐 (P-I)	戦略的判断に基づき TAK-004 の開発を中止。
<b>2025年度第2四半期における削除 (2025年度第1四半期決算発表日以降)</b>		
TAK-341/MEDI1341	多系統萎縮症 (MSA) (P-II)	TAK-341 の臨床第 2 相試験は主要および副次評価項目を満たさず、さらなる開発を支持する結果ではなかった。
TAK-925 <danavorexton>	ナルコレプシー (P-I)	戦略的判断に基づき danavorexton (TAK-925) のナルコレプシーにおける開発を中止。
<b>2025年度第1四半期における削除</b>		
TAK-012	再発・難治性の急性骨髄性白血病 (P-I)	戦略上の理由により TAK-012 の開発を中止。

#### IV. 研究開発における提携

- 本表では、研究開発における当社の提携および外部化提携を記載しており、全ての共同研究開発活動を記載しているものではありません。「内容/目的」欄の記述は、別途記載されていない限り契約締結時点のものを示しています。
- 本表では、2025年4月1日以降に発生した提携を「‡」、外部化提携案件を「◆」で示しています。

#### 消化器系・炎症性疾患領域

提携先	国	内容/目的
Arrowhead Pharmaceuticals	米国	α-1 アンチトリプシン欠乏症による肝疾患 (AATLD) を対象とし、臨床段階にある RNA 干渉 (RNAi) 治療薬 fazirsiran (TAK-999、ARO-AAT) の開発に向けた提携およびライセンス契約。ARO-AAT は、AATLD の進行を引き起こす変異型 α-1 アンチトリプシン蛋白の産生を低減する目的で設計されたファースト・イン・クラスの治療薬となる可能性がある。
COUR Pharmaceuticals	米国	COUR 社からグリアジンタンパク質含有の Immune Modifying Nanoparticle である TIMP-GLIA (TAK-101) の全世界での独占的な開発および製品化の権利を獲得。
Engitix	英国	Engitix 社独自の細胞外マトリックス探索プラットフォームの活用による、肝線維症およびクローン病や潰瘍性大腸炎などの線維性の炎症性腸疾患に対する新規治療薬の特定と開発に関する共同研究およびライセンス契約。
Halozyme‡	米国	Halozyme 社の独自の ENHANZE® ドラッグデリバリーテクノロジーを独占的に vedolizumab に使用する権利に関する提携およびライセンス契約。
Mirum Pharmaceuticals	米国	アラジール症候群 (ALGS)、進行性家族性肝内胆汁うっ滞症 (PFIC) および胆道閉鎖症 (BA) を対象としたリブマリー (maralixibat、TAK-625) の日本における開発および販売に関する独占的ライセンス契約。
UCSD/Fortis Advisors	米国	UCSD (カリフォルニア大学サンディエゴ校) からのライセンス技術を活用し、好酸球性食道炎治療薬として EOHILIA (budesonide 経口製剤、TAK-721) を開発。
Zedira/Dr. Falk Pharma	ドイツ	セリアック病におけるグルテンに対する免疫反応を予防するよう設計された、ファースト・イン・クラスの治療薬となる可能性のある組織トランスグルタミナーゼ 2 (TG2) 阻害薬 TAK-227/ZED1227 の開発および販売に関する提携・ライセンス契約。当社は米国およびその他の地域 (欧州、カナダ、オーストラリアおよび中国を除く) における独占的権利を保有。

## ニューロサイエンス（神経精神疾患）領域

提携先	国	内容/目的
AC Immune	スイス	アルツハイマー病治療薬として開発中の ACI-24.060 を含む、AC Immune 社の毒性アミロイド β (Aβ) を標的とする能動免疫療法に関する全世界の独占的オプションとライセンス契約。
AcuraStem	米国	AcuraStem 社の、筋萎縮性側索硬化症 (ALS) に対する PIKFYVE を標的とした治療薬について、全世界の開発および商業化に関する独占的ライセンス契約。
Anima Biotech	米国	遺伝的に特定された神経疾患に対する mRNA 翻訳調節薬に関する戦略的な共同研究・開発。
BioMarin	米国	髄腔内投与により外因性アリルスルファターゼ A 酵素の中枢神経系への直接補充を可能にする技術の導入。急速に進行し、最終的には生命を脅かす希少な神経変性疾患である異染性白質ジストロフィー (MLD) 患者において長期的な治療を行う (TAK-611)。
Denali Therapeutics	米国	Denali 社が有する脳へのバイオ治療薬移行性を高める Transport Vehicle (TV) プラットフォーム技術を用いた、最大 3 つの神経変性疾患治療薬候補の開発および販売に関する戦略的オプションおよび提携契約。当社は 2021 年度第 3 四半期に、DNL593/TAK-594 および DNL919/TAK-920 に関するオプション権を行使。2023 年度第 2 四半期に DNL919/TAK-920 の開発を中止。2025 年 2 月に ATV : TREM2 に関する提携プログラムを、当社および Denali 社合意のもと終了。2026 年 4 月、当社は Denali 社に対し、TAK-594/DNL593 の共同開発および本提携全般について終了する旨を通知。
Lundbeck	デンマーク	トリンテリックス (vortioxetine) の共同開発・販売契約。
ルクサナバイオテック	日本	ルクサナ社の画期的な人工修飾核酸技術の、神経疾患領域における複数の未公開の標的遺伝子に対する全世界での独占的ライセンス契約。
Neurocrine Biosciences	米国	TAK-041/NBI-1065846、TAK-653/NBI-1065845 および TAK-831/NBI-1065844 (luvadaxistat) を含む 7 つの当社の早期から中期開発段階の精神疾患領域バイプラインに関する開発および製品化に関する提携。当社は開発マイルストーン、販売マイルストーン、および正味売上高に応じたロイヤルティを取得する権利を有する。特定の開発段階において、当社はすべての臨床試験プログラムについて、1 つひとつのバイプラインごとに、50 : 50 の利益配分を受け、または受けない選択をすることができる。当社は Neurocrine 社より TAK-041 および TAK-831 の開発中止に関する通知を受領し、2025 年 3 月をもって開発が終了。2025 年 1 月、当社と Neurocrine 社は TAK-653 に関する契約内容を変更。当社は日本における独占的権利を再獲得し、マイルストーンおよびその他の地域の売上に基づくロイヤルティを受け取る権利を有する。当社は日本における開発に係る費用を負担。Neurocrine 社は日本以外の全世界での開発に係る費用を負担し、日本における売上に基づくロイヤルティを受け取る権利を有する。
ペプチドリーム	日本	神経筋疾患および神経変性疾患に対するペプチド-薬物複合体 (PDCs) の創製に関する共同研究および独占的ライセンス契約。

## オンコロジー領域

提携先	国	内容/目的
AbbVie	米国	抗葉酸受容体α (FRα) 陽性の卵巣がんを対象とした、mirvetuximab soravtansine-gynx の日本における開発および商業化に関する独占的ライセンス契約。
Adimab	米国	オンコロジー領域において、3つのモノクローナル抗体及び3つのCD3 二重特異性抗体の創薬・開発・販売に関する契約。
Ascentage Pharma	中国	慢性骨髄性白血病 (CML) およびその他の血液がんを対象に開発が進められている BCR-ABL チロシンキナーゼ阻害薬 (TKI) である olverembatinib/HQP1351 の独占的ライセンスを獲得するためのオプション契約。当社がオプション権を行使した場合、中国本土、香港、マカオ、台湾およびロシア以外の全地域で、olverembatinib の開発および商業化に関する全世界的な権利を獲得。
Crescendo Biologics	英国	がん領域における Humabody® を用いた治療薬の創製、開発および販売に関する提携およびライセンス契約。
Exelixis	米国	カボメティクス (cabozantinib) に関して、日本における進行性腎細胞癌及び肝細胞癌をはじめとする適応拡大を含めた独占的な開発・販売権を獲得。
F-star	英国	F-star 社の独自の Fcab™ および mAb2™ プラットフォームを活用する、非開示のがん免疫標的を対象とした二重特異性抗体に関する研究、開発および販売に関してロイヤリティを伴う全世界を対象とした独占的ライセンス契約。当社は、本契約に基づくすべての研究、開発および販売に関する活動を担う。
GSK	英国	ゼジューラ (niraparib) に関して、日本における全てのがん、および韓国と台湾における前立腺がんを除く全てのがんに関する独占的開発・販売権を獲得。
Heidelberg Pharma	ドイツ	抗体薬物複合体 (ADC) に関する 2 標的に関するライセンスを含む研究提携 (アルファアマニチン毒素及び独占権を有するリンカー)。
HUTCHMED	中国	HUTCHMED (China) Limited およびその子会社である HUTCHMED Limited との、全世界 (中国本土、香港およびマカオを除く) を対象とした、転移性大腸がんを含む全ての適応症における FRUZAQLA (国内製品名: フリュザクラ) (fruquintinib, TAK-113) のさらなる開発および商業化に関する独占的ライセンス契約。
Innovent Biologics †	中国	Innovent Biologics 社との、以下を含む次世代のがん免疫療法および抗体薬物複合体 (ADC) によるがん治療薬の開発における独占的なライセンス契約、オプション契約および提携契約。ファースト・イン・クラスの PD-1/α-biased IL-2 二重特異性抗体融合タンパク質である TAK-928 (IBI363) のグローバル共同開発、米国での共同商業化、米国および中国・香港・マカオ・台湾以外での独占的商業化の権利を含む提携。Claudin 18.2 を標的とする ADC である TAK-921 (IBI343) の中国・香港・マカオ・台湾以外でのさらなる開発および商業化に関する独占的ライセンス。IBI3001 (EGFR/B7H3 標的 ADC) の中国・香港・マカオ・台湾以外におけるグローバル開発・製造・販売権に関する独占的ライセンスオプション。
Keros Therapeutics	米国	Keros Therapeutics 社との、全世界 (中国本土、香港およびマカオを除く) を対象とした、elriterccept (TAK-226) の開発、製造および商業化に関する独占的なライセンス契約。
Kumquat Biosciences	米国	新規の低分子阻害薬によるがん免疫療法の単剤および/または併用療法としての開発および商業化に関する戦略的な独占的提携。
Pfizer	米国	CD30 を標的とする抗体薬物複合体 (ADC) であるホジキンリンパ腫治療剤アドセトリス (brentuximab vedotin) の共同開発。現在は 80 カ国以上において承認済みであり、追加効能取得のための臨床試験を実施中。
Protagonist Therapeutics	米国	真性多血症を対象とした、天然型ホルモンヘプシジンの注射用ヘプシジンミメティクスペプチドである rusfertide (TAK-121) の全世界を対象とした開発および商業化に関するライセンス・提携契約。

## 血漿分画製剤

提携先	国	内容/目的
Halozyme	米国	ハイキュービアの拡散と吸収を高めることを目的とした Halozyme 社の独自基盤技術 ENHANZE®の導入。
Kamada	イスラエル	静脈投与 α1 プロテアーゼインヒビター (GLASSIA) の開発および商用化の導入契約; GLASSIA の米国、カナダ、オーストラリアおよびニュージーランドにおける独占的供給および流通; 継続中の市販後コミットメントの実施。
Johnson & Johnson/Momenta Pharmaceuticals	米国	Johnson & Johnson 社に買収された Momenta Pharmaceuticals 社との、臨床開発段階にある高シアル化免疫グロブリン (hsIgG) 候補物質に関するライセンス契約。
PreviPharma	ドイツ	新規標的タンパク質の開発に関する研究提携およびオプション契約。

## ワクチン

提携先	国	内容/目的
Novavax	米国	厚生労働省 (MHLW) および日本医療研究開発機構 (AMED) からの助成対象となった Novavax 社の COVID-19 ワクチン「ヌバキソビッド®筋注」の日本における開発、製造、商業化に関する Novavax 社との提携。2024 年 9 月に当社は、SARS-CoV-2 オミクロン株 JN.1 系統による感染症の予防を対象に、2 回接種分バイアルであるヌバキソビッド筋注 1mL 製剤の製造販売承認を取得したことを公表しました。

## その他/複数の疾患領域

提携先	国	内容/目的
BridGene Biosciences	米国	BridGene 社のケモプロテオミクスプラットフォームを用いて、「undruggable」なターゲットに対する低分子医薬品の発見を目指す共同研究。
Charles River Laboratories	米国	Charles River Laboratories 社が有するエンド・ツー・エンドの創薬および安全性評価プラットフォームを活用し、当社の重点疾患領域における複数のプログラム群を候補化合物の段階まで進めるため提携。
GSK	英国	GSK 社およびミシガン大学とのヒトサイトメガロウイルス感染症治療薬リブテンシティ (maribavir, TAK-620) の導入契約。
Iambic Therapeutics <sup>†</sup>	米国	Iambic 社の計算科学に基づく創薬プラットフォームを活用し、ファースト・イン・クラスおよびベスト・イン・クラスとなりうる高品質な低分子候補物質の創出を加速させることを目的とした、複数の疾患領域における探索研究提携。
Ipsen	フランス	後天性血友病 A 治療薬としてのオピザー開発のための譲渡 (購入) 契約。緊急および非緊急の手術におけるインヒビター保有先天性血友病 A 患者への適用開発も含む。
KM バイオロジクス	日本	血栓性血小板減少性紫斑病 (TTP) を対象とするが、同疾患に限らず、アジンマ (rADAMTS13, TAK-755) を治療に用いるための開発提携およびライセンス契約。
Massachusetts Institute of Technology	米国	人工知能 (AI) の開発と応用を促進し、人の健康と医薬品開発に貢献するための MIT-Takeda プログラム。Abdul Latif Jameel Clinic for Health in Machine Learning (J-Clinic) に設置する新しいプログラムは、当社および MIT の専門知識を組み合わせ活用し、当社の投資によってサポートされる。
Nabla Bio <sup>†</sup>	米国	Nabla 社の AI 技術および創薬を目的とした実験的技術を活用し、新たなタンパク質配列の発見に向けた研究提携。

## 終了した共同研究開発活動 ※ 2025年4月1日以降の情報

提携先	国	内容/目的
Teva Pharmaceutical Industries	イスラエル	Teva社のAttenukine™プラットフォーム技術を活用する複数のターゲットの研究提携および全世界の権利。
Egle Therapeutics	フランス	腫瘍特異的制御性T細胞の新規標的を特定し、独自の抗サブレッサーに基づく免疫療法を開発。
Memorial Sloan Kettering Cancer Center	米国	多発性骨髄腫、急性骨髄性白血病および追加対象として固形がんの治療を目的とした新規のキメラ抗原受容体発現T細胞（CAR-T）の細胞療法を開発するための戦略的な共同研究契約およびライセンス契約を締結。本共同研究は、現在、Memorial Sloan Ketteringの細胞工学センターの責任者であるMichel Sadelainが共同で実施。当社におけるパイプラインの優先順位付けおよび他家細胞療法への戦略的シフトにより、当社はTAK-940のさらなる開発を継続しないことを決定。当社とMemorial Sloan Ketteringは、細胞療法関連技術のライセンス契約の分野で提携関係を継続。
MD Anderson Cancer Center (MDACC)	米国	MDACCのプラットフォームおよび専門性と、当社の開発、製造ならびに商業化の能力を活用し、B細胞性の悪性腫瘍やその他のがんの治療に対して、臍帯血由来キメラ抗原受容体を発現したNK（CAR-NK）細胞療法を提供するための独占的ライセンス契約および共同研究契約。当社は、再発・難治性のB細胞性悪性腫瘍を対象としたTAK-007の開発を継続しないことをデータに基づき決定。
AstraZeneca	英国	多系統萎縮症（MSA）およびパーキンソン病の治療薬候補として、alpha-synuclein抗体であるMEDI1341/TAK-341の共同開発・販売契約。2025年10月、当社は、MSAを対象とした臨床第2相試験が主要および副次評価項目を満たさなかったことを公表。得られているデータを精査した結果、両社合意のもとさらなる開発を行わないことを決定。AstraZeneca社/Alexion社との提携契約は2025年12月をもって終了。
KSQ Therapeutics	米国	KSQ社のCRISPRomics®技術を用いたがんに対する新規免疫ベース治療に関する、研究・開発・商業化における戦略的提携。当社は、本プログラムを社内で推進することとし、KSQ社との提携は、契約一時金および前臨床段階の開発マイルストンの支払いを含む資産譲渡の条件へと見直し。
京都大学iPS細胞研究所（CiRA）	日本	当社重点領域疾患（ニューロサイエンス、オンコロジー、消化器系・炎症性疾患を含む）でのiPS細胞の臨床応用およびiPS細胞のトランスレーショナルサイエンスが目目される追加領域での探索。10年間にわたる提携は2026年3月をもって終了。
Genevant Sciences Corporation	米国	肝星細胞を標的とするGenevant社のLNPプラットフォームを活用し、肝線維症の進行を阻止または回復させるため当社が設計したRNAiオリゴヌクレオチドを送達することを目的とした提携およびライセンス契約。提携は2026年1月をもって終了。
Pfizer	米国	2016年に締結されたTAK-647の全世界における開発および販売に関する独占的ライセンス契約。当社は、ポートフォリオの優先順位付けにより代謝障害関連脂肪肝炎（MASH）を対象としたTAK-647のさらなる開発を継続しないことを決定。提携は2026年4月をもって終了。
Evozyne	米国	最大4つの希少疾患を対象に、次世代遺伝子治療薬の開発に活用できるタンパク質の研究開発における共同研究およびライセンス契約。提携は終了。

### ■ ホームページで開示している臨床試験情報

臨床試験情報は自社ホームページの英文サイト（<https://clinicaltrials.takeda.com/>）で、日本における情報については和文サイト（<https://www.takeda.com/ja-jp/who-we-are/research/clinical-trial/>）で公開しています。当社では、全世界の医療関係者および患者さんなど多くの方々に臨床試験情報を公開することにより、当社製品のより一層の適正使用に資するものと考えています。

## 2. 補足売上収益情報

## 地域別売上収益

## ■ 累計

(億円)	財務報告ベース (注) 1				Core ベース (注) 1、3
	FY24Q4	FY25Q4	AERベース (注) 2		CERベース (注) 3
			増減額	増減率	増減率
売上収益合計	45,816	45,057	△758	△1.7%	△2.6%
日本	4,185	4,331	146	3.5%	3.8%
売上収益比率	9.1%	9.6%	0.5pt		
米国	23,797	21,648	△2,148	△9.0%	△7.7%
同比率	51.9%	48.0%	△3.9pt		
欧州およびカナダ	10,553	11,462	910	8.6%	3.0%
同比率	23.0%	25.4%	2.4pt		
成長新興国 (注) 4	7,282	7,615	334	4.6%	2.2%
同比率	15.9%	16.9%	1.0pt		
中南米	2,358	2,541	183	7.8%	4.9%
同比率	5.1%	5.6%	0.5pt		
中国	1,917	1,951	34	1.8%	1.4%
同比率	4.2%	4.3%	0.1pt		
アジア (日本および中国を除く)	994	987	△7	△0.7%	△0.3%
同比率	2.2%	2.2%	0.0pt		
ロシア/CIS	724	797	74	10.2%	0.7%
同比率	1.6%	1.8%	0.2pt		
その他 (注) 5	1,288	1,339	50	3.9%	1.0%
同比率	2.8%	3.0%	0.2pt		
うち知的財産権収益・役務収益	856	826	△30	△3.5%	△3.4%

(注) 1 売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している

2 国際会計基準 (IFRS) に準拠した実勢レート (Actual Exchange Rate) ベースの増減

3 財務補足資料の「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください

4 成長新興国：グロース&エマージング マーケッツ (GEM)であり、中南米、中国、アジア (日本および中国を除く)、ロシア/CIS、中東、オセアニア、アフリカが含まれている

5 「その他」には、中東・オセアニア・アフリカが含まれている

## ◆四半期

財務報告ベース (注) 1

(億円)	FY24				FY25							
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	AERベース (注)2増減率	Q2	AERベース (注)2増減率	Q3	AERベース (注)2増減率	Q4	AERベース (注)2増減率
売上収益合計	12,080	11,760	11,441	10,534	11,067	△8.4%	11,128	△5.4%	11,917	4.2%	10,945	3.9%
日本	1,029	1,134	1,084	937	1,080	4.9%	1,111	△2.1%	1,204	11.1%	937	△0.1%
売上収益比率	8.5%	9.6%	9.5%	8.9%	9.8%		10.0%		10.1%		8.6%	
米国	6,367	6,109	5,939	5,382	5,467	△14.1%	5,452	△10.8%	5,822	△2.0%	4,907	△8.8%
同比率	52.7%	51.9%	51.9%	51.1%	49.4%		49.0%		48.9%		44.8%	
欧州およびカナダ	2,698	2,632	2,626	2,597	2,623	△2.8%	2,729	3.7%	2,974	13.3%	3,136	20.8%
同比率	22.3%	22.4%	22.9%	24.7%	23.7%		24.5%		25.0%		28.7%	
成長新興国 (注) 3	1,986	1,885	1,793	1,617	1,897	△4.5%	1,836	△2.6%	1,917	6.9%	1,965	21.5%
同比率	16.4%	16.0%	15.7%	15.4%	17.1%		16.5%		16.1%		18.0%	
中南米	722	603	587	446	576	△20.3%	609	1.0%	729	24.1%	628	40.6%
同比率	6.0%	5.1%	5.1%	4.2%	5.2%		5.5%		6.1%		5.7%	
中国	382	520	437	579	432	13.2%	494	△4.9%	484	11.0%	540	△6.7%
同比率	3.2%	4.4%	3.8%	5.5%	3.9%		4.4%		4.1%		4.9%	
アジア (日本および中国を除く)	257	241	255	240	230	△10.5%	248	2.7%	251	△1.6%	257	7.2%
同比率	2.1%	2.1%	2.2%	2.3%	2.1%		2.2%		2.1%		2.4%	
ロシア/CIS	237	192	190	104	289	21.9%	143	△25.8%	173	△8.7%	192	84.2%
同比率	2.0%	1.6%	1.7%	1.0%	2.6%		1.3%		1.5%		1.8%	
その他 (注) 4	387	329	325	248	370	△4.6%	342	4.1%	279	△14.0%	348	40.5%
同比率	3.2%	2.8%	2.8%	2.3%	3.3%		3.1%		2.3%		3.2%	
うち知的財産権収益・ 役員収益	182	194	189	291	148	△18.4%	212	9.2%	223	17.9%	243	△16.5%

(注) 1 売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している

2 国際会計基準 (IFRS) に準拠した実勢レート (Actual Exchange Rate) ベースの増減

3 成長新興国：グロース&amp;エマージング マーケッツ (GEM)であり、中南米、中国、アジア (日本および中国を除く)、ロシア/CIS、中東、オセアニア、アフリカが含まれている

4 「その他」には、中東・オセアニア・アフリカが含まれている

目次  
**主要製品別売上高（財務報告ベース 対前年同期比）**（知的財産権収益および役務収益を含む）

・ 累計

(億円)	財務報告ベース												
	FY24Q4	FY25Q4	AERベース (注)1増減率	米国	AERベース (注)1増減率	日本	AERベース (注)1増減率	欧州および カナダ	AERベース (注)1増減率	成長 新興国(注)2	AERベース (注)1増減率	米国 以外	AERベース (注)1増減率
<b>消化器系疾患</b>	<b>13,570</b>	<b>14,075</b>	<b>3.7%</b>	<b>7,764</b>	<b>△0.1%</b>	<b>1,360</b>	<b>6.8%</b>	<b>3,308</b>	<b>10.1%</b>	<b>1,380</b>	<b>7.8%</b>	<b>262</b>	<b>8.2%</b>
ENTYVIO (注) 3	9,141	9,580	4.8%	6,237	0.7%	193	10.1%	2,567	12.9%	584	16.8%		
GATTEX/レベスティブ	1,463	1,457	△0.4%	1,069	△0.2%	96	4.5%	237	19.2%	54	△46.2%		
タケキャブ/VOCINTI (注) 4	1,308	1,437	9.9%	31	159.7%	1,037	4.4%	—	—	369	22.1%		
PANTOLOC/CONTROLOC (注) 5	446	445	△0.3%	19	8.0%	—	—	314	1.0%	112	△4.8%		
DEXILANT	385	373	△3.3%	83	2.8%	—	—	97	△19.3%	193	4.4%		
リアルダ/MEZAVANT (注) 6	273	291	6.6%	28	△6.8%							262	8.2%
RESOLOR/MOTTEGRITY	195	73	△62.7%	52	△70.2%	—	—	21	1.5%	—	—		
EOHILIA	55	88	61.0%	88	61.0%	—	—	—	—	—	—		
その他	305	332	8.9%	158	14.3%	33	182.9%	73	△9.3%	69	△8.8%		
<b>希少疾患</b>	<b>7,528</b>	<b>7,627</b>	<b>1.3%</b>	<b>3,300</b>	<b>△5.4%</b>	<b>414</b>	<b>6.4%</b>	<b>2,198</b>	<b>3.5%</b>	<b>1,715</b>	<b>12.3%</b>		
タクザイロ	2,232	2,239	0.3%	1,407	△6.4%	34	2.9%	587	8.8%	211	35.4%		
アドベイト	1,118	1,055	△5.6%	479	△11.2%	25	△9.7%	139	△15.7%	412	7.0%		
アディノベイト/ADYNOVI	646	567	△12.3%	168	△25.4%	129	△5.2%	165	△9.5%	106	2.0%		
エラプレース	972	1,005	3.3%	321	11.4%	4	77.5%	335	1.5%	344	△2.0%		
リブレガル	779	804	3.3%	—	—	78	△6.5%	407	△1.5%	319	13.3%		
ビプリブ	535	572	6.9%	206	△2.2%	14	14.8%	203	12.5%	148	13.3%		
リブテンシティ	330	469	42.2%	256	25.2%	35	233.9%	125	27.7%	53	212.4%		
ボンベンディ	209	253	20.8%	140	5.6%	9	6.1%	103	51.2%	1	608.9%		
フィラジル	180	160	△11.2%	91	△13.7%	21	12.4%	15	△39.8%	33	6.1%		
アジンマ	71	120	68.8%	65	32.7%	18	44.4%	34	271.9%	2	—		
その他	457	383	△16.1%	166	△27.6%	47	6.4%	86	△24.3%	84	20.6%		
<b>血漿分画製剤</b>	<b>10,327</b>	<b>10,575</b>	<b>2.4%</b>	<b>6,457</b>	<b>0.2%</b>	<b>3</b>	<b>△32.4%</b>	<b>162</b>	<b>△8.8%</b>	<b>338</b>	<b>△8.8%</b>	<b>3,615</b>	<b>8.5%</b>
免疫グロブリン製剤	7,578	7,906	4.3%	5,618	1.4%							2,288	12.2%
アルブミン製剤	1,414	1,403	△0.8%	286	△3.4%							1,117	△0.0%
ファイバ	394	329	△16.6%	102	△11.1%	3	△32.4%	67	△16.6%	156	△19.6%		
HEMOFIL/IMMUNATE / IMMUNINE	256	254	△0.8%	19	△20.8%	—	—	61	△2.5%	173	2.7%		
CINRYZE	164	133	△18.5%	91	△25.0%	—	—	33	△1.9%	9	10.1%		
その他 (注) 7	521	551	5.6%	341	△1.6%							210	19.9%

(注) 1 国際会計基準（IFRS）に準拠した実勢レート（Actual Exchange Rate）ベースの増減

2 グロース&エマージング マーケッツ（GEM）であり、中南米、中国、アジア（日本および中国を除く）、ロシア/CIS、中東、オセアニア、アフリカを含む

3 国内製品名：エンタイビオ

4 合剤、パック製剤およびOD錠を含む

5 一般名：pantoprazole

6 ライセンスアウト品：導出先との契約により、地域別売上高は開示していません

7 その他（血漿分画製剤）には、GLASSIA、ARALASTを含む

- 累計

(億円)	財務報告ベース												
	FY24Q4	FY25Q4	AERベース (注)1増減率	米国	AERベース (注)1増減率	日本	AERベース (注)1増減率	欧州および カナダ	AERベース (注)1増減率	成長 新興国(注)2	AERベース (注)1増減率	米国 以外	AERベース (注)1増減率
<b>オンコロジー (がん)</b>	<b>5,604</b>	<b>5,801</b>	<b>3.5%</b>	<b>1,884</b>	<b>△5.1%</b>	<b>1,012</b>	<b>2.3%</b>	<b>1,341</b>	<b>12.3%</b>	<b>1,463</b>	<b>8.1%</b>	<b>102</b>	<b>22.6%</b>
アドセトリス	1,290	1,402	8.7%			122	5.1%	581	13.5%	700	5.6%		
リュープリン/ENANTONE	1,193	1,208	1.3%	182	△13.5%	278	△0.8%	434	6.7%	313	6.4%		
ニンラーロ	912	821	△10.0%	364	△26.2%	61	△3.9%	118	△1.5%	278	18.0%		
アイクルシグ(注)3	707	750	6.1%	649	3.9%							102	22.6%
FRUZAQLA(注)4	480	551	14.9%	363	△12.3%	69	177.6%	105	162.7%	14	1,691.4%		
アルンプリグ	364	369	1.4%	127	5.8%	22	△11.3%	100	0.4%	120	0.3%		
バクティビックス	262	263	0.3%	—	-	263	0.3%	—	-	—	-		
ゼジューラ	143	143	△0.3%	—	-	107	△5.0%	—	-	35	17.2%		
カボメティクス	84	82	△2.3%	—	-	82	△2.3%	—	-	—	-		
その他	168	211	25.5%	199	62.1%	8	△61.5%	3	△81.3%	1	△84.8%		
<b>ニューロサイエンス (神経精神疾患)</b>	<b>5,658</b>	<b>4,143</b>	<b>△26.8%</b>	<b>2,129</b>	<b>△43.4%</b>	<b>603</b>	<b>15.0%</b>	<b>1,206</b>	<b>5.8%</b>	<b>205</b>	<b>△12.0%</b>		
VYVANSE/ELVANSE(注)5	3,506	2,032	△42.0%	821	△64.5%	40	36.0%	982	3.7%	190	△13.0%		
トリンテリックス	1,257	1,218	△3.1%	1,071	△5.1%	148	14.0%	0	-	—	-		
インチュニブ	404	462	14.5%	2	△45.8%	316	19.6%	129	6.6%	15	5.0%		
ADDERALL XR	284	247	△13.0%	199	△24.8%	—	-	49	145.8%	—	-		
その他	207	183	△11.5%	37	△30.4%	99	△1.9%	47	△10.3%	0	△79.6%		
<b>ワクチン</b>	<b>554</b>	<b>596</b>	<b>7.6%</b>	<b>—</b>	<b>-</b>	<b>188</b>	<b>△5.0%</b>	<b>42</b>	<b>△7.9%</b>	<b>366</b>	<b>17.8%</b>		
QDENGGA	356	408	14.6%	—	-	—	-	42	△7.9%	366	17.8%		
その他	198	188	△5.0%	—	-	188	△5.0%	—	-	—	-		
<b>その他</b>	<b>2,574</b>	<b>2,240</b>	<b>△13.0%</b>										
アジルバ(注)6	118	71	△39.5%	—	-	71	△39.5%	—	-	—	-	—	-
ホスレノール(注)3	79	88	11.8%	5	△39.9%							83	17.9%

(注) 1 国際会計基準(IFRS)に準拠した実勢レート(Actual Exchange Rate)ベースの増減

2 グロース&エマージングマーケット(GEM)であり、中南米、中国、アジア(日本および中国を除く)、ロシア/CIS、中東、オセアニア、アフリカを含む

3 ライセンスアウト品：導出先との契約により、地域別売上高は開示しておりません

4 国内製品名：フリユザクラ

5 国内製品名：ピバンセ

6 合剤を含む

- 四半期
- 第4四半期

(億円)	財務報告ベース												
	FY24Q4 QTD	FY25Q4 QTD	AERベース (注)1増減率	米国	AERベース (注)1増減率	日本	AERベース (注)1増減率	欧州および カナダ	AERベース (注)1増減率	成長 新興国(注)2	AERベース (注)1増減率	米国 以外	AERベース (注)1増減率
<b>消化器系疾患</b>	<b>3,177</b>	<b>3,288</b>	<b>3.5%</b>	<b>1,671</b>	<b>△6.3%</b>	<b>308</b>	<b>5.0%</b>	<b>874</b>	<b>15.1%</b>	<b>364</b>	<b>27.1%</b>	<b>72</b>	<b>30.2%</b>
ENTYVIO (注) 3	2,151	2,135	△0.7%	1,288	△10.0%	43	4.8%	683	18.7%	120	16.9%		
GATTEX/レベスティブ	329	359	9.0%	259	4.2%	23	6.6%	60	24.1%	18	53.6%		
タケキャブ/VOCINTI (注) 4	318	353	11.0%	10	105.9%	233	2.3%	—	—	110	29.0%		
PANTOLOC/CONTROLOC (注) 5	115	120	3.6%	8	27.7%	—	—	79	△1.2%	33	11.5%		
DEXILANT	95	119	24.8%	30	74.2%	—	—	25	△29.5%	63	50.6%		
リアルダ/MEZAVANT (注) 6	59	75	26.9%	3	△18.2%							72	30.2%
RESOLOR/MOTTEGRITY	25	15	△38.7%	9	△51.2%	—	—	6	7.5%	—	—		
EOHILIA	15	19	25.0%	19	25.0%	—	—	—	—	—	—		
その他	70	94	35.0%	44	19.6%	9	208.1%	22	43.9%	20	29.9%		
<b>希少疾患</b>	<b>1,738</b>	<b>1,882</b>	<b>8.3%</b>	<b>754</b>	<b>△7.4%</b>	<b>92</b>	<b>3.7%</b>	<b>578</b>	<b>8.7%</b>	<b>458</b>	<b>51.3%</b>		
タクザイロ	551	533	△3.4%	307	△14.6%	5	△24.5%	159	9.7%	60	56.3%		
アドベイト	249	262	5.5%	117	△6.5%	5	△13.7%	34	1.0%	106	26.5%		
アディノベイト/ADYNOVI	143	130	△9.1%	37	△27.1%	28	△3.5%	37	△9.7%	27	27.0%		
エラプレース	201	263	30.9%	78	13.4%	1	△25.5%	88	13.1%	96	81.9%		
リブレガル	176	216	22.5%	—	—	17	△11.7%	106	4.1%	93	68.6%		
ビブリブ	122	144	17.9%	47	1.8%	3	25.9%	53	14.4%	41	49.4%		
リブテンシティ	85	120	40.6%	62	35.3%	11	173.4%	31	7.5%	15	149.1%		
ボンベンディ	55	70	28.0%	37	11.5%	2	16.7%	31	54.3%	0	—		
フィラジル	40	29	△26.6%	15	△32.7%	4	△4.5%	3	△42.2%	6	△6.9%		
アジンマ	23	36	54.6%	18	25.6%	4	3.7%	13	186.5%	0	—		
その他	93	80	△14.0%	34	△26.3%	11	18.3%	22	△16.3%	13	18.4%		
<b>血漿分画製剤</b>	<b>2,485</b>	<b>2,670</b>	<b>7.5%</b>	<b>1,526</b>	<b>0.8%</b>	<b>0</b>	<b>△93.8%</b>	<b>46</b>	<b>55.7%</b>	<b>94</b>	<b>65.8%</b>	<b>1,004</b>	<b>13.6%</b>
免疫グロブリン製剤	1,817	1,969	8.4%	1,336	1.7%							633	25.7%
アルブミン製剤	401	387	△3.6%	68	9.5%							318	△6.0%
ファイバ	65	77	18.2%	24	△0.9%	0	△93.8%	17	36.7%	36	31.2%		
HEMOFIL/IMMUNATE / IMMUNINE	42	77	82.6%	3	△40.2%	—	—	21	131.8%	53	85.0%		
CINRYZE	36	28	△21.6%	16	△42.5%	—	—	8	△3.3%	5	1,316.9%		
その他 (注) 7	122	131	7.2%	78	△2.2%							53	25.3%

(注) 1 国際会計基準 (IFRS) に準拠した実勢レート (Actual Exchange Rate) ベースの増減

2 グローブ&エマージング マーケッツ (GEM)であり、中南米、中国、アジア (日本および中国を除く)、ロシア/CIS、中東、オセアニア、アフリカを含む

3 国内製品名：エンタイビオ

4 合剤、パック製剤およびOD錠を含む

5 一般名：pantoprazole

6 ライセンスアウト品：導出先との契約により、地域別売上高は開示しておりません

7 その他 (血漿分画製剤) には、GLASSIA、ARALASTを含む

## ■ 第4四半期

(億円)	財務報告ベース												
	FY24Q4 QTD	FY25Q4 QTD	AERベース (注)1増減率	米国	AERベース (注)1増減率	日本	AERベース (注)1増減率	欧州および カナダ	AERベース (注)1増減率	成長 新興国(注)2	AERベース (注)1増減率	米国 以外	AERベース (注)1増減率
<b>オンコロジー (がん)</b>	<b>1,320</b>	<b>1,435</b>	<b>8.7%</b>	<b>469</b>	<b>5.6%</b>	<b>211</b>	<b>△10.2%</b>	<b>358</b>	<b>24.2%</b>	<b>369</b>	<b>10.9%</b>	<b>28</b>	<b>35.4%</b>
アドセトリス	294	334	13.7%			27	△1.6%	151	34.9%	157	1.1%		
リュープリン/ENANTONE	301	305	1.4%	39	△33.9%	57	△11.0%	124	19.2%	85	15.2%		
ニンターロ	198	211	6.7%	89	△5.4%	13	△4.8%	30	3.1%	79	29.9%		
アイクルシグ(注)3	159	194	22.2%	166	20.2%							28	35.4%
FRUZAQLA(注)4	119	122	2.7%	76	△14.8%	15	△0.8%	27	88.0%	4	1,203.1%		
アルンプリグ	89	100	11.8%	35	20.9%	5	△9.0%	26	9.7%	34	8.5%		
ベクティビックス	55	55	△0.4%	—	—	55	△0.4%	—	—	—	—		
ゼジューラ	33	33	△0.4%	—	—	23	△6.3%	—	—	10	17.4%		
カボメティクス	17	16	△4.7%	—	—	16	△4.7%	—	—	—	—		
その他	55	64	16.3%	64	84.5%	—	△100.0%	0	△98.1%	0	△99.5%		
<b>ニューロサイエンス (神経精神疾患)</b>	<b>1,093</b>	<b>998</b>	<b>△8.7%</b>	<b>447</b>	<b>△34.0%</b>	<b>139</b>	<b>14.3%</b>	<b>350</b>	<b>34.8%</b>	<b>63</b>	<b>77.7%</b>		
VYVANSE/ELVANSE(注)5	630	481	△23.7%	120	△68.4%	10	50.7%	292	38.0%	58	83.0%		
トリンテリックス	276	305	10.3%	270	10.1%	35	11.5%	—	—	—	—		
インチュニブ	96	107	11.2%	1	△11.0%	71	16.3%	30	△1.1%	5	34.7%		
ADDERALL XR	45	64	40.2%	49	17.4%	—	—	15	279.7%	—	—		
その他	45	42	△6.7%	8	△21.8%	22	1.1%	12	△7.7%	△0	—		
<b>ワクチン</b>	<b>55</b>	<b>46</b>	<b>△16.4%</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>16</b>	<b>—</b>	<b>13</b>	<b>44.1%</b>	<b>17</b>	<b>△63.9%</b>		
QDENGGA	56	30	△45.9%	—	—	—	—	13	44.1%	17	△63.9%		
その他	△1	16	—	—	—	16	—	—	—	—	—		
<b>その他</b>	<b>665</b>	<b>626</b>	<b>△5.9%</b>										
アジルバ(注)6	30	28	△6.4%	—	—	28	△6.4%	—	—	—	—		
ホスレノール(注)3	20	21	6.9%	2	74.5%							19	3.5%

(注) 1 国際会計基準 (IFRS) に準拠した実勢レート (Actual Exchange Rate) ベースの増減

2 グロース&エマージング マーケッツ (GEM)であり、中南米、中国、アジア (日本および中国を除く)、ロシア/CIS、中東、オセアニア、アフリカを含む

3 ライセンスアウト品: 導出先との契約により、地域別売上高は開示しておりません

4 国内製品名: フリュザクラ

5 国内製品名: ビバンセ

6 合剤を含む

## 主要製品別売上高（財務報告AERベースおよびCore CERベース増減率）

(億円)	FY24 財務報告ベース				FY25 財務報告AERベース <sup>(注)1</sup> およびCore CERベース増減率 <sup>(注)2</sup>															
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	AERベース (QTD)	CERベース (QTD)	Q2	AERベース (QTD)	CERベース (QTD)	CERベース (YTD)	Q3	AERベース (QTD)	CERベース (QTD)	CERベース (YTD)	Q4	AERベース (QTD)	CERベース (QTD)	CERベース (YTD)	
<b>消化器系疾患</b>	<b>3,485</b>	<b>3,467</b>	<b>3,441</b>	<b>3,177</b>	<b>3,393</b>	<b>△2.6%</b>	<b>2.6%</b>	<b>3,535</b>	<b>2.0%</b>	<b>3.7%</b>	<b>3.2%</b>	<b>3,858</b>	<b>12.1%</b>	<b>7.5%</b>	<b>4.6%</b>	<b>3,288</b>	<b>3.5%</b>	<b>△2.0%</b>	<b>3.1%</b>	
ENTYVIO <sup>(注)3</sup>	2,344	2,389	2,258	2,151	2,325	△0.8%	4.9%	2,467	3.3%	5.2%	5.1%	2,653	17.5%	12.3%	7.4%	2,135	△0.7%	△6.2%	4.2%	
GATTEX/レベスティブ	368	364	401	329	348	△5.5%	0.0%	368	1.1%	4.0%	2.0%	381	△4.9%	△8.4%	△1.7%	359	9.0%	5.4%	△0.1%	
タケキャブ/VOCINTI <sup>(注)4</sup>	332	311	347	318	350	5.7%	7.8%	339	8.9%	9.4%	8.6%	395	13.7%	12.4%	9.9%	353	11.0%	8.4%	9.6%	
PANTOLOC/ CONTROLOC <sup>(注)5</sup>	109	116	105	115	103	△5.8%	△2.0%	109	△6.2%	△7.9%	△5.1%	113	7.9%	△0.8%	△3.7%	120	3.6%	△8.5%	△5.0%	
DEXILANT	119	80	92	95	83	△29.7%	△22.4%	80	0.9%	2.5%	△12.4%	90	△2.0%	△8.4%	△11.1%	119	24.8%	12.8%	△5.2%	
リアルダ/MEZAVANT	66	68	80	59	63	△6.0%	0.2%	75	11.2%	12.4%	6.3%	78	△2.0%	△7.2%	1.3%	75	26.9%	16.0%	4.5%	
RESOLOR/MOTTEGRITY	55	58	57	25	22	△60.5%	△58.2%	15	△74.6%	△73.8%	△66.2%	21	△63.3%	△65.1%	△65.8%	15	△38.7%	△42.4%	△62.8%	
EOHILIA	9	13	17	15	20	125.5%	141.6%	22	64.2%	69.5%	98.4%	26	56.4%	51.9%	78.5%	19	25.0%	23.4%	63.2%	
その他	82	68	85	70	78	△5.1%	△0.4%	59	△13.4%	△11.8%	△5.5%	101	18.9%	14.5%	1.6%	94	35.0%	30.2%	8.2%	
<b>希少疾患</b>	<b>1,995</b>	<b>1,892</b>	<b>1,904</b>	<b>1,738</b>	<b>1,964</b>	<b>△1.6%</b>	<b>3.0%</b>	<b>1,841</b>	<b>△2.7%</b>	<b>△1.7%</b>	<b>0.7%</b>	<b>1,940</b>	<b>1.9%</b>	<b>△3.4%</b>	<b>△0.6%</b>	<b>1,882</b>	<b>8.3%</b>	<b>1.0%</b>	<b>△0.3%</b>	
タクザイロ	560	550	570	551	551	△1.7%	3.7%	582	5.8%	8.1%	5.9%	574	0.7%	△4.4%	2.4%	533	△3.4%	△9.0%	△0.4%	
アドベイト	319	269	281	249	280	△12.2%	△7.6%	256	△4.9%	△4.6%	△6.2%	257	△8.5%	△13.1%	△8.4%	262	5.5%	△1.2%	△6.8%	
アディノベイト/ADYNOVI	176	169	159	143	141	△20.3%	△16.7%	147	△12.5%	△11.7%	△14.2%	149	△6.0%	△10.0%	△12.9%	130	△9.1%	△13.9%	△13.1%	
エラブレース	280	251	240	201	280	0.2%	4.5%	210	△16.3%	△15.7%	△5.1%	251	4.5%	△1.9%	△4.1%	263	30.9%	19.7%	0.8%	
リブレガル	214	199	189	176	202	△5.5%	△2.2%	185	△7.2%	△8.8%	△5.4%	202	6.5%	△0.6%	△3.9%	216	22.5%	11.1%	△0.5%	
ビプリブ	137	133	143	122	153	11.7%	16.2%	131	△1.8%	△1.4%	7.5%	145	1.2%	△4.7%	3.2%	144	17.9%	8.3%	4.4%	
リブテンシティ	76	79	90	85	105	37.6%	45.1%	116	47.5%	50.3%	47.7%	128	42.9%	36.6%	43.6%	120	40.6%	33.6%	41.0%	
ボンベンディ	53	51	51	55	55	3.8%	8.6%	59	15.8%	17.2%	12.8%	69	35.8%	28.9%	18.1%	70	28.0%	20.0%	18.6%	
フィラジル	50	48	43	40	45	△10.0%	△4.4%	41	△13.9%	△12.2%	△8.2%	45	4.6%	0.1%	△5.7%	29	△26.6%	△29.7%	△10.9%	
アジンマ	11	14	23	23	24	127.7%	139.6%	24	76.6%	76.8%	103.9%	35	51.7%	44.2%	74.8%	36	54.6%	45.1%	65.1%	
その他	119	130	115	93	128	7.7%	10.2%	90	△30.8%	△29.8%	△10.7%	85	△25.8%	△28.8%	△16.4%	80	△14.0%	△18.5%	△16.8%	
<b>血漿分画製剤</b>	<b>2,714</b>	<b>2,642</b>	<b>2,485</b>	<b>2,485</b>	<b>2,609</b>	<b>△3.9%</b>	<b>1.7%</b>	<b>2,566</b>	<b>△2.9%</b>	<b>△0.8%</b>	<b>0.4%</b>	<b>2,731</b>	<b>9.9%</b>	<b>5.0%</b>	<b>1.9%</b>	<b>2,670</b>	<b>7.5%</b>	<b>1.8%</b>	<b>1.9%</b>	
免疫グロブリン製剤	2,015	1,896	1,850	1,817	1,940	△3.7%	2.0%	1,930	1.8%	4.3%	3.1%	2,066	11.7%	6.9%	4.3%	1,969	8.4%	3.4%	4.1%	
アルブミン製剤	294	409	309	401	322	9.5%	16.2%	339	△17.1%	△15.7%	△2.4%	355	14.9%	9.5%	1.3%	387	△3.6%	△10.5%	△2.1%	
ファイバ	139	97	92	65	97	△30.5%	△27.1%	77	△20.3%	△19.8%	△24.1%	77	△16.6%	△20.5%	△23.1%	77	18.2%	9.4%	△17.7%	
HEMOFIL/IMMUNATE/ IMMUNINE	87	58	68	42	76	△12.5%	△9.5%	50	△14.6%	△15.5%	△11.9%	51	△25.7%	△31.1%	△18.0%	77	82.6%	62.4%	△4.8%	
CINRYZE	43	39	46	36	38	△12.1%	△7.1%	34	△11.8%	△10.6%	△8.8%	33	△27.9%	△31.1%	△16.8%	28	△21.6%	△25.8%	△18.8%	
その他 <sup>(注)6</sup>	136	143	120	122	135	△0.5%	4.9%	134	△5.9%	△4.2%	0.3%	149	24.6%	18.7%	5.8%	131	7.2%	1.9%	4.9%	

(注) 1 国際会計基準（IFRS）に準拠した実勢レート（Actual Exchange Rate）ベースの増減

2 財務補足資料の「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください

3 国内製品名：エンタイビオ

4 合剤、パック製剤およびOD錠を含む

5 一般名：pantoprazole

6 その他（血漿分画製剤）には、GLASSIA、ARALASTを含む

(億円)	FY24 財務報告ベース				FY25 財務報告AERベース <sup>(注)1</sup> およびCore CERベース増減率 <sup>(注)2</sup>															
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	AERベース (QTD)	CERベース (QTD)	Q2	AERベース (QTD)	CERベース (QTD)	CERベース (YTD)	Q3	AERベース (QTD)	CERベース (QTD)	CERベース (YTD)	Q4	AERベース (QTD)	CERベース (QTD)	CERベース (YTD)	
<b>オンコロジー (がん)</b>	<b>1,421</b>	<b>1,429</b>	<b>1,434</b>	<b>1,320</b>	<b>1,388</b>	<b>△2.3%</b>	<b>1.8%</b>	<b>1,491</b>	<b>4.3%</b>	<b>5.0%</b>	<b>3.4%</b>	<b>1,488</b>	<b>3.8%</b>	<b>△0.9%</b>	<b>2.0%</b>	<b>1,435</b>	<b>8.7%</b>	<b>2.0%</b>	<b>2.0%</b>	
アドセトリス	345	337	314	294	372	7.9%	13.2%	373	10.6%	9.7%	11.5%	322	2.7%	△5.2%	6.2%	334	13.7%	2.0%	5.3%	
リュープリン/ENANTONE	294	310	287	301	273	△7.1%	△4.7%	313	0.9%	0.8%	△1.9%	316	10.1%	6.6%	0.8%	305	1.4%	△4.2%	△0.4%	
ニンラーロ	239	235	240	198	209	△12.6%	△8.3%	206	△12.6%	△10.9%	△9.6%	195	△18.7%	△21.9%	△13.7%	211	6.7%	1.1%	△10.5%	
アイクルシグ	168	186	194	159	159	△5.4%	0.3%	186	0.0%	2.4%	1.4%	211	8.7%	3.8%	2.3%	194	22.2%	16.9%	5.6%	
FRUZAQLA <sup>(注)3</sup>	119	111	130	119	123	3.3%	8.9%	149	34.3%	36.5%	22.2%	157	20.3%	15.7%	19.9%	122	2.7%	△1.2%	14.6%	
アルンブリグ	94	88	93	89	82	△13.0%	△8.5%	96	8.8%	10.5%	0.7%	92	△1.2%	△5.6%	△1.4%	100	11.8%	5.2%	0.2%	
ベクティビックス	66	69	73	55	69	4.4%	4.4%	67	△2.7%	△2.7%	0.8%	73	△0.0%	△0.0%	0.5%	55	△0.4%	△0.4%	0.3%	
ゼジューラ	37	35	38	33	37	0.3%	2.4%	35	1.0%	1.9%	2.2%	37	△1.9%	△1.6%	0.8%	33	△0.4%	△1.2%	0.4%	
カボメティクス	23	21	22	17	23	0.6%	0.6%	20	△3.6%	△3.6%	△1.4%	22	△2.3%	△2.3%	△1.7%	16	△4.7%	△4.7%	△2.3%	
その他	36	36	42	55	40	13.0%	17.4%	45	24.9%	25.5%	21.4%	62	48.5%	38.4%	27.7%	64	16.3%	3.7%	19.9%	
<b>ニューロサイエンス (神経精神疾患)</b>	<b>1,691</b>	<b>1,455</b>	<b>1,419</b>	<b>1,093</b>	<b>1,086</b>	<b>△35.7%</b>	<b>△32.6%</b>	<b>975</b>	<b>△33.0%</b>	<b>△31.5%</b>	<b>△32.1%</b>	<b>1,084</b>	<b>△23.6%</b>	<b>△26.8%</b>	<b>△30.4%</b>	<b>998</b>	<b>△8.7%</b>	<b>△13.8%</b>	<b>△27.2%</b>	
VYVANSE/ELVANSE <sup>(注)4</sup>	1,146	885	844	630	579	△49.5%	△46.9%	487	△45.0%	△43.9%	△45.6%	486	△42.4%	△45.9%	△45.7%	481	△23.7%	△30.8%	△43.0%	
トリンテリックス	310	331	340	276	281	△9.5%	△4.0%	289	△12.8%	△9.7%	△7.0%	344	1.3%	△1.4%	△5.0%	305	10.3%	9.0%	△1.9%	
インチュニブ	102	96	109	96	117	14.4%	15.7%	114	18.3%	17.7%	16.7%	125	14.3%	12.1%	15.0%	107	11.2%	6.7%	13.1%	
ADDERALL XR	77	91	71	45	61	△21.1%	△14.8%	45	△50.4%	△48.1%	△32.9%	78	9.9%	6.7%	△21.1%	64	40.2%	35.5%	△12.1%	
その他	55	52	55	45	49	△10.2%	△8.6%	41	△20.7%	△20.4%	△14.3%	51	△8.2%	△11.2%	△13.2%	42	△6.7%	△10.1%	△12.6%	
<b>ワクチン</b>	<b>125</b>	<b>256</b>	<b>118</b>	<b>55</b>	<b>115</b>	<b>△8.4%</b>	<b>△6.2%</b>	<b>202</b>	<b>△21.1%</b>	<b>△21.9%</b>	<b>△16.8%</b>	<b>233</b>	<b>98.1%</b>	<b>88.1%</b>	<b>8.0%</b>	<b>46</b>	<b>△16.4%</b>	<b>△20.9%</b>	<b>5.1%</b>	
QDenga	95	104	101	56	88	△7.7%	△4.8%	123	18.5%	16.4%	6.2%	167	65.1%	53.4%	22.1%	30	△45.9%	△50.3%	10.7%	
その他	30	152	17	△1	27	△10.8%	△10.8%	79	△48.0%	△48.0%	△41.9%	67	296.3%	296.3%	△13.3%	16	-	-	△5.0%	
<b>その他</b>	<b>649</b>	<b>619</b>	<b>640</b>	<b>665</b>	<b>512</b>	<b>△21.1%</b>	<b>△18.0%</b>	<b>519</b>	<b>△16.2%</b>	<b>△17.0%</b>	<b>△17.5%</b>	<b>583</b>	<b>△9.0%</b>	<b>△14.9%</b>	<b>△16.6%</b>	<b>626</b>	<b>△5.9%</b>	<b>△11.4%</b>	<b>△15.3%</b>	
アジルバ <sup>(注)5</sup>	32	26	29	30	15	△52.7%	△52.7%	10	△62.5%	△62.5%	△57.1%	18	△38.9%	△38.9%	△51.0%	28	△6.4%	△6.4%	△39.5%	
ホスレノール	18	22	20	20	25	45.6%	50.8%	23	2.7%	0.8%	23.0%	19	△3.1%	△11.4%	11.4%	21	6.9%	△4.8%	7.4%	

(注) 1 国際会計基準 (IFRS) に準拠した実勢レート (Actual Exchange Rate) ベースの増減

2 財務補足資料の「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください

3 国内製品名：フリユザクラ

4 国内製品名：ピバンセ

5 合剤を含む

## 主要品目見込

(億円)	FY25財務ベース	FY26財務ベース公表予想			FY26 Core CER ベース公表予想 (注) 3
	年間	年間	増減額	増減率	増減率
<b>消化器系疾患</b>	<b>14,075</b>	<b>1桁台後半%の成長</b>			<b>1桁台前半%の成長</b>
ENTYVIO (注) 1、4	9,580	10,460	880	9 %	4%
GATTEX/レベスティブ (注) 1	1,457	1,540	83	6 %	1%
タケキャブ/VOCINTI (注) 1、5	1,437	1,510	73	5 %	4%
PANTOLOC/ CONTROLOC (注) 6	445	400	△45	△10 %	△13%
DEXILANT	373	360	△13	△3 %	△9%
リアルダ/MEZAVANT	291	310	19	7 %	3%
EOHILIA (注) 2	88	120	32	37 %	31%
その他	405	△5% ~ △10%			△10% ~ △15%
<b>希少疾患</b>	<b>7,627</b>	<b>1桁台前半%の成長</b>			<b>1桁台半ば%の減少</b>
タクザイロ (注) 1	2,239	2,390	151	7 %	0%
アドベイト	1,055	1,460	△162	△10 %	△15%
アディノベイト/ADYNOVI	567				
エラブレース	1,005	990	△15	△1 %	△9%
リブレガル	804	840	36	4 %	△5%
ビプリブ	572	600	28	5 %	△4%
リブテンシティ (注) 2	469	610	141	30 %	24%
ボンベンディ	253	300	47	19 %	14%
フィラジル	160	120	△40	△25 %	△34%
アジンマ (注) 2	120	150	30	25 %	24%
その他	383	△15% ~ △20%			△20% ~ △25%

- (注) 1 既存主力製品は、上市后6年以上経過し、年間売上高が1,000億円以上の、積極的に情報活動を行っている特定の製品（ENTYVIO、GATTEX/レベスティブ、タケキャブ/VOCINTI、タクザイロ、免疫グロブリン製剤、アルブミン製剤、アドセトリス）を指します。
- 2 新製品は、過去5年以内に上市した特定の製品（EOHILIA、リブテンシティ、アジンマ、FRUZAQLA、QDENGGA）に加え、今後上市が見込まれているrusfertide、oveporexton、ザソチニブを指します。今後上市が見込まれている製品の売上高は規制当局からの承認取得を前提としています。
- 3 財務補足資料の「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください
- 4 国内製品名：エンタイビオ
- 5 合剤、パック製剤およびOD錠を含む
- 6 一般名：pantoprazole

FY25財務ベース年間平均レート：1米ドル=150円、1ユーロ=174円、1ロシアルーブル=1.9円、1ブラジルリアル=27.6円、1中国元=21.1円

FY26財務ベース公表予想の前提為替レート：1米ドル=156円、1ユーロ=182円、1ロシアルーブル=2.0円、1ブラジルリアル=29.5円、1中国元=22.4円

(億円)	FY25財務ベース	FY26財務ベース公表予想			FY26 Core CER ベース公表予想 (注) 3
	年間	年間	増減額	増減率	増減率
<b>血漿分画製剤</b>	<b>10,575</b>	<b>1桁台半ばから後半%の成長</b>		<b>1桁台前半から半ば%の成長</b>	
免疫グロブリン製剤 (注) 1	7,906	約10%の成長			1桁台半ば%の成長
アルブミン製剤 (注) 1	1,403	1桁台半ば%の成長			概ね横ばい
ファイバ	329	300	△29	△9 %	△13 %
HEMOFIL/IMMUNATE/ IMMUNINE	254	230	△24	△9 %	△17 %
CINRYZE	133	120	△13	△10 %	△17 %
その他 (注) 4	551	5% ~ 10%			0% ~ 5%
<b>オンコロジー (がん) (注) 8</b>	<b>5,801</b>	<b>1桁台半ば%の成長</b>		<b>1桁台前半%の成長</b>	
アドセトリス (注) 1	1,402	1,500	98	7 %	△2 %
リュープリン/ENANTONE	1,208	1,290	82	7 %	4 %
ニララーロ	821	830	9	1 %	△4 %
アイクルシグ	750	750	△0	△0 %	△3 %
FRUZAQLA (注) 2, 5	551	720	169	31 %	25 %
アルンプリグ	369	390	21	6 %	1 %
ベクティビックス	263	190	△73	△28 %	△28 %
ゼジューラ	143	150	7	5 %	2 %
カボメティクス	82	80	△2	△2 %	△2 %
その他	211	5% ~ 10%			5% ~ 10%
<b>ニューロサイエンス (神経精神疾患) (注) 9</b>	<b>4,143</b>	<b>10%台半ばの減少</b>		<b>10%台後半の減少</b>	
VYVANSE/ELVANSE (注) 6	2,032	1,790	△242	△12 %	△16 %
トリンテリックス	1,218	950	△268	△22 %	△25 %
インチュニブ	462	390	△72	△16 %	△17 %
ADDERALL XR	247	200	△47	△19 %	△22 %
その他	183	△5% ~ △10%			△5% ~ △10%
<b>ワクチン</b>	<b>596</b>	<b>60%台前半の成長</b>		<b>50%台前半の成長</b>	
QDENG (注) 2	408	730	322	79 %	65 %
その他	188	20% ~ 25%			20% ~ 25%
<b>その他</b>	<b>2,240</b>	<b>&gt;△40%</b>		<b>&gt;△40%</b>	
ホスレノール	88	60	△28	△32 %	△43 %
アジルバ (注) 7	71	20	△51	△72 %	△72 %

(注) 1 既存主力製品は、上市后6年以上経過し、年間売上高が1,000億円以上の、積極的に情報活動を行っている特定の製品 (ENTYVIO、GATTEX/レベスティブ、タケキャブ/VOCINTI、タクザイロ、免疫グロブリン製剤、アルブミン製剤、アドセトリス) を指します。

2 新製品は、過去5年以内に上市した特定の製品 (EOHILIA、リブテンシテイ、アジンマ、FRUZAQLA、QDENG) に加え、今後上市が見込まれているrusfertide、oveporexton、ザソシチニブを指します。今後上市が見込まれている製品の売上高は規制当局からの承認取得を前提としています。

3 財務補足資料の「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください

4 その他 (血漿分画製剤 (免疫疾患) ) には、GLASSIA、ARALASTを含む

5 国内製品名：フリユザクラ

6 国内製品名：ピバンセ

7 合剤を含む

8 Rusfertideの見込みは含まれておりません

9 Oveporextonの見込みは含まれておりません

FY25財務ベース年間平均レート：1米ドル=150円、1ユーロ=174円、1ロシアルーブル=1.9円、1ブラジルリアル=27.6円、1中国元=21.1円

FY26財務ベース公表予想の前提為替レート：1米ドル=156円、1ユーロ=182円、1ロシアルーブル=2.0円、1ブラジルリアル=29.5円、1中国元=22.4円

# 財務補足資料



## 国際会計基準（IFRS）に準拠しない財務指標の定義

国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明

A-1

## 調整表およびその他の財務情報

2025年度 財務ベース業績（CERベース増減率を含む）

A-4

2025年度第4四半期（1-3月）財務ベース業績（CERベース増減率を含む）

A-5

2025年度 Core業績（CERベース増減率を含む）

A-6

2025年度第4四半期（1-3月）Core業績（CERベース増減率を含む）

A-7

2025年度 財務ベースからCoreへの調整表

A-8

2025年度第4四半期（1-3月）財務ベースからCoreへの調整表

A-9

2024年度 財務ベースからCoreへの調整表

A-10

2024年度第4四半期（1-3月）財務ベースからCoreへの調整表

A-11

2025年度 調整後フリー・キャッシュ・フロー

A-12

2025年度 調整後純有利子負債/調整後EBITDA

A-13

2024年度 調整後純有利子負債/調整後EBITDA

A-14

2025年度 当期利益から調整後EBITDAへの調整

A-15

2025年度 資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失

A-16

2025年度実績 対公表予想（2026年1月）

A-17

2026年度業績予想（詳細）

A-18

2026年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表

A-19

2026年度前提為替レートおよび通期予想に対する為替感応度

A-20

## 重要な注意事項

重要な注意事項、将来に関する見通し情報、財務情報及び国際会計基準に準拠しない財務指標、医療情報

A-21

## Core財務指標

当社グループのCore売上収益、Core営業利益、Core当期利益（親会社の所有者帰属分）、Core EPSをはじめとするCore財務指標は、売却に伴う収益、製品（仕掛研究開発品を含む）に係る無形資産償却費及び減損損失、その他、非定常的な事象に基づく影響、企業結合会計影響や買収関連費用など、当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない事象による影響を控除しています。**Core売上収益**は、財務ベースの売上収益から、当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない売上収益に係る影響（主に、事業売却および清算に係る売上収益および関連する調整）を控除して算出します。**Core営業利益**は、財務ベースの営業利益から、その他の営業収益及びその他の営業費用、製品（仕掛研究開発品を含む）に係る無形資産償却費及び減損損失、その他、非資金項目または当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない事象による影響を控除して算出します。**Core当期利益（親会社の所有者帰属分）**は、財務ベースの当期利益（親会社の所有者帰属分）から、Core営業利益の算出において控除された項目、および特別、非定常的な事象に基づく影響、または当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない事象による影響を控除し、これらの調整項目に係る税金影響を控除して算出します。これらの調整項目には、条件付対価に係る公正価値変動（時間的価値の変動を含む）影響などが含まれます。**Core EPS**は、Core当期利益（親会社の所有者帰属分）を報告期間の自己株式控除後の平均発行済株式総数で除して算出します。

当社グループがCore財務指標を表示する理由は、これらの指標が、当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない事象による影響を控除するものであり、当社グループ事業の本質的な業績を理解していただくに当たり有用であると考えているためです。控除される項目には、(i) 前年度から著しく変動する項目、もしくは毎年度発生するものではない項目、または(ii)当社グループの中核事業の本質的な業績の変動とはほぼ相関関係がないと認められる項目が含まれます。同様の指標は、同業他社においても頻繁に使用されていると認識しており、本指標を表示することは、投資家が当社グループの業績を過年度の業績と比較される際だけではなく、同業他社と類似の基準に基づき比較される際にも有用になると考えています。また、当社グループがCore財務指標を表示する理由は、これらの指標が予算の策定や報酬の設定（CEOおよびCFOのインセンティブ報酬を含む、当社グループの短期インセンティブならびに長期インセンティブ報酬プログラムに係る一定の目標はCore財務指標の結果に関連して設定）に用いられているためです。

## CER (Constant Exchange Rate: 恒常為替レート) ベースの増減

**CER ベースの増減**は、当期の国際会計基準（IFRS）に準拠した業績またはCore財務指標（Non-IFRS）について、前年同期に適用した為替レートを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。ただし、超インフレが発生し、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」が適用されている子会社の業績についてはCERベースの増減調整は行わないこととし、これら子会社に係るCERベースの増減はIAS第29号に基づいて算出しています。

当社グループがCERベースの増減を表示する理由は、変動する為替レートが当社グループの事業に与える影響を踏まえ、為替影響がなかった場合の経営成績の増減について投資家に理解していただくに当たり有用であると考えているためです。CERベースの増減は、当社グループの経営陣が経営成績を評価するに際して使用する主な指標になっています。また、製薬業界における各社が為替影響を調整した同様の業績指標を頻繁に用いているため、証券アナリスト、投資家その他の関係者が各社の経営成績を評価するに際しても、本指標が有用であると考えています。

ただし、CERベースの増減の有用性には、一例として次の限界があります。例えば、CERベースの増減は、前年度においてIFRSに準拠した業績を算定するために用いた為替レートと同一の為替レートを用いますが、そのことは必ずしも、当年度の取引が前年度と同一の為替レートで実施され得た、あるいは計上され得たことを示すものではありません。また、類似の名称の指標を用いている同業他社が、当社グループとは異なる方法で指標を定義し、算定している可能性があるため、そのような指標との比較可能性に欠け得るものです。従って、CERベースの増減はIFRSに準拠して作成、表示された業績と切り離して考慮してはならず、また、これらの代替と捉えてはならないものです。

## フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フロー

当社グループの**フリー・キャッシュ・フロー**は、営業活動によるキャッシュ・フローから有形固定資産の取得による支出を控除したものです。**調整後フリー・キャッシュ・フロー**は、営業活動によるキャッシュ・フローから、有形固定資産の取得による支出、無形資産の取得による支出、投資の取得による支出（公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資の取得による支出の控除後）、関連会社株式の取得による支出、事業の取得による支出（取得した現金及び現金同等物の純額の控除後）およびそれらに実質的に関連または類似していると見做されるその他の支出を控除した上で、有形固定資産の売却による収入、投資の売却・償還による収入（公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資の売却・償還による収入の控除後）、関連会社株式の売却による収入、事業の売却による収入（処分した現金及び現金同等物の純額の控除後）を加味し、さらに、当社グループが即時的または一般的な業務用に使えないいかなるその他の現金の支出入を調整し、算出しています。

当社グループがフリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローを表示する理由は、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行うに際して頻繁に用いられる流動性についての同様の指標として、これらの指標が投資家にとって有用であると考えているためです。調整後フリー・キャッシュ・フローは、流動性要件を満たす能力を測り、資本配分方針をサポートする指標として流動性及びキャッシュ・フローの評価を行うに際して、当社グループの経営陣によっても使用されています。また、フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローは、投資家が、当社グループの戦略的な買収や事業の売却がどのようにキャッシュ・フローや流動性に貢献するかを理解される上で有用であると考えています。

投資家にとってのフリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローの有用性には、一例として次の限界があります。例えば、(i) 同業他社を含め、用いられている類似の名称の指標との比較可能性に欠け得るものです、(ii) 当社グループの、資本の使用又は配分を必要とする現在及び将来の契約上その他のコミットメントの影響は反映されていません、(iii) 投資の売却・償還による収入、事業の売却による収入（処分した現金及び現金同等物の純額の控除後）は、中核である継続的な事業からの収入を示すものではありません。フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに基づく指標である営業活動によるキャッシュ・フロー及びその他の流動性指標と切り離して考慮してはならず、また、これらの代替と捉えてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローが最も類似します。

## EBITDAおよび調整後EBITDA

当社グループにおいて、**EBITDA**は、法人所得税費用、減価償却費及び償却費、ならびに純支払利息控除前の連結当期利益を指します。また、**調整後EBITDA**は、減損損失、その他の営業収益及びその他の営業費用（減価償却費及び償却費ならびに減損損失を除く）、金融収益及び費用（純支払利息を除く）、持分法による投資損益、株式報酬に係る非資金性の費用を含むその他の非資金性項目、および売却した製品に係るEBITDA、企業結合会計影響や買収関連費用などの当社グループの中核事業に関連しないその他の項目を除外するように調整されたEBITDAを指します。

当社グループがEBITDA及び調整後EBITDAを表示する理由は、これらの指標が証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行う際に頻繁に用いられるものであり、投資家にとって有用であると考えているためです。当社グループは、調整後EBITDAを主に財務レバレッジをモニターするために使用しています。また、調整後EBITDAは、継続的な事業に関連しない特定の事象（変化に富み予測が困難である一方で、経営成績に重大な影響を与える可能性があり、一定期間にわたる業績を一貫性をもって評価することが困難な事象）から生じる不透明さを排除することから、投資家にとって、事業の動向を把握するに際して有用な指標であると考えています。

投資家にとってのEBITDA及び調整後EBITDAの有用性には、一例として次の限界があります。例えば、(i) 同業他社を含め、用いられている類似の指標との比較可能性に欠け得るものです。また、(ii) 企業買収や無形資産の償却による影響などを含む、当社グループの業績、価値又は将来見通しの評価において重要とみなされる可能性のある財務情報や事象が除外されています、(iii) 将来にわたって継続的に発生する可能性のある項目又は項目の種類が除外されています、(iv) 投資家が当社グループの業績を理解する上で重要とみなす可能性のあるすべての項目が含まれていない、又は、重要とみなさないであろうすべての項目が除外されていない場合があります。EBITDAおよび調整後EBITDAは、IFRSに準拠した指標である営業利益、当期利益、その他の業績指標と切り離して考慮してはならず、また、これらの代替と捉えてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、EBITDAおよび調整後EBITDAは、当期利益が最も類似します。

## 純有利子負債および調整後純有利子負債

当社グループは、純有利子負債を連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価に現金及び現金同等物のみを調整したものと定義しており、当社グループの調整後純有利子負債は、次のとおり算出しています。まず、連結財政状態計算書に記載されている社債及び借入金の流動部分と非流動部分合計を計算します。その上で、(i) 当四半期期首時点に残存する外貨建て負債を直近12ヶ月の期中平均レートを用いて換算し、当四半期中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については対応するスポットレートを用いて換算し、当社グループの経営陣が当社グループのレバレッジをモニターするために使用する方法論を反映しています。また、(ii) 当社グループの劣後特約付きハイブリッド債について、その株式に似た特徴を踏まえ、S&Pグローバル・レーティング・ジャパンの格付手法に基づきエクイティクレジットを適用しています。この数字から、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり一時的に保有している現金を除いた現金及び現金同等物、およびその他の金融資産に計上され公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資を控除し、調整後純有利子負債を算出しています。

当社グループが、純有利子負債および調整後純有利子負債を表示する理由は、当社グループの経営陣が、当社グループの現金及び現金同等物控除後の負債をモニター及び分析するためにこれらの指標を使用し、また当社グループのレバレッジをモニターするために本指標を調整後EBITDAと併せて使用しており、投資家にとって有用であると考えているためです（なお、調整後純有利子負債および調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率は、当社グループの流動性の指標を表すものではないことにご留意ください）。また、負債についての同様の指標が、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行うに際して頻繁に用いられるものであると考えています。特に、Shire社買収に伴い、投資家、アナリストおよび格付機関は、当社グループの（調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率で表される）財務レバレッジを綿密にモニターしています。格付機関が本指標を特に重視していることから、これらの情報は、当社グループの財務レバレッジだけではなく、格付機関が当社グループの信用力評価にあたって財務レバレッジの水準をどのように評価しているかについて、投資家が理解していただくに当たり有用であると考えています。そのため、後述のとおり、当社グループは、調整後純有利子負債を調整して、格付機関が一部の劣後債に適用している「エクイティクレジット」を反映しています（ただし、IFRS上、当該債務は資本として取り扱われません）。

調整後純有利子負債の有用性には、一例として次の限界があります。例えば、(i) 同業他社を含め、用いられている類似の指標との比較可能性に欠け得るものです、(ii) 当社グループの負債に係る利息の金額を反映していません、(iii) 負債の早期返済又は償還に係る制限を反映していません、(iv) 当社グループが現金同等物を現金に換金する際に、現金をある通貨から他の通貨に換金する際に、又は当社グループ内で現金を移動する際に係る手数料や費用を反映していません、(v) 有利子負債には、資金調達の契約と整合性のある平均為替レートを適用・調整していますが、これは当社グループがある通貨を他の通貨に換金することができる実際の為替レートを反映していません、(vi) 当社グループの劣後債はIFRS上資本として取り扱われないものの、エクイティクレジットを反映しています。当該調整は、合理的で、投資家にとって有用な調整であると考えています。調整後純有利子負債は、IFRSに基づく指標である社債及び借入金、又はその他の負債指標と切り離して考慮してはならず、また、これらの代替と捉えてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、純有利子負債は、社債及び借入金が最も類似します。

## 便宜的な米ドル換算

財務補足資料における一部日本円表示の米ドルへの換算は、読者に対して便宜的に表示するためのものであり、ニューヨーク連邦準備銀行によって認証されている2026年3月31日時点の換算レート「Noon Buying Rate : 1米ドル159.08円」で換算しています。便宜的な米ドル換算に用いられている換算レートおよび方法は、連結財務諸表の作成で用いられた国際会計基準（IFRS）に準拠した換算レートおよび方法とは異なります。また、これらの米ドル換算は、円貨額が上記もしくはそれ以外の換算レートを用いて米ドルへ転換できるということを意味するものではありません。

## 2025年度 財務ベース業績 (CERベース増減率を含む)



(億円、EPS以外)	2024年度	2025年度	AERベース		CERベース	(百万米ドル、 EPS以外) 2025年度 便宜的な米ドル換算
			増減額	増減率	増減率	
売上収益	45,816	45,057	△758	△1.7 %	△2.7 %	28,324
売上原価	△15,802	△15,716	86	0.5 %	1.9 %	△9,879
売上総利益	30,013	29,341	△672	△2.2 %	△3.1 %	18,444
対売上収益比率	65.5 %	65.1 %		△0.4 pp	△0.3 pp	65.1 %
販売費及び一般管理費	△11,048	△10,842	206	1.9 %	2.5 %	△6,816
研究開発費	△7,302	△6,759	543	7.4 %	7.0 %	△4,249
製品に係る無形資産償却費	△5,482	△5,043	439	8.0 %	7.7 %	△3,170
製品 <sup>(注)</sup> に係る無形資産減損損失	△950	△1,293	△342	△36.0 %	△33.3 %	△813
その他の営業収益	262	247	△15	△5.6 %	△4.4 %	156
その他の営業費用	△2,067	△1,564	503	24.3 %	25.8 %	△983
営業利益	3,426	4,088	662	19.3 %	14.5 %	2,570
対売上収益比率	7.5 %	9.1 %		1.6 pp	1.3 pp	9.1 %
金融収益	465	2,112	1,646	353.7 %	353.8 %	1,327
金融費用	△2,101	△3,576	△1,475	△70.2 %	△72.5 %	△2,248
持分法による投資損益	△40	△22	18	45.4 %	52.9 %	△14
税引前当期利益	1,751	2,602	851	48.6 %	36.6 %	1,636
法人所得税費用	△669	△682	△12	△1.8 %	10.4 %	△428
当期利益	1,081	1,920	839	77.6 %	65.7 %	1,207
非支配持分	△2	△3	△0	△22.9 %	△30.8 %	△2
当期利益 (親会社の所有者持分)	1,079	1,918	838	77.7 %	65.8 %	1,205
基本的 EPS (円または米ドル)	68.36	121.75	53.39	78.1 %	66.2 %	0.77

(注) 仕掛研究開発品を含みます。

国際会計基準に準拠した実勢レート (Actual Exchange Rate) ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート (Constant Exchange Rate) ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

増減率 (%) は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

## 2025年度第4四半期（1-3月）財務ベース業績（CERベース増減率を含む）



(億円、EPS以外)	2024年度 第4四半期 (1-3月)	2025年度 第4四半期 (1-3月)	AERベース		CERベース	(百万米ドル、 EPS以外) 2025年度 第4四半期(1-3月) 便宜的な米ドル換算
			増減額	増減率	増減率	
売上収益	10,534	10,945	411	3.9 %	△2.2 %	6,880
売上原価	△3,821	△4,057	△236	△6.2 %	0.4 %	△2,550
売上総利益	6,713	6,888	175	2.6 %	△3.2 %	4,330
対売上収益比率	63.7 %	62.9 %		△0.8 pp	△0.7 pp	62.9 %
販売費及び一般管理費	△2,959	△2,920	39	1.3 %	6.0 %	△1,836
研究開発費	△2,160	△1,953	207	9.6 %	11.5 %	△1,228
製品に係る無形資産償却費	△1,365	△1,074	292	21.4 %	24.1 %	△675
製品 <sup>(注)</sup> に係る無形資産減損損失	△665	△475	191	28.7 %	30.5 %	△298
その他の営業収益	104	23	△82	△78.3 %	△76.6 %	14
その他の営業費用	△418	△626	△208	△49.9 %	△41.1 %	△393
営業利益	△749	△136	613	81.8 %	65.6 %	△86
対売上収益比率	△7.1 %	△1.2 %		5.9 pp	4.6 pp	△1.2 %
金融収益	187	158	△29	△15.6 %	△22.9 %	99
金融費用	△503	△543	△40	△7.9 %	△5.7 %	△341
持分法による投資損益	△8	△4	4	54.2 %	50.4 %	△2
税引前四半期利益	△1,073	△525	548	51.1 %	39.5 %	△330
法人所得税費用	42	282	240	571.8 %	612.4 %	177
四半期利益	△1,031	△243	788	76.5 %	66.1 %	△152
非支配持分	△1	△1	△0	△10.7 %	△16.4 %	△0
四半期利益（親会社の所有者持分）	△1,032	△243	788	76.4 %	66.0 %	△153
基本的 EPS（円または米ドル）	△65.25	△15.39	49.85	76.4 %	66.0 %	△0.10

(注) 仕掛研究開発品を含みます。

国際会計基準に準拠した実勢レート（Actual Exchange Rate）ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート（Constant Exchange Rate）ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

増減率（%）は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

## 2025年度 Core業績 (CERベース増減率を含む)



(億円、EPS以外)	2024年度	2025年度	AERベース		CERベース	(百万米ドル、EPS以外) 2025年度 便宜的な米ドル換算
			増減額	増減率	増減率	
売上収益	45,798	45,057	△741	△1.6 %	△2.6 %	28,324
売上原価	△15,818	△15,726	92	0.6 %	1.9 %	△9,886
売上総利益	29,980	29,331	△649	△2.2 %	△3.0 %	18,438
対売上収益比率	65.5 %	65.1 %		△0.4 pp	△0.2 pp	65.1 %
販売費及び一般管理費	△11,050	△10,847	204	1.8 %	2.5 %	△6,818
研究開発費	△7,304	△6,760	544	7.4 %	7.0 %	△4,249
営業利益	11,626	11,725	98	0.8 %	△0.9 %	7,370
対売上収益比率	25.4 %	26.0 %		0.6 pp	0.4 pp	26.0 %
金融収益	343	2,111	1,768	515.3 %	515.3 %	1,327
金融費用	△1,750	△3,443	△1,693	△96.7 %	△99.5 %	△2,164
持分法による投資損益	11	△1	△13	—	△82.1 %	△1
税引前当期利益	10,231	10,392	161	1.6 %	△0.9 %	6,532
法人所得税費用	△2,473	△2,248	225	9.1 %	12.8 %	△1,413
当期利益	7,758	8,144	386	5.0 %	2.9 %	5,119
非支配持分	△2	△3	△0	△22.9 %	△30.8 %	△2
当期利益 (親会社の所有者持分)	7,756	8,141	385	5.0 %	2.9 %	5,118
基本的 EPS (円または米ドル)	491	517	26	5.2 %	3.1 %	3.25

国際会計基準に準拠した実勢レート (Actual Exchange Rate) ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート (Constant Exchange Rate) ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

増減率 (%) は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

## 2025年度第4四半期（1-3月）Core業績（CERベース増減率を含む）



(億円、EPS以外)	2024年度 第4四半期 (1-3月)	2025年度 第4四半期 (1-3月)	AERベース		CERベース	(百万米ドル、 EPS以外) 2025年度 第4四半期(1-3月) 便宜的な米ドル換算
			増減額	増減率	増減率	
売上収益	10,517	10,945	429	4.1 %	△2.0 %	6,880
売上原価	△3,835	△4,062	△228	△5.9 %	0.6 %	△2,554
売上総利益	6,682	6,883	201	3.0 %	△2.8 %	4,327
対売上収益比率	63.5 %	62.9 %		△0.7 pp	△0.5 pp	62.9 %
販売費及び一般管理費	△2,958	△2,921	37	1.2 %	5.9 %	△1,836
研究開発費	△2,160	△1,953	207	9.6 %	11.5 %	△1,228
営業利益	1,564	2,009	445	28.5 %	15.1 %	1,263
対売上収益比率	14.9 %	18.4 %		3.5 pp	2.6 pp	18.4 %
金融収益	129	158	29	22.9 %	12.3 %	99
金融費用	△474	△500	△26	△5.6 %	△3.2 %	△314
持分法による投資損益	△4	△4	0	9.7 %	2.1 %	△2
税引前四半期利益	1,214	1,663	449	36.9 %	19.5 %	1,045
法人所得税費用	△447	△257	190	42.6 %	50.4 %	△161
四半期利益	768	1,406	639	83.2 %	60.1 %	884
非支配持分	△1	△1	△0	△10.7 %	△16.4 %	△0
四半期利益（親会社の所有者持分）	767	1,406	639	83.2 %	60.2 %	884
基本的 EPS（円または米ドル）	49	89	40	83.4 %	60.3 %	0.56

国際会計基準に準拠した実勢レート（Actual Exchange Rate）ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート（Constant Exchange Rate）ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

増減率（%）は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

## 2025年度 財務ベースからCoreへの調整表



(億円、EPSおよび株式数以外)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				Core
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益/費用	その他	
売上収益	45,057					45,057
売上原価	△15,716				△10	△15,726
売上総利益	29,341				△10	29,331
販売費及び一般管理費	△10,842				△5	△10,847
研究開発費	△6,759				△0	△6,760
製品に係る無形資産償却費	△5,043	5,043				—
製品 <sup>(注)</sup> に係る無形資産減損損失	△1,293		1,293			—
その他の営業収益	247			△247		—
その他の営業費用	△1,564			1,564		—
営業利益	4,088	5,043	1,293	1,317	△15	11,725
対売上収益比率	9.1%					26.0%
金融収益及び費用(純額)	△1,464				132	△1,332
持分法による投資損益	△22				20	△1
税引前当期利益	2,602	5,043	1,293	1,317	137	10,392
法人所得税費用	△682	△1,072	△175	△270	△49	△2,248
非支配持分	△3					△3
当期利益(親会社の所有者持分)	1,918	3,971	1,117	1,047	89	8,141
基本的EPS(円)	122					517
株式数(百万)	1,575					1,575

(注) 仕掛研究開発品を含みます。

## 2025年度第4四半期（1-3月）財務ベースからCoreへの調整表



(億円、EPSおよび株式数以外)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				Core
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益/費用	その他	
売上収益	10,945					10,945
売上原価	△4,057				△5	△4,062
売上総利益	6,888				△5	6,883
販売費及び一般管理費	△2,920				△2	△2,921
研究開発費	△1,953				0	△1,953
製品に係る無形資産償却費	△1,074	1,074				—
製品 <sup>(注)</sup> に係る無形資産減損損失	△475		475			—
その他の営業収益	23			△23		—
その他の営業費用	△626			626		—
営業利益	△136	1,074	475	603	△7	2,009
対売上収益比率	△1.2%					18.4%
金融収益及び費用（純額）	△385				43	△342
持分法による投資損益	△4					△4
税引前四半期利益	△525	1,074	475	603	36	1,663
法人所得税費用	282	△273	△114	△142	△11	△257
非支配持分	△1					△1
四半期利益（親会社の所有者持分）	△243	801	361	461	26	1,406
基本的EPS（円）	△15					89
株式数（百万）	1,580					1,580

(注) 仕掛研究開発品を含みます。

## 2024年度 財務ベースからCoreへの調整表



(億円、EPSおよび株式数以外)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整					Core
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	テバ社との合併会社に係る調整影響	その他の営業収益/費用	その他	
売上収益	45,816			△ 17			45,798
売上原価	△15,802					△16	△15,818
売上総利益	30,013			△ 17		△16	29,980
販売費及び一般管理費	△11,048					△3	△11,050
研究開発費	△7,302					△1	△7,304
製品に係る無形資産償却費	△5,482	5,482					—
製品 <sup>(注)</sup> に係る無形資産減損損失	△950		950				—
その他の営業収益	262			△38	△224		—
その他の営業費用	△2,067				2,067		—
営業利益	3,426	5,482	950	△56	1,843	△20	11,626
対売上収益比率	7.5%						25.4%
金融収益及び費用(純額)	△1,635			189		40	△1,407
持分法による投資損益	△40					51	11
税引前当期利益	1,751	5,482	950	133	1,843	71	10,231
法人所得税費用	△669	△1,149	△234	△41	△451	73	△2,473
非支配持分	△2						△2
当期利益(親会社の所有者持分)	1,079	4,333	716	93	1,392	143	7,756
基本的EPS(円)	68						491
株式数(百万)	1,579						1,579

(注) 仕掛研究開発品を含みます。

## 2024年度第4四半期（1-3月）財務ベースからCoreへの調整表



(億円、EPSおよび株式数以外)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整					Core
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	テバ社との合併会社に係る調整影響	その他の営業収益/費用	その他	
売上収益	10,534			△ 17			10,517
売上原価	△3,821					△14	△3,835
売上総利益	6,713			△ 17		△14	6,682
販売費及び一般管理費	△2,959					0	△2,958
研究開発費	△2,160					△0	△2,160
製品に係る無形資産償却費	△1,365	1,365					—
製品 <sup>(注)</sup> に係る無形資産減損損失	△665		665				—
その他の営業収益	104			△38	△66		—
その他の営業費用	△418				418		—
営業利益	△ 749	1,365	665	△ 56	351	△14	1,564
対売上収益比率	△7.1%						14.9%
金融収益及び費用（純額）	△316			△ 5		△25	△345
持分法による投資損益	△8					4	△ 4
税引前四半期利益	△ 1,073	1,365	665	△ 60	351	△34	1,214
法人所得税費用	42	△288	△152	18	△86	19	△447
非支配持分	△1						△1
四半期利益（親会社の所有者持分）	△ 1,032	1,078	513	△ 42	265	△15	767
基本的EPS（円）	△ 65						49
株式数（百万）	1,581						1,581

(注) 仕掛研究開発品を含みます。

## 2025年度 調整後フリー・キャッシュ・フロー



(億円)	2024年度	2025年度	増減額	増減率	(百万米ドル) 2025年度 便宜的な米ドル換算
当期利益	1,081	1,920	839	77.6%	1,207
減価償却費、償却費及び減損損失	8,679	8,668	△11		5,449
運転資本増減 (△は増加)	△1,010	△1,346	△336		△846
法人所得税等の支払額	△1,706	△1,804	△98		△1,134
法人所得税等の還付及び還付加算金の受取額	202	78	△123		49
先物為替予約の決済 (純額)	59	1,297	1,238		815
その他	3,266	1,600	△1,666		1,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,572	10,414	△158	△1.5%	6,547
有形固定資産の取得による支出	△2,008	△1,760	248		△1,106
フリー・キャッシュ・フロー (注) 1	8,564	8,654	90	1.1%	5,440
当社が第三者に代わり一時的に保有するキャッシュの調整 (注) 2	21	266	245		167
有形固定資産の売却による収入	1	65	64		41
無形資産の取得による支出 (注) 3	△1,470	△2,349	△879		△1,477
ライセンスを獲得するためのオプションの取得による支出	△318	△37	281		△23
投資の取得による支出 (注) 4	△174	△159	15		△100
投資の売却、償還による収入	294	70	△224		44
関連会社株式の取得による支出	△10	△6	4		△4
関連会社株式の売却による収入	577	9	△568		6
事業売却による収入 (処分した現金及び現金同等物控除後)	206	333	128		209
調整後フリー・キャッシュ・フロー (注) 1	7,690	6,845	△844	△11.0%	4,303

- (注) 1 フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローの定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。
- 2 当社が第三者に代わり一時的に保有するキャッシュの調整は、当社が即時的または一般的な業務用には使用できない、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関して当社が第三者に代わり一時的に保有する現金の変動を指します。
- 3 一部の重要性が低い取引を除き、無形資産の売却による収入は、営業活動によるキャッシュ・フローに含まれております。
- 4 2024年度において、公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資の取得による支出801億円を控除しております。

## 2025年度 調整後純有利子負債/調整後EBITDA

### 調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率

(億円)	2025年度
連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価	△48,818
現金及び現金同等物	5,951
純有利子負債 (注) 1	△42,868
エクイティクレジットの適用 (注) 2	2,500
為替調整 (注) 3	2,132
当社が第三者に代わり一時的に保有する現金 (注) 4	△792
レベル1 負債性金融商品 (注) 4	851
調整後純有利子負債 (注) 1	△38,176
調整後EBITDA	14,572
調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率	2.6 x
連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価	△48,818
エクイティクレジットの適用 (注) 2	2,500
為替調整 (注) 3	2,132
調整後有利子負債	△44,187

### 現金及び現金同等物の純増減

(億円)	2024年度	2025年度	増減額	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,572	10,414	△158	△1.5%
有形固定資産の取得による支出	△2,008	△1,760		
有形固定資産の売却による収入	1	65		
無形資産の取得による支出	△1,470	△2,349		
ライセンスを獲得するためのオプションの取得による支出	△318	△37		
投資の取得による支出	△975	△159		
投資の売却、償還による収入	294	70		
関連会社株式の取得による支出	△10	△6		
関連会社株式の売却による収入	577	9		
事業売却による収入 (処分した現金及び現金同等物控除後)	206	333		
純投資ヘッジとして指定された先物為替予約の決済 (純額)	△138	△15		
短期借入金及びコマーシャルペーパーの純増減額	275	△3,418		
長期借入れによる収入	900	600		
長期借入金の返済による支出	△5,872	△851		
社債の発行による収入	9,345	5,261		
社債の償還による支出	△7,338	△1,153		
社債及び借入金に係る金利通貨スワップの決済による収入	469	—		
自己株式の取得による支出	△519	△516		
利息の支払額	△1,130	△1,214		
配当金の支払額	△3,025	△3,119		
その他	△446	△399		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△613	1,755	2,368	△386.2%

(注) 1 純有利子負債および調整後純有利子負債の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

2 ハイブリッド (劣後) 社債及びローンの元本総額5,000億円分について、S&Pグローバル・レーティング・ジャパン (格付機関) より認定された50%のエクイティクレジットを適用し、2,500億円を負債から控除しております。これらの金融負債は、レバレッジ評価において一定のエクイティクレジットが認められております。

3 期中平均レートで換算される調整後EBITDA計算と整合させるため、当四半期期首時点に残存する外貨建て負債を期中平均レートを用いて換算しております。当四半期中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については当該日の対応するスポットレートを用いて換算しております。

4 売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり一時的に保有する、即時的または一般的な業務用に使えない現金、およびその他の金融資産に計上され公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資を調整しております。

# 2024年度 調整後純有利子負債/調整後EBITDA



## 調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率

(億円)	2024年度
連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価	△45,153
現金及び現金同等物	3,851
純有利子負債 (注) 1	△41,302
エクイティクレジットの適用 (注) 2	2,500
為替調整 (注) 3	△689
当社が第三者に代わり一時的に保有する現金 (注) 4	△1,058
レベル1 負債性金融商品 (注) 4	793
調整後純有利子負債 (注) 1	△39,755
調整後EBITDA	14,410
調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率	2.8 x
連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価	△45,153
エクイティクレジットの適用 (注) 2	2,500
為替調整 (注) 3	△689
調整後有利子負債	△43,342

## 現金及び現金同等物の純増減

(億円)	2023年度	2024年度	増減額	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,163	10,572	3,408	47.6%
有形固定資産の取得による支出	△1,754	△2,008		
有形固定資産の売却による収入	86	1		
無形資産の取得による支出	△3,053	△1,470		
ライセンスを獲得するためのオプションの取得による支出	—	△318		
投資の取得による支出	△68	△975		
投資の売却、償還による収入	80	294		
関連会社株式の取得による支出	—	△10		
関連会社株式の売却による収入	—	577		
事業売却による収入 (処分した現金及び現金同等物控除後)	200	206		
純投資ヘッジとして指定された先物為替予約の決済 (純額)	△333	△138		
短期借入金及びコマーシャルペーパーの純増減額	2,770	275		
長期借入れによる収入	1,000	900		
長期借入金の返済による支出	△1,004	△5,872		
社債の発行による収入	—	9,345		
社債の償還による支出	△2,205	△7,338		
社債及び借入金に係る金利通貨スワップの決済による収入	601	469		
自己株式の取得による支出	△23	△519		
利息の支払額	△1,004	△1,130		
配当金の支払額	△2,872	△3,025		
その他	△603	△446		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,019	△613	406	39.9%

- (注) 1 純有利子負債および調整後純有利子負債の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。
- 2 ハイブリッド（劣後）社債及びローンの元本総額5,000億円分について、S&Pグローバル・レーティング・ジャパン（格付機関）より認定された50%のエクイティクレジットを適用し、2,500億円を負債から控除しております。これらの金融負債は、レバレッジ評価において一定のエクイティクレジットが認められております。
- 3 期中平均レートで換算される調整後EBITDA計算と整合させるため、当四半期期首時点に残存する外貨建て負債を期中平均レートを用いて換算しております。当四半期中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については当該日の対応するスポットレートを用いて換算しております。
- 4 ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関して当社が第三者に代わり一時的に保有する、即時的または一般的な業務用に使用できない現金、およびその他の金融資産に計上され公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資を調整しております。

## 2025年度 当期利益から調整後EBITDAへの調整



(億円)	2024年度	2025年度	増減額	増減率
当期利益	1,081	1,920	839	77.6 %
法人所得税費用	669	682		
減価償却費及び償却費	7,614	7,211		
純支払利息	1,177	1,312		
EBITDA	10,542	11,126	584	5.5 %
減損損失	1,065	1,457		
その他の営業収益及び費用（減価償却費及び償却費、減損損失を除く）	1,632	1,142		
金融収益及び費用（純支払利息を除く）	458	151		
持分法による投資損益	40	22		
その他の調整項目	674	696		
テバ社との合併会社に係る調整影響	△17	—		
その他の費用 <sup>(注) 1</sup>	692	696		
売却した製品に係るEBITDA <sup>(注) 2</sup>	△2	△21		
調整後EBITDA	14,410	14,572	162	1.1 %

(注) 1 株式報酬に係る非資金性の費用を含む非資金性項目、および企業結合会計影響や買収関連費用などの当社グループの中核事業に関連しないその他の項目の調整を含みます。

2 調整後EBITDAの算出にあたり、売却した製品に係るEBITDAを調整しています。

## 2025年度 資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失

(億円)	2024年度	2025年度	増減額	増減率	2026年度 公表予想
資本的支出 (注) 1	3,478	4,109	631	18.1%	3,300 - 3,800
有形固定資産の増加額	2,008	1,760	△248	△12.3%	
無形資産の増加額	1,470	2,349	879	59.8%	
減価償却費及び償却費	7,614	7,211	△403	△5.3%	6,485
有形固定資産の減価償却費 (注) 2 (A)	1,738	1,745	7	0.4%	
無形資産の償却費 (B)	5,876	5,466	△410	△7.0%	
うち、製品に係る無形資産償却費 (C)	5,482	5,043	△439	△8.0%	4,135
うち、製品以外に係る無形資産償却費 (D)	394	424	30	7.5%	
減価償却費及び償却費 (製品に係る無形資産償却費を除く) (A)+(D)	2,132	2,168	36	1.7%	2,350
減損損失	1,065	1,457	392	36.8%	
うち、製品 (注) 3に係る無形資産減損損失	950	1,293	342	36.0%	1,000
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	6,432	6,335	△97	△1.5%	5,135

(注) 1 キャッシュ・フロー・ベース

2 投資不動産に係る減価償却費を含みます。

3 仕掛研究開発品を含みます。

# 2025年度実績 対公表予想（2026年1月）



(億円)	2025年度 公表予想 (2026年1月29日)	2025年度 実績	対公表予想		増減理由
売上収益	45,300	45,057	△243	△0.5%	ENTYVIOや血漿分画製剤はじめとした製品の売上が想定を下回ったことを一部為替によるプラス影響が相殺
売上原価	△15,950	△15,716	234	1.5%	
売上総利益	29,350	29,341	△9	△0.0%	製品構成の変動による売上総利益率の改善
販売費及び一般管理費	△10,980	△10,842	138	1.3%	全社的な効率化プログラムによるコストの追加の節減効果
研究開発費	△6,870	△6,759	111	1.6%	全社的な効率化プログラムによるコストの追加の節減効果
製品に係る無形資産償却費	△5,070	△5,043	27	0.5%	
製品 <sup>(注)1</sup> に係る無形資産減損損失	△1,100	△1,293	△193	△17.5%	主にALUNBRIGの減損損失（319億円）による影響
その他の営業収益	270	247	△23	△8.3%	
その他の営業費用	△1,500	△1,564	△64	△4.3%	トランスフォーメーション・プログラムによる事業構造再編費用の増加（560億円の見込みに対し、708億円の実績）
営業利益	4,100	4,088	△12	△0.3%	
金融収益及び費用（純額）	△1,630	△1,464	166	10.2%	為替のデリバティブ評価益が想定を上回ったため、またリファイナンスのタイミングがずれたことにより、支払利息が想定を下回ったため
税引前当期利益	2,450	2,602	152	6.2%	
当期利益（親会社の所有者持分）	1,540	1,918	378	24.5%	繰延税金資産の回収可能性の評価による税率の改善
基本的EPS（円）	98	122	24	24.5%	
Core売上収益 <sup>(注)2</sup>	45,300	45,057	△243	△0.5%	ENTYVIOや血漿分画製剤はじめとした製品の売上が想定を下回ったことを一部為替によるプラス影響が相殺
Core営業利益 <sup>(注)2</sup>	11,500	11,725	225	2.0%	売上収益は想定を下回ったものの、全社的な効率化プログラムによるコストの節減効果が相殺
Core EPS（円） <sup>(注)2</sup>	486	517	30	6.3%	Core営業利益の増加に加え、繰延税金資産の回収可能性の評価による税率の改善
調整後フリー・キャッシュ・フロー <sup>(注)2</sup>	6,500～7,500	6,845			
資本的支出（キャッシュ・フロー・ベース）	△4,000～△4,500	△4,109			
有形固定資産の減価償却費及び無形資産償却費 （製品に係る無形資産償却費を除く）	△2,200	△2,168	32	1.4%	
調整後EBITDAに対する現金税金の税率 （事業売却を除く） <sup>(注)2</sup>	10%台前半	約12%			
米ドル/円	150	150	△0	△0.2%	
ユーロ/円	174	174	0	0.0%	

(注) 1 仕掛研究開発品を含みます。

2 国際会計基準に準拠しない財務指標の定義は「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

## 2026年度業績予想（詳細）



(億円)	2025年度実績	2026年度 公表予想 (2026年5月13日)	増減額	増減率	増減理由
売上収益	45,057	46,400	1,343	3.0%	為替によるプラス影響と新製品の貢献が、独占販売期間が満了した製品の減収影響を相殺
売上原価	△15,716	△16,250	△534	△3.4%	
売上総利益	29,341	30,150	809	2.8%	
販売費及び一般管理費	△10,842	△10,930	△88	△0.8%	新製品の上市コストと為替影響による増加をトランフォーメーション・プログラムによる節減効果がほぼ相殺
研究開発費	△6,759	△7,620	△861	△12.7%	後期開発品に係る費用増加、為替影響による増加をトランフォーメーション・プログラムによる節減効果が一部相殺
製品に係る無形資産償却費	△5,043	△4,135	908	18.0%	VYVANSEの償却が2026年1月に終了
製品 <sup>(注)1</sup> に係る無形資産減損損失	△1,293	△1,000	293	22.6%	
その他の営業収益	247	25	△222	△89.9%	事業売却益の減少
その他の営業費用	△1,564	△2,290	△726	△46.4%	主に事業構造再編費用の増加（2025年度実績：708億円、2026年度予想：1,700億円）
営業利益	4,088	4,200	112	2.7%	
金融収益及び費用（純額）	△1,464	△1,700	△236	△16.1%	主に為替差損益および為替取引に係るデリバティブ評価損益の増減
税引前当期利益	2,602	2,520	△82	△3.1%	
当期利益（親会社の所有者持分）	1,918	1,660	△258	△13.4%	
基本的EPS（円）	122	104	△17	△14.4%	
Core売上収益 <sup>(注)2</sup>	45,057	46,400	1,343	3.0%	為替によるプラス影響と新製品の貢献が、独占販売期間が満了した製品の減収影響を相殺
Core営業利益 <sup>(注)2</sup>	11,725	11,600	△125	△1.1%	売上収益の見直しは増加するものの、営業経費の増加により減少
Core EPS（円） <sup>(注)2</sup>	517	472	△45	△8.7%	
調整後フリー・キャッシュ・フロー <sup>(注)2</sup>	6,845	6,500~7,500			25年度実績と概ね同水準。Core営業利益は前年度並みで、26年度の事業構造再編費用の増加は資本的支出の減少により相殺
資本的支出（キャッシュ・フロー・ベース）	△4,109	△3,300~△3,800			25年度実績にはInnovent Biologics社との戦略的グローバルパートナーシップに基づく契約一時金12億米ドルの支払いを含み、26年度にはProtagonist Therapeutics社の米国のプロフィットシェアからのオプトアウト権行使に伴う同社への支払い最大4億米ドルを含む
有形固定資産の減価償却費及び無形資産償却費 （製品に係る無形資産償却費を除く）	△2,168	△2,350	△182	△8.4%	
調整後EBITDAに対する現金税金の税率（事業売却を除く） <sup>(注)2</sup>	約12%	10%台前半			
米ドル/円	150	156	6	3.9%	
ユーロ/円	174	182	8	4.8%	

(注) 1 仕掛研究開発品を含みます。

2 国際会計基準に準拠しない財務指標の定義は「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」を、調整表は「2026年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表」をご参照ください。

## 2026年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表

(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整			Core
		無形資産に係る償却費	無形資産に係る減損損失	その他の営業収益及び営業費用	
売上収益	46,400				46,400
売上原価	△16,250				
売上総利益	30,150				
販売費及び一般管理費	△10,930				
研究開発費	△7,620				
製品に係る無形資産償却費	△4,135	4,135			—
製品 <sup>(注)</sup> に係る無形資産減損損失	△1,000		1,000		—
その他の営業収益	25			△25	—
その他の営業費用	△2,290			2,290	—
営業利益	4,200	4,135	1,000	2,265	11,600

(注) 仕掛研究開発品を含みます。

## 2026年度前提為替レートおよび通期予想に対する為替感応度



	平均レート (円)			為替円安影響 (2026年4月～2027年3月) (億円)				
	2024年度実績 (4-3月)	2025年度実績 (4-3月)	2026年度通期前提 (4-3月)		売上収益 (国際会計基準)	営業利益 (国際会計基準)	当期利益 (国際会計基準)	Core営業利益 (国際会計基準に非準拠)
米ドル	152	150	156	1%為替円安影響	206.1	4.2	△3.4	37.3
				1円為替円安影響	132.1	2.7	△2.2	23.9
ユーロ	163	174	182	1%為替円安影響	69.2	△28.4	△20.6	△17.7
				1円為替円安影響	38.0	△15.6	△11.3	△9.7
ロシアルーブル	1.6	1.9	2.0		4.5	2.7	1.8	2.9
中国元	21.1	21.1	22.4	1%為替円安影響	19.9	12.2	8.2	12.2
ブラジルリアル	27.4	27.6	29.5		14.2	11.5	7.7	11.6

## 重要な注意事項

本注意事項において、「報告書」とは、本報告書に関して武田薬品工業株式会社（以下、「武田薬品」）によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本報告書（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分、提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本報告書により株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本報告書は、（投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく）情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本報告書において、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社（we、us及びour）」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

本報告書に記載されている製品名は、武田薬品又は各所有者の商標又は登録商標です。

## 将来に関する見通し情報

本報告書及び本報告書に関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets)」、「計画する (plans)」、「信じる (believes)」、「望む (hopes)」、「継続する (continues)」、「期待する (expects)」、「めざす (aims)」、「意図する (intends)」、「確実にする (ensures)」、「だろう (will)」、「かもしれない (may)」、「すべきであろう (should)」、「であろう (would)」、「かもしれない (could)」、「予想される (anticipates)」、「見込む (estimates)」、「予想する (projects)」、「予測する (forecasts)」、「見通し (outlook)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件並びに国際貿易関係に関する状況を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、薬価、税金、関税その他の貿易関連規則を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機、温室効果ガス排出量の削減又はその他環境目標の達成を可能にする武田薬品の環境・サステナビリティに対する取り組みの成功、人工知能 (AI) を含むデジタル技術の統合をはじめとする、業務効率化、生産性向上又はコスト削減に向けた武田薬品の取り組み、その他の事業再編に向けた取り組みが、期待されるベネフィットに寄与する程度、武田薬品のウェブサイト (<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings-and-security-reports/>) 又は [www.sec.gov](http://www.sec.gov) において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本報告書に含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本報告書における武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

## 財務情報及び国際会計基準に準拠しない財務指標

武田薬品の財務諸表は、国際会計基準（以下、「IFRS」）に基づいて作成されております。

本報告書及び本報告書に関して配布された資料には、Core売上収益、Core営業利益、Core当期利益（親会社の所有者帰属分）、Core EPS、CER（Constant Exchange Rate：恒常為替レート）ベースの増減、純有利子負債、調整後純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、フリー・キャッシュ・フロー、調整後フリー・キャッシュ・フローのように、IFRSに準拠しない財務指標が含まれています。当社経営陣は業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS及び本報告書に含まれるIFRSに準拠しない財務指標に基づいて行っています。IFRSに準拠しない財務指標においては、最も良く対応するIFRS財務指標では含まれることとなる、又は異なる数値となる一定の利益、コスト及びキャッシュ・フロー項目を除外しております。IFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標に代替するものではありません（IFRSに準拠する財務指標を「財務ベース」指標として参照している場合があります）。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、その定義と、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との調整表をご参照くださいますようお願い申し上げます。

投資家にとってのCore財務指標の有用性には、一例として次の限界があります。例えば、(i) 製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標とは必ずしも同一ではありません、(ii) 無形資産の売却や償却などの非資金費用の影響を含む、武田薬品の業績、価値又は将来見通しの評価において重要とみなされる可能性のある財務情報や事象が除外されています、(iii) 将来にわたって継続的に発生する可能性のある項目又は項目の種類が除外されています（ただし、武田薬品の方針として、事業運営に必要な経常的に発生する営業費用の支出については調整していません）、(iv) 投資家が武田薬品の業績を理解する上で重要とみなす可能性のあるすべての項目が含まれていない、又は、重要とみなさないであろうすべての項目が除外されていない場合があります。

## 医療情報

本報告書には、製品に関する情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。